SoftBank X02T

User Guide 取扱説明書

SoftBank

はじめに

このたびは、「SoftBank X02T」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- SoftBank X02Tをご利用の前に、「**クイックスタート**」、「**お願いとご注意**」および「**取扱説明書（本書）**」をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

SoftBank X02Tは、3G方式とGSM方式に対応しています。

ご注意

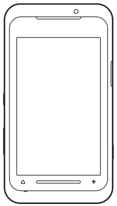
- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら**お問い合わせ先**（16-27ページ）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

本書の最新版は、ソフトバンクモバイルホームページからダウンロードできます。
http://www.softbank.jp/mb/r/support/x02t/

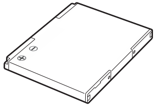
お買い上げ品の確認

お買い上げの際は、次の付属品がそろっていることをお確かめください。

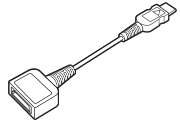
X02T本体※1



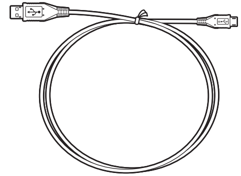
電池パック（TSBBS1）



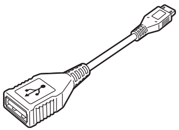
充電microUSB変換アダプタ（TSCBS1）



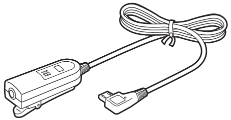
PC接続用USBケーブル（TSDBS1）



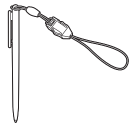
周辺機器接続用USBケーブル（TSDBS2）



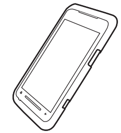
イヤホン変換アダプタ（TSLBS1）



スタイラスペン（1本）※2



シリコンカバー※2



その他
- クイックスタート
- お願いとご注意
- 電池カバー

※1 本機の充電にはソフトバンクの指定した充電器（オプション品）を使用してください。
※2 試供品です。オプション品としての取り扱いはございません。

- 本機の充電器およびその他のオプション品につきましては、最寄りの**ソフトバンクショップ**または**お問い合わせ先**（16-27ページ）までご連絡ください。
- 本機は、microSDメモリカード／microSDHCメモリカード（以降、メモリカードと記載）を利用できますが、本製品にはメモリカードが同梱されていません。メモリカードに関する機能をご利用いただくためには、市販のメモリカードをお買い求めください。

目次

本書の見かた

本書では、以下の方法で知りたい情報を探すことができます。

「目次」から →iiページ	章構成と章内の大見出しが一覧できます。各章の詳しい目次は、各章の扉に記載されています。
「索引」から →16-18ページ	機能やサービスの名称、登録や削除といった操作の目的から探すことができます。
「機能一覧」から →16-2ページ	スタートメニューの各項目の記載ページやお買い上げ時の設定を確認できます。

- 本書では、X02Tを「本機」と表記しています。あらかじめご了承ください。

操作手順の表記について

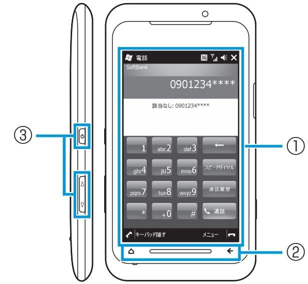
本書では、操作手順を以下のように記載しています。

本書での表記例	意味
「スタート」➡「設定」	ディスプレイ左上のまたは画面タイトル部分（ホーム画面ではスタート）をタップし、表示されるスタートメニューからをタップします。
「OK」、「×」をタップする	ディスプレイ右上のOK、×をタップします。

- 「タップ」とは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指またはスタイラスペンで軽くたたいて選択する動作です。

ボタンやアイコンの表示について

本書では、ボタンやアイコンの表示を以下のように簡略化しています。



実際のボタン／アイコン			本書での表記例
①	ディスプレイに表示されるボタン／アイコン		をタップします。
		+0	「0」をタップします。
		メニュー	「メニュー」をタップします。
②	タッチセンサーキー		UIキーを画面の方向になぞります。
			を押します。
③	側面ボタン		を押します。
			を押します。
			を押します。

- 本書で記載している画面は、実際の表示と異なることがあります。また、説明に必要な画面の部分をクローズアップして記載していることがあります。

安全上のご注意

・ご使用の前に、この「**安全上のご注意**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
・ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
・本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

・次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。
内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3のみの発生が想定される」内容です。

※1　重傷とは、失明・けが・高温やけど・低温やけど（体温より高い温度の発熱体を長時間肌にあてていると紅斑、水疱などの症状を起こすやけど）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
※2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

・次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。
内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示します。
水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水にぬらしたりしてはいけないことを示します。
ぬれ手禁止	ぬれた手で扱ってはいけないことを示します。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、電池パック、USIMカード、充電器（オプション品）、メモリカード（市販）の取り扱いについて（共通）

⚠危険

指示

本機に使用する電池パック・充電器（オプション品）は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。

分解禁止

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。
火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。
本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

水ぬれ禁止

ぬらさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ったときに、ぬれたまま放置したり、ぬれた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。
使用場所、取り扱いにご注意ください。

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。
機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

禁止

本機に電池パックを取り付けたり、充電器を接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

⚠警告

禁止

本機・電池パック・充電器を、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機と充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

指示

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。
また、充電もしないでください。
ガスに引火する恐れがあります。
プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

禁止

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。

指示

1.充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。
2.本機の電源を切ってください。
3.やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子、メモリカードスロットに水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。
また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障などの原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落下して、けがや故障などの原因となります。バイブレーター設定中や充電中は、特にご注意ください。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

⚠危険

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

禁止
火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。

禁止
釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

禁止
電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示
電池パック内部の液が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。
失明などの原因となります。

⚠警告

禁止
落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障、火災の原因となります。

指示
電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。

指示
所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示
電池パックの使用中・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。
異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示
ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障、火災の原因となります。

⚠注意

禁止

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りの「**ソフトバンクショップ**」へお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

禁止

ぬれた電池パックを充電しないでください。
電池パックを発熱・発火・破裂させる原因となります。

本機の取り扱いについて

⚠警告

禁止

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所に本機を置かないでください。
エアバッグが展開した場合、本機が本人や他の人などに当たり、けがや事故、故障および破損の原因となります。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
本機を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

禁止

本機のUSIMカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

禁止

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。
交通事故の原因となります。
乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。
運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植え込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

指示

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。
機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社（の乗務員）の指示に従い適切にご使用ください。

指示

心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える恐れがあります。

指示

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。
落雷や感電の原因となります。

指示

万一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本機の内部にご注意ください。
ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

モーションコントロール（モーションセンサー）ご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本機をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
モーションコントロール（モーションセンサー）は、本機を傾けたり振ったりして操作をする機能です。振りすぎなどが原因で、人や物などに当たり、重大な事故や破損などにつながる可能性があります。

禁止

本機に金属製などのストラップを付けている場合は、モーションコントロール（モーションセンサー）ご利用の際、ストラップが人や物などに当たらないようご注意ください。
けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

禁止

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。
本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

指示

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。

本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。

下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素材	表面処理
電源ボタン 音量ボタン カメラボタン	ポリカーボネート	アルミ蒸着+ UVコーティング
本機周囲の銀	ポリカーボネート	スズ蒸着+ UVコーティング

禁止

本機に磁気カードなどを近づけないでください。

キャッシュカード･クレジットカード･テレホンカード･フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

ストラップなどを持って本機をふり回さないでください。

本人や周囲の人に当ったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

指示

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。

長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

禁止

着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。

難聴になる可能性があります。

指示

動画視聴やゲームなどを行うときは、充分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。

視力低下につながる可能性があります。

指示

ステレオイヤホン（別売）を使用するときは音量に気をつけてください。

また、ハンズフリーに設定して通話する際は、必ず本機を耳から離してください。

長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

充電器（オプション品）の取り扱いについて

⚠警告

禁止

充電器・充電用変換ケーブルのコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電・発熱・火災の原因となります。

禁止

充電器は、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
感電の原因となります。

禁止

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもって火災や故障などの原因となります。

禁止

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。
指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V～240V（家庭用ACコンセント専用）
また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災・故障の原因となります。

電源プラグを抜く

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。
感電・発煙・火災の原因となります。

指示

プラグにほこりがついたときは、充電器を持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などでふき取ってください。
火災の原因となります。

指示

充電器をコンセントに差し込むときは、充電器のプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。
感電・ショート・火災などの原因となります。

禁止

充電器・充電用変換ケーブルのコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
破損・断線・感電・火災の原因となります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。
感電や故障などの原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、充電器には触れないでください。
感電などの原因となります。

⚠注意

電源プラグを抜く

お手入れの際は、必ず充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。
感電などの原因となります。

指示

充電器をコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、充電器を持ってプラグを抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

・ここで記載している内容は、「**医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針**」（電波環境協議会［平成９年４月］）に準拠、ならびに「**電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書**」（平成１３年３月「**社団法人電波産業会**」）の内容を参考にしたものです。

⚠警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

・手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本機を持ち込まないでください。
・病棟内では、本機の電源を切ってください。電源が自動的に入る設定（アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
・ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車などの混雑した場所にいるときは、本機の電源を切ってください。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性があります。
電源が自動的に入る設定（アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

免責事項

●地震・雷・風水害などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●本製品の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害（情報内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●当社指定外の接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●本製品の故障、修理、その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復や生じた損害・逸失利益に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●お客様ご自身で登録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

ご利用にあたって

●この電話機は電波を利用していますので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内、自動車内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。
また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
●この電話機を公共の場所でご使用になるときは、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
また、劇場や乗り物などによっては、ご使用できない場所がありますのでご注意ください。
●この電話機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
●一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、音声や映像などに影響を与えることがありますのでご注意ください。
●この電話機はデジタル方式の優位性、特殊性として電波の弱い極限まで一定の高通話品質を維持し続けます。したがって、通話中にこの極限を超えてしまうと、突然通話が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
●デジタル方式は高い秘話性を有しておりますが、電波を利用している以上盗聴される可能性もあります。留意してご利用ください。
●以下の場合、登録された情報内容が変化・消失することがあります。情報内容の変化・消失については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。
・誤った使い方をしたとき
・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
・動作中に電源を切ったとき
・電池の充電量がなくなった（放電しきった）とき
・故障したり、修理に出したとき
●初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。電池パックは使用しなくても長期保管しておくと徐々に放電していきます。
●メモリカード（市販）をご使用される場合は、ご使用前にメモリカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。
●電話機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。
●海外に持ち出す物によっては、「輸出貿易管理令および外国為替令に基づく規制貨物の非該当証明」という書類が必要な場合がありますが、本機を、旅行や短期出張で自己使用する目的で持ち出し、持ち帰る場合には、基本的に必要ありません。ただ、本機を他人に使わせたり譲渡する場合は、輸出許可が必要となることがあります。
また、米国政府の定める輸出規制国（キューバ、朝鮮民主主義人民共和国、イラン、スーダン、シリア）に持ち出す場合は、米国政府の輸出許可が必要となることがあります。輸出法令の規制内容や手続きの詳細は、経済産業省安全保障貿易管理のホームページなどを参照してください。
●補聴器をお使いでこの電話機をご使用になる場合、一部の補聴器の動作に干渉することがあります。もし干渉がある場合は補聴器メーカーまたは販売業者までご相談ください。
●本機をパソコンに接続してモデムとして使用することはできません。

自動車内でのご使用にあたって

●運転をしながら電話機を使用することは、法律で禁止されていますので、ご使用にならないでください。
また、各都道府県の規制によっては、運転中のステレオイヤホンマイク（オプション品）による通話にも罰金が科される場合があります。

●駐停車が禁止されていない安全な場所に自動車を止めてからご使用ください。

お取り扱いについて

●水をかけないでください。本機、電池パック、充電器、充電用変換ケーブル、USIMカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水ぬれによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。

●お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
・本機のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。そのため、お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつくことがあります。取り扱いには十分ご注意ください。
また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

●端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

●エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

●本機や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

●ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

●タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなどの尖ったもので操作しないでください。タッチパネルが破損する原因となります。
●極端な高温、低温は避けてください。温度は5℃〜35℃、湿度は35％〜85％の範囲でご使用ください。
●外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。故障、破損の原因となります。
●使用中、充電中、本機は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
●通常は外部接続端子キャップをはめた状態でご使用ください。ほこり、水などが入り故障の原因となります。
●電池カバーを外したまま使用しないでください。電池パックが外れたり、故障、破損の原因となります。
●メモリカード、USB機器などの使用中は、メモリカード、USB機器などを取り外したり、本機の電源を切ったりしないでください。データの消失、故障の原因となります。
●磁気カードなどを本機に近づけないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
●本機に磁気を帯びたものを近づけないでください。強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。
●この電話機のディスプレイは特性上、画素欠けや常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。また、長時間同じ画像を表示させていると残像が発生する可能性があります。
●この電話機の通信用アンテナは本体に内蔵されているため、アンテナの突起がありません。内蔵アンテナ部分（1-5ページ）を手で触れたり覆ったりすると電波感度が弱まることがあります。特に、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないようにしてください。電波感度が弱まると、発着信、メールの送受信、ウェブの接続ができなくなる場合があります。
●機種変更・故障修理などで、電話機を交換するときは、電話機に保存されたメールやデータなどを引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
●電池パックは消耗品です。使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
●充電は、適正な周囲温度（5℃〜35℃）の場所で行ってください。
●初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
●電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
●電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
●電池パックを長期保管される場合は、次の点にご注意ください。
・満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
・電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管
電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
長期保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が1本または2本の状態をお勧めします。

●交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取り外した電池パックは、普通ゴミと一緒に捨てないでください。不要になった電池パックは端子部を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて**ソフトバンクショップ**またはリサイクル協力店にお持ちください。
電池パックを分別回収している市町村の場合は、その条例にしたがって処分してください。

Li-ion 00

●次のような場所では、充電しないでください。
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
●充電中、充電器・充電用変換ケーブルが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
●強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
●USIMカードをぬらさないでください。また、湿気の多いような場所に置かないでください。故障の原因となります。
●USIMカードを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
●USIMカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。故障の原因となります。
●USIMカードを火のそばや、ストーブのそばなど高温の場所にて使用および放置しないでください。故障の原因となります。
●USIMカードを保管する際、直射日光や高温多湿な場所は避けてください。放置した場合、故障の原因となります。
●USIMカードは乳幼児の手の届かない場所に保管するようにしてください。誤って飲み込んだり、けがの原因となったりする場合があります。
●USIMカードの取り扱いについては、ご使用前にUSIMカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。

カメラのご使用について

●カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
●カメラのレンズに太陽の光が進入する状態で放置しないでください。レンズの集光作用により、故障の原因となります。
●カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
●大切なシーン（結婚式など）を撮影される場合は、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
●カメラを使用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者（撮影者）などの許諾を得ることなく使用したり、転送することはできません。
●撮影が禁止されている場所での撮影はおやめください。

Bluetooth®機能を使用する場合のお願い

●本機は、Bluetooth®機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth®機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
●Bluetooth®機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●周波数帯について

本機のBluetooth®機能／ワイヤレスLAN機能が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

2.4FH1/DS4/OF4
■■■

2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

FH/DS/OF：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。

1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

※利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

●Bluetooth®機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1.本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2.万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。

3.その他、ご不明な点につきましては、**お問い合わせ先**（16-27ページ）までご連絡ください。

●Bluetooth®機能は日本国内で使用してください。本機のBluetooth®機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

ワイヤレスLAN（WLAN）についてのお願い

●ワイヤレスLANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。

・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

・近くに複数のワイヤレスLANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

●2.4GHz機器使用上の注意事項
WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1.この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2.万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、**お問い合わせ先**（16-27ページ）までご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3.その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、**お問い合わせ先**（16-27ページ）までご連絡ください。

●ワイヤレスLAN（WLAN）機能は日本国内で使用してください。本機のワイヤレスLAN機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

著作権などについて

●音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権などについて

●他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

ソフトウェア使用許諾契約書

株式会社東芝　モバイルコミュニケーション社（以下、東芝といいます。）が提供する東芝製携帯電話上のソフトウェア（以下、本ソフトウェアといいます。）を使用その他の処分をされる前にこのソフトウェア使用許諾契約（以下、本契約といいます。）を注意深くお読みください。本契約のすべての条項に同意できない限り、お客様は本ソフトウェアを使用その他の処分を行うことはできません。本契約は、お客様と東芝との間で締結されたものとみなされ、本契約と共に提供される東芝またはそのライセンサーの著作物たる本ソフトウェアに関して適用されます。

1．使用許諾
東芝はお客様ご本人に対し、東芝製携帯電話上の本ソフトウェアを使用する譲渡不能かつ非独占的な権利を許諾します。お客様は本ソフトウェア、その関連書類、本契約で許諾された権利の一部または全部を、改変、翻訳、レンタル、コピーまたは譲渡することはできません。また本ソフトウェアに記載された著作権表示、ラベル、商標またはその他のいかなるマークも除去することはできません。さらに本ソフトウェアをベースにした派生品を作成することもできません。

2．著作権
本ソフトウェアは使用許諾されるもので販売されるものではありません。本ソフトウェアに関するいかなる知的財産権もお客様に譲渡されるものではありません。本ソフトウェアに関するすべての権利は東芝またはそのライセンサーが保有するものであり、本契約に明示的に記載されていない限り、いかなる権利もお客様が有するものではありません。また、お客様は、本ソフトウェアに記載された著作権表示、ラベル、商標その他のいかなるマークも除去することはできません。

3．リバースエンジニアリング
お客様は本ソフトウェアの一部またはすべてをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、改変、翻訳もしくは逆アセンブルすることができません。お客様が法人の場合には自己の従業員に本項に規定する禁止事項を遵守せしめるものとします。本項および本契約の規定を遵守できなかった場合は、東芝はお客様に対する何らの催告を要せず直ちに本契約を解除できるものとします。

4．保証
本ソフトウェアは現状有姿で提供され、東芝は本ソフトウェアに関し、その品質、性能、商品性および特定の目的への適合性に対する保証を含め、あらゆる明示または黙示の保証も致しません。

5．責任の限定
東芝は、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じたお客様の損害について一切責任を負いません。いかなる場合においても、本ソフトウェアおよび本契約に基づく東芝の責任は、本ソフトウェアに対してお客様が実際に支払った金額があれば当該金額を上限とします。
また、修理や点検の場合、お客様の東芝製携帯電話に登録された情報内容（アドレス情報など）が変化、消去するおそれがあります。情報内容は、別にメモを取るなど必ずお控えください。情報が変化、消失したことによる損害などの請求につきましては、東芝は一切責任を負いません。

6. 準拠法
本契約は、日本国法に準拠するものとし、本契約に関し紛争が生じた場合には、東京地方裁判所を管轄裁判所とするものとします。

7. 輸出管理
お客様は、本ソフトウェアに関し、「外国為替及び外国貿易法」及び関連法令ならびに「米国輸出管理法および同規則」（以下、関係法令等という。）を遵守するものとします。お客様は、関係法令等に基づき必要とされる日本国政府または関係国政府等の許可を得ることなく、関係法令等で禁止されているいかなる仕向地、自然人若しくは法人に対しても直接または間接的に本ソフトウェアを輸出、再輸出しないものとし、また第三者をして輸出させてはならないものとします。

8. 第三者ライセンサーの権利
お客様は、本ソフトウェアに関する東芝のライセンサーが、自己の権利と名において本契約内容を実現する権利を有することを了承するものとします。

以上

知的財産権

- S!メール、3G HighSpeedはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- 「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- microSDHCロゴは商標です。
- Bluetooth®およびBluetooth®ロゴは、Bluetooth® SIG. Inc.の登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。
- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- AdobeおよびAdobe Reader、FlashはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国またはその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Mobile®、ActiveSync®、Outlook®、Excel®、PowerPoint®、Windows Media®、Windows Live™、およびInternet Explorer®のロゴは、米国Microsoft Corporationの、米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Wordは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- 『ジーニアス英和辞典MX』『ジーニアス和英辞典MX』
© KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2008
『明鏡国語辞典MX』
© KITAHARA Yasuo & Taishukan, 2008
[編集・発行]大修館書店
※本辞典は、大修館書店が『ジーニアス英和辞典 第4版』『ジーニアス和英辞典 第2版』『明鏡国語辞典』を元に、モバイル端末用に再編集したものです。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- ArcSoft and the ArcSoft logo are registered trademarks of ArcSoft, Inc. in the United States, P. R. China, EU, and Japan.
- Kinoma PlayおよびKinoma, Inc.の名称、ロゴは米国およびその他の国におけるKinoma, Inc.の登録商標または商標です。
- カザアナの名称、ロゴは日本国およびその他の国における株式会社カザアナの登録商標または商標です。

その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

Windowsの表記について

本書では各OS（日本語版）を以下のように略して表記しています。

- Windows Vista®は、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

ArcSoftエンドユーザライセンス契約

本エンドユーザライセンス契約は、ソフトウェアのエンドユーザであるお客様とArcSoft, Incとの間に締結される法的なソフトウェアライセンス契約です。本ArcSoftソフトウェア（以下「本ソフトウェア」と称します）を使用する前に、本契約をよくお読みください。携帯機器に本ソフトウェアをインストールして使用すると、本契約を読んだ上で契約条件に同意したものとみなされます。

1．ライセンスの許諾
本ライセンスにより、お客様は、本パッケージまたは製品に含まれる本ソフトウェアを1台の携帯機器で使用することができます。ソフトウェアの被許諾者はそれぞれ、プログラムを一度に1台の携帯機器でのみ「使用」することができます。本ソフトウェアは、RAMに読み込まれたとき、または携帯機器のメモリーカードもしくはその他の固定記憶装置にインストールされたときに「使用」されたものとみなされます。お客様は、改変、変換、リバースアセンブル、逆コンパイル、逆アセンブルを行ってはならず、（i）本ソフトウェアのソフトウェア保護メカニズム（本ソフトウェアの機能を制限もしくは制御するために使用されるメカニズムを含みますがこれに限定されません）の無効化、迂回、除去、解除もしくは回避、または、（ii）本ソフトウェアのソースコードもしくは基本となるアイデア、アルゴリズム、構造もしくは構成の抽出を試みてはならないものとします（適用法により当該行動を禁止できない場合は除きます）。

2．著作権
本パッケージまたはデバイスに含まれるソフトウェアは、米国著作権法、国際協定の各規定、および適用される他のあらゆる国内法によって保護されています。本ソフトウェアについては、他のあらゆる著作物（書籍、音楽録音など）と同様に扱う必要があります。本ライセンスは本ソフトウェアの貸与または賃貸を許可するものではなく、また、本ソフトウェアに添付資料がある場合にはその資料のコピーは禁止されています。

3．所有権
本ソフトウェアおよび添付ドキュメンテーションならびに上記のコピーに関する権利、所有権、およびあらゆる知的財産権は、ArcSoftまたはその第三許諾者にのみ帰属するものとします。お客様は、著作権法その他あらゆる準拠法に従うことに同意するものとします。お客様は、本ソフトウェアに、ArcSoftまたはその第三許諾者の貴重な機密情報およびトレードシークレットが含まれていることを認めるものとします。

4. ソフトウェアのアップデート
本ソフトウェアは、ArcSoftのサーバと同期化して、バグ修正、パッチ、拡張機能、補足プラグイン、新規バージョンなど、本ソフトウェアで利用可能なアップデート（以下「アップデート」と総称します）がないかどうかを確認することがあります。本ソフトウェアから、本ソフトウェアの最新版に関する情報のリクエストがArcSoftのサーバに送信されます。アップデートが利用可能な場合は、お客様はダウンロードするかどうかを選択することができます。アップデートをダウンロードする前に、本ソフトウェアがお客様の許諾を求めます。本ソフトウェアをインストールし、アップデートの自動確認を無効にしない場合は、ArcSoftのサーバにリクエストを自動送信してアップデートを受信することに同意したものとみなされます。

5. 保証の否認
ArcSoftは、商品性および特定目的適合性に関する黙示保証、知的財産の非侵害に関する保証などを含め（これに限定されません）、明示、黙示を問わず、本ソフトウェアについて一切の保証を行わず、本契約に明記されていないすべての保証を明示的に否認します。お客様は、本ソフトウェアの品質および性能に関する全リスクを負担するものとします。本ソフトウェアに欠陥があることが判明した場合、必要なサービス、修理または修正の全費用を負担するのは、ArcSoftまたは指定再販業者ではなく、お客様です。但し、ArcSoftに故意または重過失がある場合を除きます。

6. 限定責任
お客様の唯一の救済手段として、ArcSoftおよびそのライセンサがお客様に保証する責任範囲は、第5条に定める内容に限定されます。本ソフトウェアの使用または使用不能から生じる結果的もしくは付随的損害、出費、利益もしくは財産の逸失、またはその他の損害に関しては、たとえArcSoftまたはそのライセンサが損害の可能性を予見していた場合にも、ArcSoftおよびそのライセンサがお客様や第三者に対して責任を負うことはありません。法域によっては結果的または付随的損害に対する免責や責任制限を認めていないため、上記の制限がお客様に適用されない場合があります。

7. 輸出
お客様は、米国またはその他の国の政府から適切な許可を得ることなく、本ソフトウェアを組み込んだ製品を輸出または再輸出しないこととします。

8. 米国政府の権利の制限
お客様が米国政府の部署または機関である場合、本ソフトウェアおよび関連ドキュメンテーションはそれぞれ、適宜、DFAR Section 227.7202およびFAR Section 12.212(b)に定められた「商用コンピュータソフトウェア」「商用コンピュータソフトウェアドキュメンテーション」とみなされます。米国政府による本ソフトウェアまたは関連ドキュメンテーションの使用、改変、複製、発表、実行、表示または開示については、本契約の諸条件のみが適用されるものとし、本契約の条件によって明示的に許可されていない限り、禁止されるものとします。提供された技術データのうち、上記の規定が適用されないものについては、DFAR Section 227.7015(a)に定められた「技術データ商用品目」とみなされます。当該技術データの使用、改変、複製、発表、実行、表示または開示には、DFAR Section 227.7015(b)の条件が適用されるものとします。

9. 高リスク行為
本ソフトウェアはフォールトトレラントではなく、フェールセーフ機能を必要とする危険な環境下における使用には適していません。また、本ソフトウェアの障害が、死亡、傷害または深刻な物的損害にただちにつながる恐れがある他の用途（以下「高リスク行為」と総称します）にも適していません。ArcSoftは、高リスク行為への適用性に関する明示または黙示の保証を明確に否認します。

10. プライバシーポリシー
本ソフトウェアの登録およびアクティベーションのプロセスにおいて、お客様の氏名、電話番号、住所、Eメールアドレスなどの個人情報の提供をお願いすることがあります。ArcSoftは、お求めの製品をお届けするために必要な場合を除いては、お客様の個人情報をいかなる第三者とも共有することはなく、また、いかなる第三者に売却することもありません。

11. 使用状況の追跡
ArcSoftは、製品の使いやすさを高めるために、特定の製品機能の使用状況に関する情報を記録することがあります。匿名性を維持するため、収集する使用状況の情報には、対応する個人情報は一切含まれません。

12. ライセンスの終了
お客様が本ソフトウェアを無断で複製した場合、または本ライセンス契約の条件に従わなかった場合には、お客様の本ソフトウェアに関する権利は、直ちに、または30日以内の通知をもって終了します。本ライセンスが終了した場合、お客様は、本ソフトウェアのすべてのコピーを本ソフトウェアの入手先へ返却しなければなりません。

13. 準拠法
本製品を米国内で購入された場合は、本契約はカリフォルニア州法に準拠します。それ以外の場合は、お客様が本製品を購入された各国法または各地域法に準拠します。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種X02Tの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの証明（技術基準適合証明）を受ける必要があります。この携帯電話機X02Tも財団法人テレコムエンジニアリングセンターから技術基準適合証明を受けており、SARは0.527W/kgです。この値は、技術基準適合証明のために財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/
※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

「ソフトバンクのボディSARポリシー」について
＊ボディ（身体）SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。
＊＊比吸収率（SAR）：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。
当社では、ボディSARに関する技術基準として、米国連邦通信委員会（FCC）の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。
＊＊＊身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクモバイルのホームページからも内容をご確認いただけます。
http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。
測定試験は機種ごとにFCCが定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は0.590W/kgです。

身体装着の場合：この携帯電話機X02Tでは、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。
比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。

Cellular Telecommunications &Internet Association（CTIA）のホームページ
http://www.phonefacts.net（英文のみ）

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話機X02Tは無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.357W/kg※です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

（http://www.who.int/emf）（英文のみ）

※身体に装着した場合の測定試験はFCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

Declaration of conformity

We, **Toshiba Corporation, Mobile Communications Co., Of 1-1, Shibaura 1-Chome, Minato-ku, Tokyo 105-8001 Japan** declare under our sole responsibility that this product (X02T, Type (Model) Name TP5-J01) is in conformity with the following standards and/or other normative documents:

EN 301 511, EN 301 908-1, EN 301 908-2, EN 60950-1, EN 300 328, EN 300 440-2, EN 50360, EN 62209-1, EN 301 489-1, EN 301 489-3, EN 301 489-7, EN 301 489-17, and EN 301 489-24

We hereby declare that all essential radio test suites, EMC & safety requirements have been carried out and that the above named product is in conformity to all the essential requirements of R&TTE Directive 1999/5/EC.

The conformity assessment procedure referred to in Article 10(5) and detailed in Annex IV of Directive 1999/5/EC has been followed with the involvement of the following Notified Body:

CETECOM ICT Services GmbH.
Untertürkheimer Strasse 6-10 66117 Saarbrücken Germany

19 October, 2009

Mitsuru Nashioka
General Manager Quality Assurance Division
Toshiba Corporation, Mobile Communications Co.

1 ご利用になる前に

代表的な機能

世界対応ケータイ（2-9ページ）

ソフトバンクが提携している海外の通信事業者（3G／GPRS／GSMネットワーク）に接続して、海外でも音声電話やSMSなどを利用できます。

メール（5-2ページ）

SMS／S!メール／電子メールに対応しています。会社や自宅のパソコンと同じメールを送受信できます。

Webブラウザ（6-2ページ）

Internet Explorer® MobileでパソコンWebページを閲覧できます。

連絡先／PIM機能（4-2ページ）

- 連絡先に名前や電話番号、メールアドレスなどの個人データを登録できます。
- 予定や仕事を登録してスケジュール管理ができます。
- メモを手書きで作成したりボイスメモを録音したりできます。

カメラ（11-2ページ）

タッチパネルと専用のカメラボタンを利用した簡単な操作で静止画と動画を撮影できます。

音楽や動画の再生（12-2ページ）

- Windows Media® Playerで音楽や動画を再生できます。音楽／動画ファイルや再生リストをパソコンのライブラリと同期させることができます。
- Kinoma Playを使用して、本機やWeb上にある音楽やビデオ、写真などを再生できます。登録したサイトの最新情報をRSSリーダーで確認したり、ポッドキャストで映像／ラジオ番組を視聴したりできます。

オフィスアプリケーション（8-2ページ）

WordやExcel、PowerPoint®のファイルやPDFファイルを閲覧できます。WordやExcelファイルは編集することもできます。

ワイヤレスLAN機能（9-4ページ）

自宅や会社、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、インターネットを利用できます。

Bluetooth®機能（9-8ページ）

Bluetooth®対応のパソコンやヘッドセットなどと接続できます。

パソコンとのデータ同期（7-2ページ）

ActiveSyncまたはWindows Mobile®デバイスセンターを使って、本機とパソコンとの間で電子メールや連絡先、予定表、仕事、メモ、Internet Explorer®のお気に入りなどを同期させることができます。

モーションコントロール（1-22ページ）

- 本機を縦／横に持ち替えることで、縦／横画面表示を切り替えることができます。
- 本機を振る（シェイク）操作であらかじめ指定した動作を実行したり、本機の背面を2回たたく操作でタスクマネージャーを起動したりできます。

フローティングパッド（1-25ページ）

パソコンのマウス操作と同じようにポインタを動かすフリーカーソルパッドと、上下左右ボタンでカーソルを移動するマルチファンクションパッドを利用できます。

その他の便利な機能（15-2ページ）

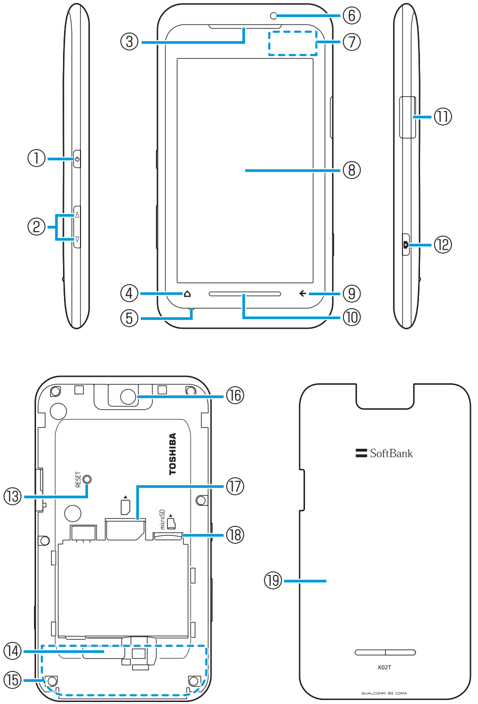
- 「いつもNAVI（無料地図）」で、現在地を確認して周辺情報を検索したり、目的地までのナビゲーションや乗換案内を利用したりできます。
- 国語辞典や英和辞典、和英辞典を利用できます。
- Windows Marketplace® for Mobileから好みのアプリケーションをダウンロードして本機にインストールすることができます。

オプションサービス（2-11ページ）

- **転送電話サービス**：かかってきた電話をあらかじめ指定した番号へ転送します。
- **留守番電話サービス**：電話に出られないとき、留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりします。
- **割込通話サービス**※：通話中にかかってきた電話を受けることができます。
- **グループ通話サービス**※：複数の相手と同時に通話したり、相手を切り替えながら通話できます。
- **発着信規制サービス**：電話の発信と着信を状況に合わせて制限できます。
- **発信者番号通知サービス**：お客様の電話番号を相手に通知する／しないを設定できます。

※ 別途お申し込みが必要です。

各部の名称と機能



	名称	説明
①	**電源ボタン**	長く押して電源をオン／オフします。 短く押してスリープモードを設定／解除します。
②	**音量ボタン** ／	相手の声やスピーカーの音量を調節します。 モーションセンサー設定の縦横表示切り替えが無効のとき（1-24ページ）、を1秒以上押して画面の縦横表示を切り替えます。
③	**受話口**	相手の声が聞こえます。
④	**ホームキー**	ホーム画面に戻ります。
⑤	**送話口**	自分の声をここから送ります。録音するときはマイクになります。
⑥	**お知らせLED**	・赤色点灯：充電中 ・青色点滅：電話着信中や不在着信通知があるとき、アラーム動作中など ・緑色1回点灯：電源オン ・緑色点滅：スリープモード
	照度センサー	周囲の明るさを検知して、ディスプレイのバックライトの明るさを自動調節します。
⑦	**感圧センサー**	感圧式タッチパネル端末のため、ここに感圧センサーが入っています。 ※感圧センサーが入っているため、この部分が凹凸している場合があります。
⑧	**ディスプレイ**	指またはスタイラスペンでなぞって画面をスクロールしたり、項目をタップして選択します。
⑨	**バックキー**	画面右上に表示される「OK」や「×」をタップしたのと同じ動作を行います。
⑩	**UIキー**	画面の方向になぞってフローティングパッド（1-25ページ）を起動します。 Webページ表示中などに左右になぞって表示を縮小／拡大できます。

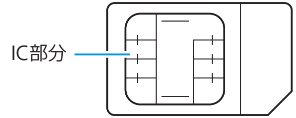
名称		説明
⑪	**外部接続端子**	付属のPC接続用USBケーブルやイヤホン変換アダプタなどを接続します。
⑫	**カメラボタン**	長く押してカメラを起動します。 撮影画面でシャッターキーとして使用したり、動画撮影を開始／終了します。
⑬	**RESETボタン**	スタイラスペンの先で押して、本機をリセット（再起動）します（14-9ページ）。
⑭	**スピーカー**	着信音や音楽の再生音、スピーカーフォン利用中に相手の声が聞こえます。
⑮	**内蔵アンテナ部分**	アンテナが内蔵されています。よりよい条件で通話するために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。
⑯	**カメラ**	静止画や動画を撮影します（11-2ページ）。
⑰	**USIMカードスロット**	USIMカードを挿入します（1-6ページ）。
⑱	**メモリカードスロット**	メモリカードを挿入します（10-4ページ）。
⑲	**電池カバー**	－

USIMカードのお取り扱い

USIMカードをご利用になる前に

USIMカードは、お客様の電話番号や連絡先などの情報が記憶されたICカードです。本機のご利用にはUSIMカードが必要です。

- USIMカードには、連絡先やSMSを保存できます（4-2、4-4、5-12ページ）。
- USIMカードに保存したデータは、ほかのUSIMカード対応ソフトバンク携帯電話でもご利用いただけます。
- USIMカードを他社製品のICカードリーダーなどに挿入して故障したときは、お客様ご自身の責任となります。当社では責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。
- USIMカードに関するその他の内容については、USIMカードに付属の取扱説明書をご覧ください。



- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失・破損によるUSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約の際は、USIMカードを当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされます。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- お客様がUSIMカードに登録された情報内容は、控えを取っておかれることをおすすめします。登録された情報内容が消失した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- USIMカードやソフトバンク携帯電話（USIMカード挿入済み）を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。詳しくは、**お問い合わせ先**（16-27ページ）までご連絡ください。

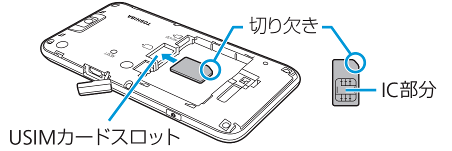
USIMカードを取り付ける／取り外す

USIMカードの取り付け／取り外しは、本機の電源を切り、電池カバーと電池パックを取り外してから行います。

USIMカードを取り付ける

1 IC部分を下にして、USIMカードを図の向きでUSIMカードスロットの奥まで差し込む

- 電池カバーと電池パックの取り外しかたについては、「電池パックを取り外す」（1-10ページ）を参照してください。



USIMカードを取り外す

1 USIMカードスロットからUSIMカードをゆっくり引き抜く

- USIMカードを取り扱うときは、IC部分に触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、USIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、USIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- 取り外したUSIMカードをなくさないようにご注意ください。

PINコード

USIMカードには、PINコード／PIN2コードと呼ばれる2種類の暗証番号があります。大切な暗証番号ですので、忘れないように別にメモなどに取り、他人に知られないように保管してください。

- PINコード／PIN2コードは変更できます（13-3ページ）。
- お買い上げ時はPINコード／PIN2コードとも「9999」に設定されています。

PINコード

第三者による本機の無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。PINコード設定を有効にしている場合は、電源を入れたときにPINコードを入力しないと本機を使用できません。

PIN2コード

オンラインサービスなどで個人認証が必要な場合に入力する4～8桁の暗証番号です。

PINロック解除コード（PUKコード）

PINコードまたはPIN2コードの入力を3回続けて間違えると、PINロックまたはPIN2ロックが設定されます。PINロック解除コード（PUKコード）を入力すると、PINロックは解除されます。PUKコードとPINロック解除方法については、**お問い合わせ先**（16-27ページ）までご連絡ください。

- 間違ったPINロック解除コードを10回続けて入力すると、USIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります（USIMロック）。USIMカードがロックされた場合は、所定の手続きが必要となります。**お問い合わせ先**（16-27ページ）までご連絡ください。

暗証番号

交換機用暗証番号

ご契約時の4桁の暗証番号で、オプションサービスを一般電話から操作する場合や、インターネットの有料情報申し込みに必要な番号です。

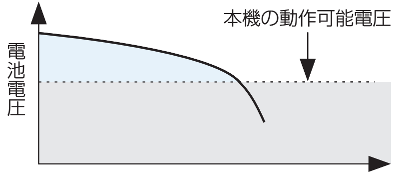
発着信規制用暗証番号

ご契約時の4桁の暗証番号で、発着信規制サービスの設定を行う場合に必要な番号です。発着信規制用暗証番号は変更できます（2-14ページ）。

入力を2回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、**お問い合わせ先**（16-27ページ）までご連絡ください。

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

- 本機の電池パックはリチウムイオン電池を使用しています。使用時間にともなって下図のように徐々に電圧が下がる性質があります。



- 高温環境や低温環境では性能が低下し、使用時間が短くなります。また、高温下での使用は電池パックの寿命を短くすることがあります。
- 電池パックは使用しなくても長期保管しておくと徐々に放電していきます。月に10%～20%、半年で約半分程度の自然放電をします。
- 電池パック単体で保管する場合は、電池パックの端子部がショートしないようにケースなどに入れて、なるべく乾燥した涼しいところで保管してください。このとき、あまり充電されていない状態で保管することをおすすめします。
- 電波の弱い場所での通話や圏外表示での待受、カメラ撮影や動画再生など消費電流の大きい機能の連続使用により、電池の消耗が多くなります。
- 利用可能時間は充電・放電の繰り返しにより徐々に短くなります。利用可能時間が短くなったら新しい電池パックをお買い求めください。
- 環境保護のため、不要になった電池パックは、端子部を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて**ソフトバンクショップ**またはリサイクル協力店にお持ちください。電池パックを分別回収している市町村の場合は、その条例に従って処分してください。
- 衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

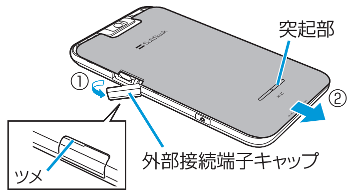
電池パック・電池カバーを取り付ける／取り外す

- 電池パックと電池カバーの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- 電池カバーの取り付け／取り外しは、本機のディスプレイなどが傷つかないよう、手に持って行ってください。

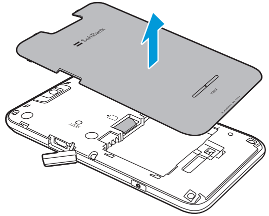
電池パックを取り付ける

1 外部接続端子キャップを開け(①)、電池カバーの突起部を押さえながら矢印の方向にスライドさせる(②)

- 外部接続端子キャップを開ける際は、ツメを利用して、矢印の方向に開けてください。
- 外部接続端子キャップを閉めたまま電池カバーをスライドさせると、破損する恐れがありますのでご注意ください。

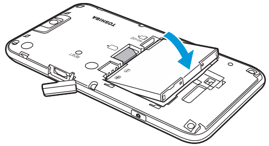


2 電池カバーを上に持ち上げて取り外す



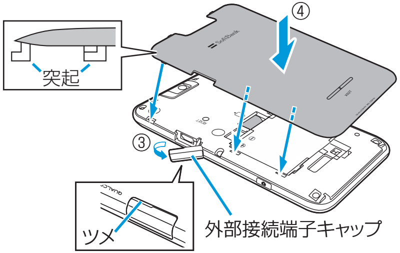
3 電池パックを取り付ける

- 電池パックの⊕⊖が表示されている面を上にして、電池パックの金属端子を本機の金属端子に合わせてから、矢印の方向にはめ込みます。

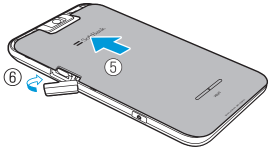


4 外部接続端子キャップを開け（③）、電池カバー内側の突起を本機の溝に合わせる（④）

- 外部接続端子キャップを開ける際は、ツメを利用して、矢印の方向に開けてください。



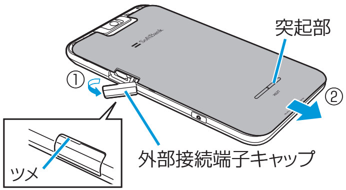
5 電池カバーを矢印の方向にスライドさせ（⑤）、外部接続端子キャップを閉める（⑥）



電池パックを取り外す

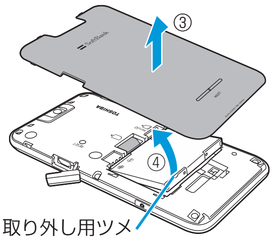
1 外部接続端子キャップを開け(①)、電池カバーの突起部を押さえながら矢印の方向にスライドさせる(②)

- 外部接続端子キャップを開ける際は、ツメを利用して、矢印の方向に開けてください。
- 外部接続端子キャップを閉めたまま電池カバーをスライドさせると、破損する恐れがありますのでご注意ください。



2 電池カバーを取り外し(③)、電池パックを取り外す(④)

電池パックの取り外し用ツメを利用して、矢印の方向に持ち上げて取り外します。



充電する

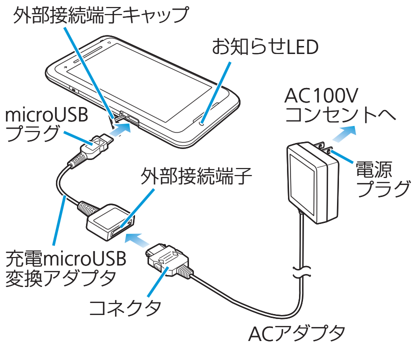
お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

充電時のご注意

- 必ず本機に電池パックを取り付けて充電してください。
- 本機を使用しながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、充電が完了しなかったりすることがあります。また、データ通信や通話など消費電流の大きい機能を連続して使用すると、充電中でも電池が減り続け、電池切れに至る場合があります。
- 充電中は本機やACアダプタ(別売)が温かくなることがありますが、故障ではありません。本機が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本機が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 以下の場合、充電エラーになりお知らせLEDが赤色に点滅します。
  ・充電電圧が高くなった場合
  ・電池パックが過充電/過放電した場合
  ・5時間以上たっても充電が完了しなかった場合
  充電エラーになると、起動中の機能が終了し、キー操作が制限されます。充電器を取り外すか電池パックを取り外してください。

ACアダプタ（別売）を使って充電する

ACアダプタ（別売）と付属の充電microUSB変換アダプタを使って充電する方法を説明します。



1 **ACアダプタのコネクタを、充電microUSB変換アダプタの外部接続端子に差し込む**

- 矢印の表記面を上にしたコネクタを、ラベル面を上にした外部接続端子に水平に差し込みます。

2 **本機の外部接続端子キャップを開け、充電microUSB変換アダプタのmicroUSBプラグを差し込む**

- microUSBプラグは、刻印がある面を上にして水平に差し込みます。

3 **ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む**

- 充電中はお知らせLEDが赤く点灯します。
- 充電が完了すると、お知らせLEDが消灯します。

4 **充電が終わったら、本機からmicroUSBプラグを抜く**

5 **充電microUSB変換アダプタの外部接続端子からACアダプタのコネクタを抜く**

- コネクタの両脇にあるリリースボタンを押しながら、水平に引き抜いてください。

6 **ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く**

- 本機の電源を切った状態で充電を開始すると、お知らせLEDが赤く点灯するまでしばらく時間がかかることがあります。
- ACアダプタ（別売）は家庭用AC100〜240Vの電源に対応しています。
- ACアダプタ（別売）のプラグは日本国内用です。
- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

PC接続用USBケーブルを使って充電する

本機とパソコンを付属のPC接続用USBケーブルで接続して、本機を充電することができます。

- パソコンとの接続のしかたは、7-4ページを参照してください。
- パソコンと接続する前に本機の電源を切ってください。
- PC接続用USBケーブルで充電しながら本機を使用するには、パソコンにActiveSyncまたはWindows Mobile®デバイスセンターをインストールしてください（7-3、7-5ページ）。また、USB接続の設定をActive Syncモードにしてください（14-5ページ）。
- パソコン上に「同期セットアップウィザード」画面が表示される場合があります。パソコンと同期（7-2ページ）せず充電のみ行いたい場合は、「キャンセル」を選択してください。

電池残量の確認のしかた

ホーム画面のタイトルバーに電池残量の目安を示すアイコンが表示されます。
電池レベルアイコンをタップすると、電池残量をより詳しく確認できます。

アイコン						
電池残量	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	レベル0	充電中

電池が切れそうになると

電池アラームが鳴り、警告メッセージが表示されて少したつと、自動的に電源が切れます。警告メッセージが表示されたら、すぐに使用中のデータを保存し、充電を始めてください。

- 電池切れの状態で充電を開始すると、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本機の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 本機が1回振動し、お知らせLEDが緑色に点灯するまで⏻を押したままにする（約2秒）

お知らせLEDは緑色に点灯したあと消えます。
「SoftBank」が表示されて少したつと、Windows®画面が表示され、続けてデバイスロック画面が表示されます。



デバイスロック画面

2 を左右になぞってデバイスロックを解除する

ホーム画面が表示されます。



ホーム画面

はじめて電源を入れたとき

お買い上げ後、はじめて本機の電源を入れたときやマスタークリア後に再起動したときは、画面の指示に従って初期設定を行います（1-14ページ）。

電波状態を確認する

タイトルバーに電波の受信状態を示すアイコンが表示されます。

が表示されたときは、サービスエリア外か電波の届かない場所にいます。

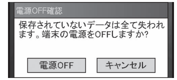
アイコン					
電波状態	強	←→		弱	圏外

- 本機は世界対応ケータイのため、電源を入れた直後は対応しているネットワークの検索に時間がかかることがあります。

電源を切る

1 電源OFF確認画面が表示されるまでを押したままにする

- スリープモード中やデバイスロック画面（1-12ページ）表示中は操作できません。



電源OFF確認画面

2 「電源OFF」をタップする

「SoftBank」が表示されたあと、本機の電源が切れます。

スリープモードについて

本機を一定時間操作しなかったときは、自動的にディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。スリープモード中は、お知らせLEDが緑色に点滅します。

操作中にを押してもスリープモードになります。

スリープモードを解除して操作画面に戻るには、を押してデバイスロックを解除します。

スリープモードLED設定

スリープモード中であることを示す緑色のお知らせLEDを点滅させるかどうか設定できます。

1 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「スリープモードLED設定」➡「On」／「Off」➡「OK」

初期設定を行う

お買い上げ後、はじめて本機の電源を入れたときやマスタークリア後に再起動したときは、画面の指示に従って初期設定を行います。

1 Windows®画面をタップする

- 画面のどこをタップしてもかまいません。

2 画面の補正をする

- 指またはスタイラスペンを使って、画面の指示に従ってタップします。

3 日付と時刻を設定する

- タイムゾーンが「GMT+9　東京、大阪」になっていることを確認します。
- 日付欄の▼をタップして表示されるカレンダーから、今日の日付を選択します。
- 時、分、秒のそれぞれをタップして選択（反転）し、▼／▲で時刻を合わせます。

4 「次へ」をタップする

初期設定が完了し、再起動後にホーム画面が表示されます。

日付／時刻の設定

1 「スタート」➡「設定」➡「時計とアラーム」➡「時刻」タブ

時刻設定画面が表示されます。



タイムゾーン

時刻設定画面

2 「現在地」をタップし、タイムゾーン、現在時刻、日付を設定する

- タイムゾーンが「GMT+9　東京、大阪」になっていることを確認します。
- 時、分、秒のそれぞれをタップして選択（反転）し、▼／▲で時刻を合わせます。
- 日付欄の▼をタップして表示されるカレンダーから、今日の日付を選択します。

3 「OK」➡「はい」

日付と時刻の表示形式を設定する

日付の表示形式を設定する

1 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「地域」➡「日付」タブ

2 短い形式および長い形式を選択する

- 「区切り記号」欄をタップして、記号を入力して変更できます。
- 画面上部のサンプル欄で、変更後の表示イメージを確認できます。

3 「OK」をタップする

時刻の表示形式を設定する

1 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「地域」➡「時刻」タブ

2 時刻の形式を選択する

- 「区切り記号」欄をタップして、記号を入力して変更できます。
- 画面上部のサンプル欄で、変更後の表示イメージを確認できます。

3 「OK」をタップする

デバイスロック画面の通知アイコン

デバイスロック画面に「タップまたはスライドしてください。」が表示されているとき、スライダーをタップすると通知アイコンが表示されます。
通知アイコンを左右になぞって、不在着信や新着メールなどを確認できます。
伝言メッセージ以外の各通知アイコンには通知の件数（2件以上ある場合）、スライダーには総件数が表示されます。



デバイスロック画面

通知アイコン	
	伝言メッセージあり（2-12ページ）
	不在着信（2-5ページ）
	新着SMS／S!メール（5-8ページ）
	新着電子メール（5-16ページ）

ホーム画面

本機の電源を入れるとホーム画面が表示されます。別の画面が表示されているときは[ホーム]を押すか、「スタート」➡「Today」をタップして、ホーム画面に戻ることができます。



① スタートメニューを表示します（1-19ページ）。
② **タイトルバー**（1-17ページ）
本機の状態を示すアイコンが表示されます。
③ **選択パネル**
選択パネルを使ってホーム画面の項目を選択します。選択中の項目の情報やオプション、登録内容が表示されます。
選択パネルに◁／▷が表示されているとき、選択パネルを左右になぞって表示を切り替えることができます。
④ **メニューバー**（1-19ページ）
起動中のプログラムや表示中の画面に対応するボタンが表示されます。
⑤ 通話を終了します。または、表示中の画面を閉じてホーム画面に戻ります。
⑥ 選択中の項目に対応するボタンが表示されます。
⑦「連絡先」をタップすると、連絡先一覧（4-3ページ）を表示します。
「通知」をタップすると、不在着信や新着メールなどの確認や、閉じてしまった通知画面を再表示できます。
⑧ 電話画面（2-4ページ）を表示します。

- 項目名の右横に通知の件数が表示されているとき、メニューバーの「通知」をタップして通知の内容を確認することができます。

ホーム画面から機能を起動する

1 選択パネルでホーム画面の項目を選択する

- 項目を選択パネルに移動するには、以下の3通りの方法があります。
  ・ホーム画面を上下にスクロールする
  ・選択パネルを上下にドラッグする
  ・項目をタップする
- 選択パネルに◁／▷が表示されているとき、選択パネルを左右になぞって表示を切り替えることができます。

2 選択パネルをタップする

対応する機能が起動します。

タイトルバーに表示されるアイコン

タイトルバーには本機の状態を示すアイコンが表示されます。アイコンをタップして音量の調節や接続設定などの操作を行うことができます。

通知アイコン	
	不在着信（2-5ページ）
	SMS／S!メール受信中
	SMS／S!メール送信中
	SMS／S!メール送信完了
	新着電子メール（5-16ページ）
	新着SMS／S!メール（5-8ページ）
	伝言メッセージあり（2-12ページ）
	新着インスタントメッセージ（6-10ページ）
	マイクロソフト社からの通知
	SMSメモリフル
	Bluetooth®パートナーシップ要求（9-9ページ）
	ビーム受信（9-10ページ）
	Bluetooth®ヘッドセット接続中（9-8ページ）
	ワイヤレスLAN検出（9-4ページ）
	スピーカーオン（通話中）（2-4ページ）
	アラーム動作中（14-4ページ）
	重複通知：通知アイコンが重複している場合（アラーム動作中と不在着信など）に表示されます。タップすると、隠れているアイコンを確認できます。

ローミングアイコン	
	ローミング中
	GPRS使用可能
	EDGE使用可能
	HSDPA使用可能
	3G（パケットあり）ネットワークエリア
	3G（パケットなし）ネットワークエリア

データアイコン	
	ワイヤレスLAN機能オン（9-4ページ）
	ワイヤレスLAN接続中（9-4ページ）
	データ通信（電話機能）オフ（9-2ページ）
	USB接続中（7-4ページ）
	パソコンと同期中（7-4ページ）

電波アイコン	
	電波状態（1-13ページ）
	圏外（1-13ページ）
	電話機能オフ（9-2ページ）
	GPRS接続中
	EDGE接続中
	3G（パケット）接続中
	HSDPA接続中

タイトルバーに表示されるアイコン

	GPRS使用中
	EDGE使用中
	3G（パケット）使用中
	HSDPA使用中
	発着信中／通話中（2-4ページ）
	データ通信接続中
	通話保留中（2-4ページ）
	USIMカード未挿入（1-6ページ）

音量アイコン	
	マナーモード（バイブ）（2-11ページ）
	スピーカーオフ（2-3ページ）
	スピーカーオン（2-3ページ）

以下はホーム画面のみに表示されるアイコンです。

電池レベルアイコン	
	電池レベル（1-12ページ）
	充電中（1-10ページ）

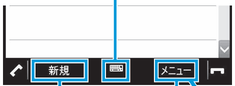
以下はホーム画面以外の操作画面に表示されるアイコンです。

閉じる／OKボタン	
×	表示中の画面を閉じます。すべての画面を閉じるとホーム画面に戻ります。
OK	表示されている内容を確認して画面を閉じます。

- プログラムを起動したあと、「×」や「OK」をタップして画面を閉じてもプログラムは起動したままになっています。とくにInternet Explorer® Mobileが起動したままになっていると、自動でインターネットに再接続されることがありますのでご注意ください。起動したプログラムは、タスクマネージャーを使って終了します（14-9ページ）。

メニューバーについて

メニューバーには、起動中のプログラムや表示中の画面に対応するボタンが表示されます。ボタンをタップすると、そのとき利用できる機能やメニューを呼び出すことができます。



文字入力パッド表示アイコン
(3-2 ページ)
タップして文字入力パッドを呼び出します。

表示されるボタンは状況によって異なります。
※「通知」が表示されているときタップすると、不在着信や新着メールなどの確認や、閉じてしまった通知画面を再表示できます。

メニューの例



スタートメニューから機能を起動する

スタートメニューから本機に登録されているプログラムや機能を起動したり、本機の設定を変更したりできます。

1 **タイトルバーのまたは画面タイトル部分（ホーム画面では「スタート」）をタップする**

スタートメニューが表示されます。



ここをタップ



スタートメニュー

2 **指またはスタイラスペンで画面を上下になぞってスクロールし、起動したい機能／項目をタップする**

- スタートメニューの各項目については、16-2ページを参照してください。
- 本書では、スタートメニューを表示する操作（1）を以下のように表記します。
  「スタート」➡

スタートメニューの項目を並べ替える

1 スタートメニューで移動したい項目をタップしたままにする

ポップアップメニューが表示されます。

2 「先頭へ移動」をタップする

選択した項目が画面左上へ移動します。

- 「先頭へ移動」で移動した項目は、「下へ移動」で移動できます。

並べ替えの例

例1：「連絡先」をタップしたままにしてポップアップメニューを表示し、「先頭へ移動」をタップする



例2：「連絡先」をタップしたままにしてポップアップメニューを表示し、「下へ移動」をタップする



「お使いになる前に」を利用する

本機の基本的な機能や設定の概要を確認できます。本機を使い始める前に目を通しておかれることをおすすめします。

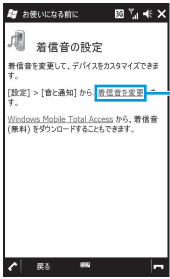
1 「スタート」➡「お使いになる前に」

目次画面が表示されます。

2 確認したい項目をタップする

説明画面が表示されます。

- アンカーをタップすると、その項目の設定画面が表示されます。



- 以下の操作でホーム画面の「お使いになる前に」を非表示にすることができます。再表示させたい場合は同じ操作を行ってください。
  「スタート」➡「お使いになる前に」➡「[お使いになる前に] の追加／削除」➡「[[お使いになる前に] の追加／削除]」➡「ok」

本機のヘルプを利用する

1 「スタート」➡「ヘルプ」

全目次画面が表示されます。

2 確認したい項目をタップする

- ヘルプ画面で以下の機能を利用できます。

目次	全目次を表示します。
検索	検索画面を表示します。「検索」欄に調べたい語句やキーワードを入力し、「検索」をタップします。
⇦	以前表示したヘルプ画面をさかのぼって表示します。
⇨	さかのぼったヘルプ画面を元の画面に戻します。

オンラインヘルプを利用する

本機からWindows Mobile®のオンラインヘルプを参照できます。

1 「スタート」➡「Internet Explorer」➡ ➡ ➡「Explore Windows Mobile」

タッチパネルとモーションコントロールの使いかた

本機のディスプレイはタッチパネルになっており、指またはスタイラスペンで直接触れて操作します。また、本機の向きや動きを検知するモーションセンサーによって､本機を縦または横に持ち替えたり､振ったり、たたいたりして、画面表示を切り替えたり、機能を起動したりできます（モーションコントロール）。

タッチパネル利用上のご注意

- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - ・異物を操作面に乗せたままでの操作
  - ・保護シートやシールなどを貼っての操作
- 爪やボールペン、ピンなど先の尖ったものや、指で強く押さないでください。

項目を選択する

画面の項目を指またはスタイラスペンで軽くたたきます。



縦／横画面表示を切り替える

本機を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

- モーションセンサー設定で縦横表示切り替えを有効にしてから操作してください（1-24ページ）。



- 本機を垂直に立てた状態で操作してください。本機を水平に寝かせるとモーションセンサーが正常に働かず、画面表示が切り替わらない場合があります。
- モーションセンサー設定の縦横表示切り替えが無効のときは、[キー]を1秒以上押して縦／横画面表示を切り替えます。
- ビデオ撮影など一部の機能では、縦／横画面表示の切り替えができません。

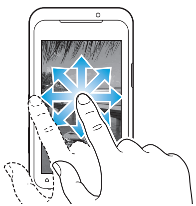
スクロールする

仕事や予定表の一覧やWord Mobile、Excel Mobileのドキュメントなど、1画面で表示しきれないときは、スクロールバーが表示されます。スクロールバーをドラッグするか、画面を上下／左右方向になぞって、隠れている部分を表示します。



パンする

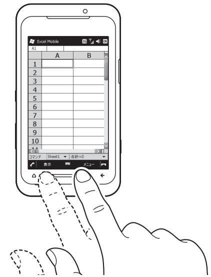
Webページやオフィスアプリケーションのドキュメント、静止画の拡大表示時など、1画面で表示しきれないときに、画面そのものを全方向にドラッグして見たい部分を表示します。



表示を拡大／縮小する

Internet Explorer® MobileやWord Mobile、Excel Mobileなど、一部のアプリケーションでは、UIキーを右になぞって表示を拡大し、左になぞって縮小することができます。

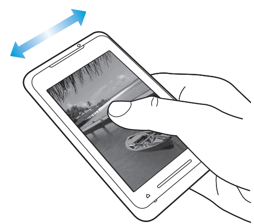
- 横画面表示のときは、上になぞって拡大し、下になぞって縮小します。



シェイク操作で指定した動作を行う

本機を1回振って、指定した動作を行います。

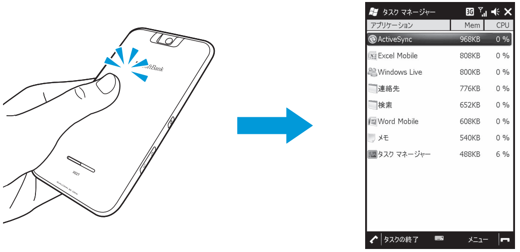
- モーションセンサー設定でシェイクによる起動を有効にしてから操作してください（1-24ページ）。



タップ2回操作でタスクマネージャーを起動する

本機の背面を2回たたいて、タスクマネージャー（14-9ページ）を起動します。

- モーションセンサー設定でタップ2回によるタスクマネージャーの起動を有効にしてから操作してください（右記）。



- 2回続けて確実にタップしてください。2回のタップの間隔が短すぎたり長すぎたりすると、モーションセンサーが正常に働かず、タスクマネージャーが起動しない場合があります。
- 本機を机やテーブルなどに置く際、衝撃を与えると、モーションセンサーが誤動作する場合があります。

モーションセンサーを設定する

モーションコントロール（縦横表示切り替え、タップ2回操作、シェイク操作）の有効／無効を設定します。また、シェイク操作で行う動作を指定します。

1. 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「モーションセンサー設定」
2. 有効にしたい操作にチェックを付ける
   - 「シェイクによる起動を有効にする」にチェックを付けた場合は、シェイク操作で行う動作を選択します。
3. 「OK」をタップする

モーションセンサーを調整する

モーションコントロールが正しく動作しない場合は、モーションセンサーを調整してください。

1. 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「モーションセンサー調整」
2. 本機を水平な机などの上に置き、「調整」をタップする
3. 調整が完了したことを知らせる画面が表示されたら、「×」をタップして画面を閉じる
4. 「OK」をタップする

フローティングパッドの使いかた

フリーカーソルパッドとマルチファンクションパッドを切り替えて使用できます。

フリーカーソルパッド

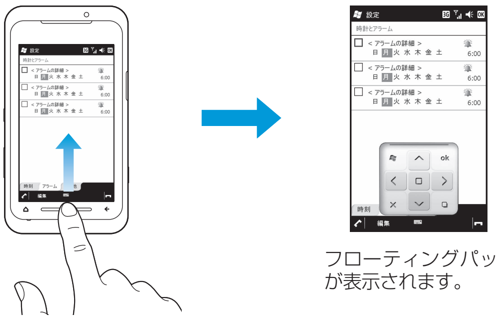
パソコンでマウスを操作するのと同じ感覚で操作できます。画面上にポインタを表示し、フリーカーソルエリア内を指またはスタイラスペンでなぞって、ポインタを移動します。

マルチファンクションパッド

上下左右ボタンでカーソルを移動して項目を選択します。

フローティングパッドを起動する

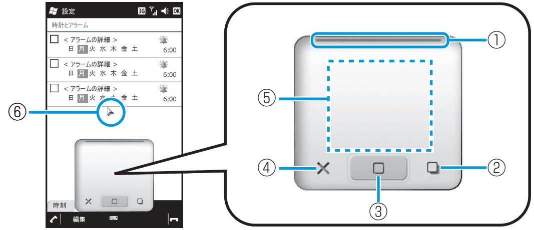
UIキーを画面の方向になぞります。



フローティングパッドが表示されます。

- カメラ使用中はフローティングパッドを起動できません。

フリーカーソルパッドの使いかた



①パッド移動つまみ
指またはスタイラスペンでドラッグして、フリーカーソルパッドを移動します。

②パッド切り替えボタン
1秒以上タップして、マルチファンクションパッドに切り替えます。

③タップボタン
ポインタの位置をタップしたのと同じ動作を行います。

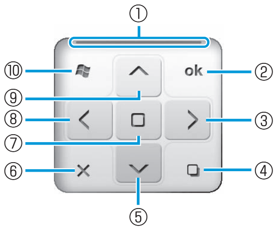
④終了ボタン
フリーカーソルパッドを消します。

⑤フリーカーソルエリア
指またはスタイラスペンでなぞってポインタを移動します。

⑥ポインタ

- テキスト選択可能な画面でフリーカーソルエリアをタップすると、テキスト選択モードに切り替わります。そのまま指を離さずポインタをドラッグして、テキストを選択できます。

マルチファンクションパッドの使いかた



①**パッド移動つまみ**
指またはスタイラスペンでドラッグして、マルチファンクションパッドを移動します。
②**okボタン**
画面右上に表示される「OK」や「×」をタップしたのと同じ動作を行います。
③**右ボタン**
カーソルを右に移動します。
④**パッド切り替えボタン**
1秒以上タップして、フリーカーソルパッドに切り替えます。
⑤**下ボタン**
カーソルを下に移動します。
⑥**終了ボタン**
マルチファンクションパッドを消します。
⑦**決定ボタン**
カーソルで選択している項目を確定／実行します。
⑧**左ボタン**
カーソルを左に移動します。
⑨**上ボタン**
カーソルを上に移動します。
⑩**スタートメニューボタン**
スタートメニューを表示します。

フローティングパッドを消す

フローティングパッドを消すには、以下の3通りの方法があります。
- 終了ボタンをタップします。
- パッド移動つまみをドラッグして、フローティングパッドを画面の左右または下側に引き出します。
- 起動したときと同様に、UIキーを画面の方向になぞります。

フローティングパッドを設定する

1 **「スタート」➡「設定」➡「個人」➡「フローティングパッド設定」**

2 **「フローティングパッドを使う」にチェックを付ける、またはチェックを外す**
- チェックを外した場合は**4**に進みます。

3 **「右きき用」または「左きき用」をタップする**

4 **「OK」をタップする**

2 電話機能の使いかた

電話について

本機では音声電話を利用できます。ソフトバンク携帯電話以外に他社携帯電話や一般電話とも通話できます。また、転送電話や留守番電話など便利なオプションサービスが利用可能です。

国際電話

海外へ電話をかけたり、受けたりすることができます。

世界対応ケータイ

本機は世界対応ケータイに対応しています。お使いの電話番号をそのまま海外で利用できます。サービスの詳細、お客様のお申し込み状況に関しては、**お問い合わせ先**（16-27ページ）までご連絡ください。
海外へ出かけるときは、世界対応ケータイサービスガイドを携帯してください。

自分の電話番号を確認する

1 「スタート」➡「設定」➡「個人」➡「電話」➡「電話」タブ

画面上部にお客様の電話番号が表示されます。

- オーナー情報でもお客様の電話番号を確認できます（14-3ページ）。

通話中に相手の声の音量を調節する

1 通話中に（音量大）または（音量小）を押す

- 通話中以外は受話音量を調節することはできません。
- 通話中にタイトルバーの音量アイコンまたは、をタップし、受話音量のスライダーを上下になぞって調節することもできます。

着信音量やスピーカー音量を調節する

電話の着信音はで調節できます。メールの着信音、「時計とアラーム」のアラーム、「予定表」のアラーム、「Windows Media® Player」や「動画」などの再生音はで調節できます。



待受中／着信中に着信音の音量を調節する

電話の着信音量の調節は（着信音量）で行います。また、メールの着信音量の調節は（スピーカー音量）で行います。

1 **タイトルバーの音量アイコンまたは、をタップする**

2 **（着信音量）または（スピーカー音量）のスライダーを上下になぞって、着信音量を調節する**

- （着信音量）または（スピーカー音量）を「レベル0」に設定すると音が鳴りません。
- 電話着信中に（着信音量）を変更した場合、次回の着信から反映されます。メール着信中に（スピーカー音量）を変更した場合、着信中の音量から反映されます。
- （スピーカー音量）の「バイブ」や「オフ」をタップすると、音が鳴らなくなります。

着信中に着信音を一時的に消す

1 **着信中に（音量大）または（音量小）を押す**

アラームや再生音の音量を調節する

1 **タイトルバーの音量アイコンまたは、をタップする**

2 **（スピーカー音量）のスライダーを上下になぞって、音量を調節する**

- （スピーカー音量）の「バイブ」や「オフ」をタップすると、音は鳴りません。

1 をタップする

電話画面が表示されます。



電話画面

2 相手の電話番号を入力する

■電話番号を間違えたときは

- ← をタップして入力した番号を消します。← をタップしたままにすると、入力した番号がすべて消えます。

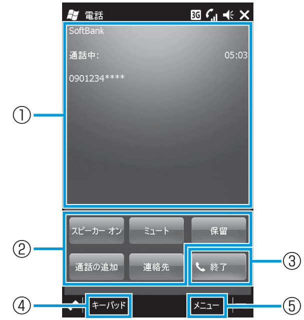
3 通話 をタップする

通話開始直後に画面ロックが設定され、約5秒後にディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。

4 通話が終了したら 終了 をタップする

- 連絡先に登録されている電話番号と入力した電話番号が一致した場合は、名前が表示されます。
- 連絡先に登録されていない電話番号を入力した場合は、「該当なし」と表示されます。
- 通話中に画面ロックが設定された場合、画面を2回たたくと通常の操作ができます。
- 通話中にスリープモードになった場合、画面を2回たたく、または⏻を押すと、通常の操作ができます。
- 「スタート」➡「電話」をタップしても電話画面を表示できます。
- 本機は、通話終了音（相手が先に電話を切ったときに聞こえる「プープー」という音）が鳴りません。

通話中画面の見かた



①状態表示エリア

サービスプロバイダー名、通話相手の情報、通話時間が表示されます。

②スピーカーオン／オフ

ハンズフリーを利用する場合に「スピーカーオン」をタップします。「スピーカーオフ」をタップすると元に戻ります。

ミュート

自分の音声が相手に聞こえなくなります。

保留

通話を一時保留します。

通話の追加

別の相手に電話をかけます（2-13ページ）。

連絡先

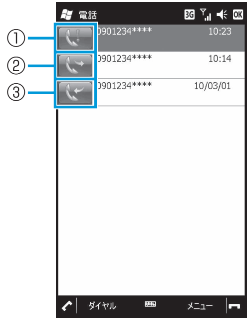
連絡先一覧を表示します。

③**終了**
通話を終了します。
④**キーパッド**
タップすると電話画面が表示され、電話番号を入力できます。
⑤**メニュー**
タップすると、通話の保留、ミュート、スピーカーオン／オフ、連絡先の表示、メモの作成※などができます。
※メモ画面の「メニュー」から「録音ツールバーの表示」をタップし、通話中の音声を録音することができます。

- 着信時に相手の番号が通知されなかった場合、状態表示エリアに「非通知」（非通知設定／公衆電話の着信の場合）、または「不明」（通知不可能の場合）と表示されます。

発着信履歴を利用して電話をかける

1 **➡「通話履歴」**
通話履歴一覧が表示されます。



①**不在着信**
不在着信があったことを示します。
②**発信**
電話を発信したことを示します。
③**着信**
着信があったことを示します。

2 **かけたい相手を選択する**
通話履歴詳細画面が表示されます。

3 **「ダイヤル」をタップする**

4 **通話が終了したら［終了］をタップする**
- 通話時間を表示する場合は、「通話履歴」➡「メニュー」➡「通話時間」をタップします。

リダイヤルする

1 **を2回タップする**
最新の通話履歴に電話をかけます。

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

電話をかけたときに自分の電話番号を相手の電話機に表示させせることができます。

- 自分の電話番号を通知するかどうかを、一括して設定する方法については、「発信者番号通知サービス」（2-14ページ）を参照してください。

1 ➡「186」（通知）／「184」（非通知）を入力する

2 相手の電話番号を入力する

3 通話をタップする

相手を絞り込みすばやく発信する

数字や記号を入力するごとに通話履歴や連絡先を絞り込んで検索することができます。

例：「2」「3」の順に絞り込む

1 ➡「2」を入力する

連絡先の1文字目に「2」を含む候補が表示されます。

- 数字「0」～「9」以外に、「*」、「#」も検索できます。

2 「3」を入力する

連絡先の2文字目に「3」を含む候補が表示されます。

3 相手を選択し、「ダイヤル」をタップする

- 検索結果に相手が表示されない場合は、「メニュー」➡「連絡先」をタップして、発信先を選択してください。

スピードダイヤルを利用して発信する

よくかける連絡先をスピードダイヤルに登録しておくと、該当するキーを1秒以上タップするだけで発信できます。

スピードダイヤルを登録する

1 ➡「スピードダイヤル」

スピードダイヤルリストが表示されます。

2 「メニュー」➡「新規作成」

連絡先の選択画面が表示されます。

3 登録する相手を選択する

スピードダイヤル画面が表示されます。

4 登録する「電話番号」を選択する

5 「短縮番号」で割り当てる番号を選択し、「OK」をタップする

- 短縮番号1は、「留守番電話」に割り当てられています。「1」を1秒以上タップすると、留守番電話サービスセンターに電話がかかります。
- 登録する際は、短縮番号1以外の番号に割り当ててください。
- 連絡先からスピードダイヤルに登録するには、連絡先の名前を選択して「メニュー」➡「スピードダイヤルに追加」➡「短縮番号」で割り当てる番号を選択します。
- スピードダイヤルを削除するには、スピードダイヤルリストで削除したい相手を選択して、「削除」➡「はい」をタップします。

スピードダイヤルで発信する

1 をタップし、短縮番号が割り当てられたキーを1秒以上タップする

登録された相手に発信されます。

- 短縮番号が2桁の場合は、1文字目のキーをタップし、2文字目のキーを1秒以上タップします。
- スピードダイヤルリストで、短縮番号をタップして発信することもできます。

連絡先から電話をかける

1 「スタート」➡「連絡先」

連絡先画面が表示されます。

2 発信する相手を選択する

3 発信する電話番号をタップする

- 発信する相手を1秒以上タップし、ポップアップメニューから電話をかけることもできます。

プッシュ信号（DTMF）を送信する

本機からプッシュ信号を送信し、チケットの予約や銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

1 通話中に「キーパッド」をタップする

2 「0」～「9」、「*」、「#」を入力する

日本国内から国際電話をかける

- 通信事業者によっては、発信者番号が通知されなかったり、正しく表示されないことがあります。この場合、着信履歴から電話をかけることはできません。

1 **をタップする**

電話画面が表示されます。

2 **＋(「0」を1秒以上タップ)➡国番号➡電話番号※を入力する**

※相手先の電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて押してください(ただし、イタリアの一般電話にかける場合は、「0」が必要です)。

- 国番号については、世界対応ケータイサービスガイドをご覧ください。

3 **通話 をタップする**

4 **通話が終了したら 終了 をタップする**

詳しくは最寄りの**ソフトバンクショップ**または**お問い合わせ先**(16-27ページ)までご連絡ください。

緊急電話(110/119/118)をかける

本機では以下の場合でも、110番(警察)、119番(消防･救急)、118番(海上保安本部)へは発信することができます。

- デバイスロック中(13-2ページ)
- 発着信規制設定中(2-14ページ)

緊急通報位置通知について

「緊急通報位置通知」とは、本機から緊急通報を行った場合、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関(警察など)に対して通知するシステムです。

通知する位置情報は基地局情報※とGPS測位情報があります。本機はGPS測位に対応しているため、発信場所などによってGPS測位機能が利用できる場合は、GPS測位情報を通知します。本機が通知したGPS測位情報は、履歴に残ります。

※基地局情報の精度は、数100m～10km程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります(遠方の基地局電波を受信した場合など)。

- GPS測位情報を通知した場合は、測位情報がいつもNAVI(無料地図)(15-2ページ)の履歴に保存されます。
- 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
- 「緊急通報位置通知」機能は、接続先となる緊急通報受理機関が、位置情報を受信できるシステムを導入した後にご利用いただけるようになります。
- 「184」を付けて、「110」、「118」、「119」の緊急通報番号をダイヤルした場合などは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命などに差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 申込料金、通信料は一切必要ありません。
- 海外で世界対応ケータイをご利用中は対象外となります。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

2 「応答」をタップする

通話開始直後に画面ロックが設定され、約5秒後にディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。

- デバイスロック中は、「応答」を右になぞります。また、「ロックの解除」をタップすると、通常の通話中画面になります。

■着信を拒否する場合

「拒否」をタップします。

- デバイスロック中は、「無視」を右になぞります。

3 通話が終了したら「終了」をタップする

- 本機は応答保留ができません。
- 通話中に画面ロックが設定された場合、画面を2回たたくと通常の操作ができます。
- 通話中にスリープモードになった場合、画面を2回たたく、または⏻を押すと、通常の操作ができます。

着信中の表示について

- 相手の電話番号が通知された場合、相手の電話番号が画面に表示されます。連絡先に登録されている電話番号と一致した場合は、名前が画面に表示されます。
- 相手の電話番号が通知されなかった場合、非通知理由が表示されます。

海外で利用する

世界対応ケータイ

滞在国から滞在国以外の一般電話や携帯電話へ電話をかけます。

ネットワークの種類を設定する

お客様のいる国や地域によっては、海外の通信事業者のネットワークを切り替える必要があります。

1 「スタート」➡「設定」➡「個人」➡「電話」➡「モード」タブ

2 モードを選択する

自動	利用できるネットワークを自動的に切り替えます。
3G	3Gネットワークを利用します。
GSM／GPRS	GSM／GPRSネットワークを利用します。

3 「OK」をタップする

- モードを「自動」に設定しているときに同じ通信事業者のGSM／GPRSネットワークと3Gネットワークを同時に検出すると、3Gネットワークに接続します。
- 滞在先でモードを「GSM／GPRS」に設定した場合は、日本に帰国後、「自動」または「3G」に設定してください。

優先する通信事業者を設定する

本機に複数のネットワーク設定をしている場合、接続する通信事業者の優先順位を設定します。

1 「スタート」➡「設定」➡「個人」➡「電話」➡「ネットワーク」タブ

2 「優先するネットワーク」の「ネットワークの設定」をタップする

3 優先する通信事業者のネットワークを選択し、優先する順に並べ替える

- 優先するネットワークの一覧からネットワークを選択し、「上へ移動」／「下へ移動」をタップします。

4 「OK」をタップする

手動で通信事業者を設定する

1 「スタート」➡「設定」➡「個人」➡「電話」➡「ネットワーク」タブ

2 「ネットワークの選択」で「手動」を選択する

3 通信事業者を選択し、「OK」をタップする

- 滞在先でネットワークの選択を「手動」にして通信事業者を設定した場合は、日本に帰国後、「自動」に設定してください。

滞在先での電話のかけかた／受けかた

滞在国外（日本含む）に電話をかける

1 をタップする

電話画面が表示されます。

2 ＋（「0」を1秒以上タップ）➡国番号➡電話番号※を入力する

※相手先の電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて押してください（ただし、イタリアの一般電話にかける場合は、「0」が必要です）。

- 国番号については、世界対応ケータイサービスガイドをご覧ください。

3 通話をタップする

滞在国内に電話をかける

滞在している国の一般電話／携帯電話へかける場合は、日本国内にいるときと同様の操作で電話をかけることができます。国番号を入力したり、相手の市外局番の最初の「0」を除いたりする必要はありません。

1 をタップする

電話画面が表示されます。

2 電話番号を入力する

- 一般電話にかける場合は、市外局番＋電話番号を入力します。

3 通話をタップする

滞在先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

マナーモード

マナーモードを設定すると、振動で着信をお知らせします。
公共の場所や静かな場所などで、周囲の迷惑にならないよう気配りを忘れないようにしましょう。

- 映画館・劇場・美術館などでの鑑賞中は電源をお切りください。
- 電車や新幹線、航空機の中などでは、車内および機内のアナウンスや掲示に従ってください。
- 病院・研究所などの使用が禁止されている場所では、精密機器などに影響を及ぼす場合がありますので電源をお切りください。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないようご注意ください。
- 街の中では、通行の妨げにならないように十分ご注意ください。

1 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「マナーモード」

2 「マナーモード(バイブのみ)」➡「OK」

タイトルバーにが表示されます。

■マナーモードを解除する場合

「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「マナーモード」➡「解除」／「マナーモード（バイブなし）」➡「OK」

音量調節で設定する

1 タイトルバーに表示されている音量アイコンのまたはをタップする

2 「バイブ」をタップする

タイトルバーにが表示されます。

■マナーモードを解除する場合

タイトルバーに表示されている音量アイコンのをタップし、「バイブ」以外をタップします。

- マナーモード設定中には、以下の音が鳴りません。カメラのシャッター音やビデオの開始音、終了音は鳴ります。
  - ・電話着信音
  - ・メール、SMS着信音
  - ・「時計とアラーム」のアラーム音
  - ・予定表のアラーム音
  - ・電池切れのアラーム音
  - ・各プレイヤーの再生音

オプションサービス

- 電波の届かない場所では、本機からは操作できません。

サービス名称	内容
転送電話サービス	かかってきた電話を指定した電話番号に転送します。
留守番電話サービス	電波の届かない場所や通話中のため電話にでられないときなどに、留守番電話サービスセンターで伝言をお預かりします。
割込通話サービス※	今まで話していた相手との通話を保留にし、かかってきた電話を受けることができます。
グループ通話サービス※	通話中に別の相手に電話をかけ、同時に複数の相手と通話できます。
発着信規制サービス	国際電話を含む、すべての発着信を規制できます。
発信者番号通知サービス	自分の電話番号を相手に通知することができます。

※割込通話サービスとグループ通話サービスをご利用になるには、別途お申し込みが必要です。詳しくは、**お問い合わせ先**（16-27ページ）までご連絡ください。

転送電話サービス

1 「スタート」➡「設定」➡「個人」➡「電話」➡「サービス」タブ

2 「転送電話」➡「設定の取得」

3 必要な項目を設定する

すべての着信通話を転送する	チェックを付け、「宛先」に転送先の電話番号を入力します。
転送する条件	転送する条件を「応答なし」／「圏外／電源オフ時」／「通話中」から選択し、転送先の電話番号を入力します。 「応答なし」を選択した場合は、転送までの時間を「5秒」／「10秒」／「15秒」／「20秒」／「25秒」／「30秒」から選択します。

4 「OK」をタップする

留守番電話サービス

1 「スタート」➡「設定」➡「個人」➡「電話」➡「サービス」タブ

2 「転送電話」➡「設定の取得」

3 必要な項目を設定する

すべての着信通話を転送する	チェックを付け、「宛先」に「09066517000」を入力します（2009年10月現在）。
転送する条件	転送する条件を「応答なし」／「圏外／電源オフ時」／「通話中」から選択し、「09066517000」を入力します。 「応答なし」を選択した場合は、転送までの時間を「5秒」／「10秒」／「15秒」／「20秒」／「25秒」／「30秒」から選択します。

4 「OK」をタップする

伝言メッセージを聞く

1 伝言メッセージが録音されると、デバイスロック画面に通知アイコンが表示される

2 スライダーをタップし、[留守番電話アイコン]を左右になぞる

以降は音声ガイダンスに従って操作します。

- ホーム画面に留守番電話メッセージが表示されている場合は、「留守番電話」をタップします。メッセージが消えたときは、「通知」をタップすると再表示されます。

- 電話画面（2-4ページ）で「1」を1秒以上タップしても、留守番電話サービスセンターに電話がかかります。

割込通話サービス

1 **「スタート」➡「設定」➡「個人」➡「電話」➡「サービス」タブ**

2 **「割り込み通話」➡「設定の取得」**

3 **「通知する」または「通知しない」を選択し、「OK」をタップする**

「通知する」に設定すると通話中に電話がかかってきたときに、音声と表示で通知されるようになります。

- 通話中の相手を保留にしてあとからかかってきた電話に応答する場合は、「応答」をタップします。また、相手を切り替えるには「切り替え」をタップします。

グループ通話サービス

- 画面に表示される「三者通話」とは、グループ通話を指しています。

通話中に別の相手へ電話をかける

1 **通話中に「保留」をタップする**

通話中だった相手は保留になります。

2 **「通話の追加」をタップし、電話番号を入力する**

3 **通話 をタップする**

「通知する」に設定すると通話中に電話がかかってきたときに、音声と表示で通知されるようになります。

4 **通話を切り替えるには「切り替え」をタップする**

- グループ通話サービスをお申し込みされていない場合は、保留することはできません。

複数で同時に通話する

1 **通話中に「保留」をタップする**

2 **「通話の追加」をタップし、追加相手の電話番号を入力する**

3 **通話 ➡「三者通話」**

複数の相手と同時に通話することができます。

グループ通話中に別の相手を加える

1 **通話中に「保留」をタップする**

2 **「キーパッド」をタップし、追加相手の電話番号を入力する**

3 **通話 ➡「三者通話」**

グループ通話中に1人とだけ通話する

1 **グループ通話中に「プライベート」をタップする**

2 **通話したい相手を選択し、「プライベート」をタップする**

発着信規制サービス

1 「スタート」➡「設定」➡「個人」➡「電話」➡「サービス」タブ

2 「発着信規制」➡「設定の取得」

3 制限したい項目を選択する

着信制限	すべての通話	すべての電話着信やSMSの受信ができません。
	ローミングサービス利用時の通話	海外での使用時に、すべての電話着信やSMSの受信ができません。
	オフ	着信制限をオフにします。
発信制限	すべての通話	緊急電話（110／119／118）を除く、すべての電話発信、SMSの送信ができません。
	国際通話	すべての国際電話の発信ができません。
	自国以外への国際通話	日本または滞在国以外への発信ができません。
	オフ	発信制限をオフにします。

4 「OK」をタップする

5 発着信規制用暗証番号を入力し、「OK」をタップする

● 発着信規制用暗証番号の入力を2回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。このときは、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号（1-7ページ）の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、**お問い合わせ先**（16-27ページ）までご連絡ください。

発着信規制用暗証番号を変更する

1 「スタート」➡「設定」➡「個人」➡「電話」➡「発着信規制暗証番号」タブ

2 「パスワード変更」をタップする

3 古いパスワードと新しいパスワードを入力する

4 確認のため新しいパスワードを再入力する

5 「完了」をタップする

発信者番号通知サービス

1 「スタート」➡「設定」➡「個人」➡「電話」➡「サービス」タブ

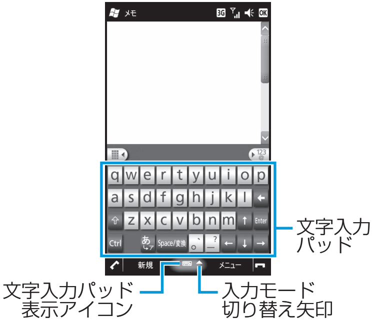
2 「発信者番号通知」➡「設定の取得」

3 「すべてのダイヤル先に通知」／「通知しない」／「連絡先にあるダイヤル先にのみ通知」を選択し、「OK」をタップする

● 電話をかけるたびに発信者番号の通知／非通知を指定することができます（2-6ページ）。通話ごとに指定する設定のほうが、発信者番号通知サービスの設定よりも優先されます。

3 文字入力

本機は、文字入力パッド表示アイコンが出ている画面でアイコンをタップし、表示された文字入力パッドから目的の文字を入力することができます。文字入力パッドを閉じるときは、再度文字入力パッド表示アイコンをタップします。



入力モードを切り替える

入力モードには、以下の7種類があります。

- Toshiba Keyboard
- ひらがな／カタカナ
- ローマ字／かな
- 手書き検索
- 手書き入力
- 定型文
- 文字一覧

Toshiba Keyboard

Toshiba Keyboardには、以下の4種類があります。

- QWERTYパッド
- 絵文字キーパッド
- 数字・記号パッド
- 10キーパッド

QWERTYパッド

QWERTYパッドでは、ひらがな／カタカナ／英字／数字／記号を入力することができます。

1 入力モード切り替え矢印をタップし、「Toshiba Keyboard」をタップする

2 ／ をタップしてQWERTYパッドに切り替える

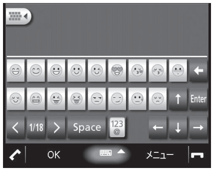
- をタップするたびに、大文字画面と小文字画面が切り替わります。また、をタップしたままにすると、数字／記号画面に切り替わります。
- をタップすると、入力モードがカタカナ／英大文字／英小文字／ひらがなの順に切り替わります。
- 文字を削除する場合は、をタップするとカーソルの左側の文字が削除されます。
- 文字を漢字に変換する場合は「Space／変換」をタップし、入力したい漢字を選択します。



絵文字キーパッド

1 **入力モード切り替え矢印をタップし、「Toshiba Keyboard」をタップする**

2 **／をタップして絵文字キーパッドに切り替える**



数字・記号パッド

1 **入力モード切り替え矢印をタップし、「Toshiba Keyboard」をタップする**

2 **／をタップして数字・記号パッドに切り替える**



10キーパッド

携帯電話にあるようなパッドで、ひらがな／カタカナ／英字／数字／記号を入力することができます。

1 **入力モード切り替え矢印をタップし、「Toshiba Keyboard」をタップする**

2 **をタップして10キーパッドに切り替える**

- 入力したい文字が割り当てられているボタンをタップすると、10キーパッド上部に候補の文字が表示されます。
- 「カナ」をタップすると、10キーパッドの表示がカタカナ／英大文字／英小文字／数字／記号／ひらがなの順に切り替わります。



ひらがな／カタカナ方式

1 入力モード切り替え矢印をタップし、「ひらがな／カタカナ」をタップする

- ひらがなを入力する場合は「かな」を、カタカナを入力する場合は「カナ」をタップします。また、小文字を入力する場合は「小字」をタップします。文字を漢字に変換する場合は「変換」をタップし、入力したい漢字を選択します。



ローマ字／かな方式

1 入力モード切り替え矢印をタップし、「ローマ字／かな」をタップする

- ひらがなを入力する場合は「かな」を、カタカナを入力する場合は「カナ」をタップします。文字を漢字に変換する場合は「変換」をタップし、入力したい漢字を選択します。

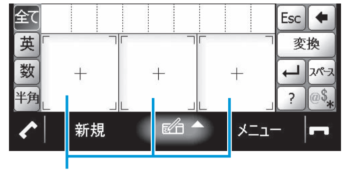


手書き入力方式

1 入力モード切り替え矢印をタップし、「手書き入力」をタップする

2 手書き入力欄に文字を書き込む

- 「全て」をタップすると、ひらがな／カタカナ／英字／数字／記号すべての文字の候補が表示されます。英字／数字だけを入力する場合は､「英」／「数」をタップします。



手書き入力欄

手書き検索

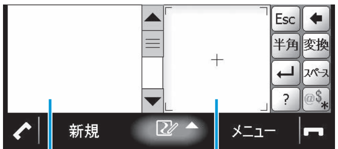
手書き入力で書き込んだ文字の画数が多いなどの理由で、正しく認識されない場合は、手書き検索が便利です。

1 入力モード切り替え矢印をタップし、「手書き検索」をタップする

2 手書き入力欄に文字を書き込む

書き込んだ文字の認識候補が一覧表示されます。

3 候補の中から入力したい文字をタップする



文字認識候補一覧　手書き入力欄

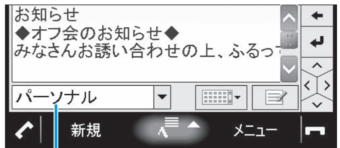
定型文

定型文や顔文字、飾り罫などを入力することができます。

1 入力モード切り替え矢印をタップし、「定型文」をタップする

2 カテゴリを選択し、一覧から入力したい定型文などをタップする

- をタップすると一覧の表示方法を変更できます。
- をタップすると「定型文編集ツール」が表示され、定型文の追加／変更／削除ができます。



カテゴリ

文字一覧

文字コード表から文字や記号を入力することができます。

1 入力モード切り替え矢印をタップし、「文字一覧」をタップする

2 「シフトJIS」または「Unicode」を選択する

3 文字カテゴリを選択し、一覧から入力したい文字をタップする



文字カテゴリ

3
文字入力

ひらがな／漢字を入力する

Toshiba Keyboardの「QWERTYパッド」や「10キーパッド」、「ひらがな／カタカナ」、「ローマ字／かな」入力モードなどからひらがなや漢字を入力できます。

例：「機能」を入力する

QWERTYパッドで入力する場合

1 文字の入力画面で「k」「i」「n」「o」「u」を入力する

2 ↓ をタップする

- ローマ字／かな方式の場合は、⇥をタップします。



- 「Space／変換」をタップして漢字に変換することもできます。

3 ↑／↓／←／→ で画面中央の変換候補一覧から「機能」を選択する

4 「Enter」をタップする

- ローマ字／かな方式の場合は、↵をタップします。

10キーパッドで入力する場合

1 文字の入力画面で「きのう」を入力する

- 「か」「き」「な」「の」「あ」「う」をタップします。

2 ↓ をタップする

- ひらがな／カタカナ方式の場合は、⇥をタップします。
- 「Space／変換」をタップして漢字に変換することもできます。

3 ↑／↓／←／→ で画面中央の変換候補一覧から「機能」を選択する

4 「Enter」をタップする

- ひらがな／カタカナ方式の場合は、↵をタップします。

記号／絵文字／顔文字を入力する

記号を入力する

Toshiba Keyboardの「数字・記号パッド」入力モードなどから全角／半角の数字や記号を入力できます。

1 文字の入力画面で入力したい文字をタップする

- 1/18または＞をタップすると次の数字／記号画面が表示され、＜をタップすると前の数字／記号画面が表示されます。

絵文字を入力する

SMS／S!メール作成時に、Toshiba Keyboardの「絵文字キーパッド」入力モードから絵文字を入力できます。

1 文字の入力画面で入力したい絵文字をタップする

- 1/18または＞をタップすると次の絵文字画面が表示され、＜をタップすると前の絵文字画面が表示されます。
- 絵文字をタップすると、キーパッド上部に最新の履歴※が10個まで表示されます。履歴をタップしても絵文字を入力できます。
  ※最初の絵文字画面にのみ表示されます。

ATOKを設定する

顔文字を入力する

「定型文」入力モードから顔文字を入力できます。

1 **文字の入力画面でカテゴリから「顔文字」を選択する**

2 **一覧から入力したい顔文字をタップする**

- Toshiba Keyboardの「QWERTYパッド」や「10キーパッド」、「ひらがな／カタカナ」、「ローマ字／かな」入力モードなどから顔文字を入力する場合は、「かお」を入力して「Space／変換」／「変換」または ↓ ／ ⇥ をタップします。

1 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「ATOK設定」

2 **「日本語入力にATOKを使用する」にチェックを付ける、またはチェックを外す**

3 「OK」➡「はい」

- ATOKの有効／無効を切り替えると、本機が再起動します。
- ATOK設定を無効にすると、「プロパティ」の設定はできません。

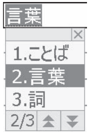
後変換候補を設定する

「Space／変換」をタップして変換したときの候補の一覧に、全角カタカナや半角カタカナなど、変換した文字を追加するかしないかの設定ができます。

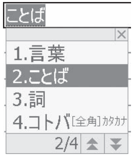
1 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「ATOK設定」➡「プロパティ」➡「入力・変換」タブ

2 **各後変換候補のチェックを付ける、またはチェックを外し、「OK」をタップする**

☐ 全角ｶﾀｶﾅ の場合



☑ 全角ｶﾀｶﾅ の場合

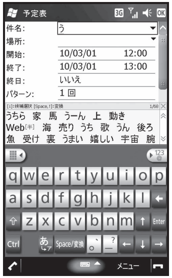


変換辞書による文字変換

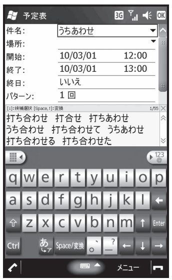
推測変換を有効にすると、文字を入力することに候補語の絞り込みができます。また、横画面／縦画面ごとに候補提示行数を変更することができます。

例：「打ち合わせ」を入力する

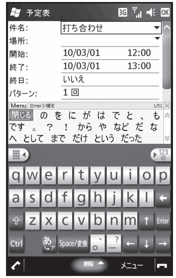
1 文字の入力画面で「u」を入力する



2 「t」「i」「a」「w」「a」「s」「e」を入力する



3 ↓→「Enter」



推測変換の設定を無効にするには

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「ATOK設定」→「プロパティ」→「推測変換」タブ

2 「推測変換を有効にする」のチェックを外し、「OK」をタップする

よく使う単語をあらかじめ登録する

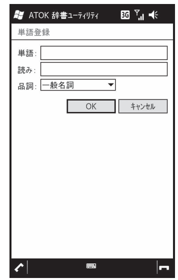
よく使う単語をあらかじめユーザー辞書に登録しておくと、その読みを入力して変換したときに優先して表示するようにできます。

新しい単語を登録する

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「ATOK設定」→「プロパティ」→「学習」タブ

2 「登録単語の編集」→「編集」→「登録」

単語登録画面が表示されます。



3 「単語」に登録する単語を入力する

4 「読み」に読みかたを入力する

5 品詞を選択し、「OK」をタップする

- Microsoft IME辞書ツールで単語登録をする場合は、ATOK設定を無効（3-7ページ）にしてから以下の操作を行います。「スタート」➡「設定」➡「個人」➡「入力」➡「入力方法」タブ➡「ひらがな／カタカナ」／「ローマ字／かな」➡「オプション」

登録した単語を削除する

1 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「ATOK設定」➡「プロパティ」➡「学習」タブ➡「登録単語の編集」

2 削除したい単語を選択する

3 「編集」➡「削除」➡「はい」
選択した単語が単語一覧から削除されます。

4 「×」をタップする

使用する辞書を設定する

本機にインストールされている辞書を、文字の変換時に使用する辞書として設定できます。

1 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「ATOK設定」➡「プロパティ」➡「辞書」タブ

2 「基本辞書」／「補助辞書」一覧で使用する辞書にチェックを付ける

3 「OK」をタップする

学習した内容をリセットする

学習データは、一度入力した文字列を自動的に記憶し、変換時の候補として表示されます。学習データをリセットすると、学習内容が消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「ATOK設定」➡「プロパティ」➡「学習」タブ

2 「学習データのリセット」➡「はい」

3 「OK」をタップする
学習データがお買い上げ時の状態に戻ります。

4 連絡先／PIM機能

本機の連絡先（Outlook連絡先）と、USIMカードの連絡先（SIMカード連絡先）に電話番号などを登録できます。

- お客様のUSIMカードをほかのUSIMカード対応ソフトバンク携帯電話に挿入して、USIMカードに登録した連絡先を利用できます。
- 連絡先に登録できるのは以下の内容です（「SIMカード連絡先」に登録できるのは「名前」、「携帯電話」、「勤務先電話」、「電子メール」のみです）。

タブ	項目	内容
詳細	**名前**	姓と名、それぞれのフリガナ、ニックネームが登録できます。
	画像	着信時や通話中に表示される画像を登録できます。
	勤務先、部署、役職	勤務先名、部署名、役職名を登録できます。
	表題	登録した連絡先の表示のしかたを設定できます。
	勤務先電話、勤務先FAX、勤務先住所	勤務先の電話、FAX、住所を登録できます。
	IM	インスタントメッセージの宛先を登録できます。
	電子メール	電子メールのアドレスを登録できます。
	携帯電話	携帯電話の電話番号を登録できます。
	着信音	連絡先に個別の着信音を設定できます。
	Webページ	ホームページのURLなどを登録できます。
	事業所、自宅電話、自宅住所	事業所名、自宅の電話番号、自宅の住所を登録できます。
	分類項目	連絡先のカテゴリを選択できます。
	その他の住所～子供	その他の住所、ポケットベル、自動車電話、自宅のFAX、会社の代表電話番号、勤務先／自宅その他の電話番号、PHS番号、その他のインスタントメッセージ宛先、その他の電子メールアドレス、秘書、秘書の電話、上司、ID番号、アカウント、カスタマーID、誕生日、記念日、配偶者、子供の情報を登録できます。
メモ	―	メモを入力できます。

連絡先に登録する

1 「スタート」➡「連絡先」➡「新規作成」

連絡先の種類の選択画面が表示されます。

2 「Outlook連絡先」または「SIMカード連絡先」をタップする

3 必要な項目を入力する

- 「分類項目」を設定すると、関連のある連絡先をグループ化して管理できます。表示される分類項目から選択するか、「新規」をタップして新しい項目を作成します。
- 連絡先に写真を登録するには、「画像の選択」をタップして画像ファイルを選択するか、「カメラ」をタップして写真を撮影します。登録した画像ファイルは、この連絡先から着信したときに電話画面に表示されます。
- 連絡先に「p」（ポーズ）を挿入すると、電話をかけるときに、間に約1秒のポーズを入れることができます。

4 「OK」をタップする

- 連絡先に電話番号を入力するときに、自動的に表示される市外局番を変更するには、連絡先一覧で「メニュー」➡「オプション」をタップし、設定されている市外局番を変更します。
- 連絡先を分類項目で表示している場合、新しく作成した連絡先は表示中の分類項目に登録されます。
- ホーム画面➡「連絡先」をタップして設定することもできます。

メールグループに登録する

メールグループに登録した相手に、一斉に電子メールを送信することができます。

1 「スタート」➡「連絡先」➡「新規作成」

2 「電子メールグループ」をタップする

3 グループ名を入力する

4 「メンバーの追加」をタップし、登録したい連絡先をタップする

- 連絡先の検索方法については、右記を参照してください。

5 「完了」をタップする

登録したメンバーがリストに表示されます。

- メンバーを削除する場合は、削除したいメンバーを選択し、「メニュー」➡「メンバーの削除」➡「はい」をタップします。

6 「OK」をタップする

メンバーに電子メールを送信する

1 「スタート」➡「連絡先」

2 送信したいグループをタップする

3 「電子メール」をタップする

- 電子メールのアカウントが1件の場合は**5**に進みます。

4 電子メールのアカウントを選択する

5 宛先や件名、本文などを入力し、「送信」をタップする

詳しくは、「電子メールを作成する」(5-15ページ)を参照してください。

- 「メールグループに登録する」(左記)では、「SMSグループ」にもメンバーを登録できますが、メンバーにSMS/S!メールを送信することはできません。SMS/S!メールの送信については、5-3ページを参照してください。

連絡先の内容を確認する

1 「スタート」➡「連絡先」

連絡先一覧が表示されます。

2 確認したい連絡先をタップする

最新の発着信履歴が、電話番号やメールアドレスなどの情報と一緒に表示されます。

連絡先を検索する

表示方法により検索対象が異なります。表示方法が、「名前」の場合は名前が、「勤務先」の場合は勤務先が検索対象となります。

1 「スタート」➡「連絡先」

連絡先一覧が表示されます。

2 「1」、「A」、「ア」～「ワ」タブをタップして検索対象を表示する

- 「名前の入力」欄に入力して検索することもできます。

- 「1」、「A」、「ア」～「ワ」タブをタップしたままにして表示されるインデックスから、連絡先の頭文字で検索することもできます。
- 分類項目から検索するには、連絡先一覧で「メニュー」➡「フィルター」をタップし、連絡先の分類項目をタップします。すべての連絡先を表示するには、「すべての連絡先」をタップします。

連絡先の内容を変更する

1 「スタート」➡「連絡先」
2 変更したい連絡先をタップする
3 「メニュー」➡「編集」
4 変更する箇所を入力し、「OK」をタップする

連絡先を削除する

1 「スタート」➡「連絡先」
2 削除したい連絡先をタップして概要を表示する
3 「メニュー」➡「連絡先の削除」または「SIMカード連絡先の削除」➡「はい」

連絡先情報を送信する

連絡先をBluetooth®通信で送信する

1 「スタート」➡「連絡先」
2 送信したい連絡先をタップして概要を表示する
3 「メニュー」➡「連絡先の送信」➡「ビーム」
送信先の検索が始まります。以降は画面の指示に従って操作します。

- Bluetooth®通信で連絡先を送信するには、本機と相手先のBluetooth®機能がオンになっており、検出可能なモードに設定されている必要があります。

連絡先をS!メールで送信する

1 「スタート」➡「連絡先」
2 送信したい連絡先をタップして概要を表示する
3 「メニュー」➡「vCardとして送信」
4 宛先や件名、本文などを入力し、「送信」をタップする
詳しくは、「SMS／S!メールを作成する」（5-3ページ）を参照してください。

USIMマネージャーを使う

本機とUSIMカードの連絡先の情報を相互にコピーすることができます。

1 「スタート」➡「USIMマネージャー」
2 確認したい連絡先のアイコン（USIMカード／本体）をタップする
連絡先一覧が表示されます。
3 利用したい連絡先にチェックを付け、「メニュー」をタップする
4 利用したい項目を選択する

削除	チェックを付けている連絡先データを削除します。
本体へコピー／USIMへコピー	チェックを付けている連絡先データをUSIMカードから本体へ／本体からUSIMカードへコピーします。
オプション	USIMカードから本体へ連絡先をコピーするときの登録先を設定します。
全選択	すべての連絡先データにチェックを付けます。
全選択解除	すべての連絡先データのチェックを外します。

- 本体に登録されている連絡先をUSIMマネージャーから削除しようとすると、項目によっては削除されない場合があります。その場合は、連絡先を開いてから削除（4-4ページ）してください。
- USIMマネージャーを利用して、連絡先に登録されている電子メールアドレスをUSIMカードへコピーすることはできません。コピーする場合は以下の操作を行います。
  「スタート」➡「連絡先」➡コピーしたい連絡先をタップしたままにする➡「連絡先のコピー」➡「SIMへ」

電話帳バックアップを使う

本機に登録している連絡先データを一括してメモリカードや本体メモリへバックアップできます。また、メモリカードや本体メモリにバックアップしたデータ（vCardファイル）を本機に復元できます。

- 登録不可能な文字を含む電話番号や電子メールアドレスでもvCardファイルとしてバックアップされます。連絡先データをバックアップする場合は、登録内容に間違いがないか事前に確認してください。

データをメモリカードにバックアップする

1 「スタート」➡「電話帳バックアップ」➡「バックアップ」

2 「保存」➡「ok」

- バックアップ中にメモリカードの空き容量が不足した場合は、バックアップを中断し、それまで作成されたバックアップデータは削除されます。メモリカード内の不要なデータを削除してから、再度バックアップを行ってください。

バックアップデータを本機に復元する

1 「スタート」➡「電話帳バックアップ」➡「本体へ復元」

2 ファイルを選択し、「はい」➡「ok」

バックアップデータが連絡先に追加されます。

- 復元中に連絡先の空き容量が不足した場合は、それまでのバックアップデータは追加されますが、一部削除されます。

予定表

仕事の予定などを登録して、開始日時や終了日時などを管理できます。
- 予定表に登録できるのは以下の内容です。

タブ	項目	内容
予定	件名	名称を設定します。
	場所	場所を設定します。
	開始	開始日時を設定します。
	終了	終了日時を設定します。
	終日	終日の予定にするかどうかを設定します。
	パターン	1回だけの予定か、定期的（毎週、毎月、毎年）な予定かを設定します。
	アラーム	事前通知（開始日よりどのくらい前に通知するか）を設定します。
	分類項目	関連する予定をグループ化します。フィルターの条件として指定できます。
	出席者	出席者を連絡表から選択します。設定した場合、入力した予定を出席者に通知できます。※あらかじめ出席者の連絡先に、電子メールアドレスを登録しておく必要があります。
	公開方法	予定の種類を設定します。
	秘密度	秘密にする度合いを設定します。
メモ	ー	メモを入力できます。

予定を登録する

1 「スタート」➡「予定表」➡「メニュー」➡「新しい予定」

2 件名を入力し、場所、開始日時や終了日時などを入力する
- 予定の事前通知（アラーム）を行う場合は、「アラーム」を「通知」にして、通知するまでの時間を設定します。

3 「OK」をタップする

- 終日のイベントは、予定表の一番上に表示されます。

予定表を表示する

表示する単位を切り替える

1 「スタート」➡「予定表」

2 「日」／「週」／「月」／「年」／「予定一覧」をタップする

日、週、月、年、予定一覧をタップするたびに、予定表の画面が切り替わります。

- 「メニュー」➡「表示」から表示する単位を切り替えることもできます。
- 月／年／予定一覧の表示で日付を選択すると、週単位の表示に切り替わります。
- 年単位の表示では、6週目の日付とその1週間前の日付が「／」で表示されます。「／」部分の日付を選択する場合は、「／」をタップしたまま上下にずらし、該当する日付が表示されたところで離すと、日単位の表示に切り替わります。

指定した日の予定を表示する

1 「スタート」➡「予定表」➡「メニュー」➡「指定の日付へ移動」

カレンダーが表示されます。

2 表示したい日付をタップする

予定表のオプション設定

予定表の表示形式やアラームのパターンなどを設定します。

1 「スタート」➡「予定表」➡「メニュー」➡「ツール」➡「オプション」

2 「全般」タブと「予定」タブで必要な項目を設定し、「OK」をタップする

「全般」タブ	既定の画面	予定表を起動したときの表示方法を設定します。
	週の最初の曜日	カレンダーの左端を日曜日または月曜日にするかを設定します。
	週単位の表示	1週間のうち何日表示するかを設定します。
	30分単位で表示する	チェックを付けると、日単位／週単位表示での時間軸が30分単位で表示されます。
	週番号を表示する	チェックを付けると、月単位表示の左端に週番号が表示されます。
「予定」タブ	新しいアイテムにアラームを設定する	チェックを付けると、予定登録時に自動的にアラームを設定します。
	アイコンの表示	予定登録画面に表示するアイコンを設定します。
	会議出席依頼の送信方法	出席者に予定を通知する方法を設定します。

予定表の内容を変更する

1 「スタート」➡「予定表」

- 月単位、年単位で表示している場合は、変更したい予定が登録されている日付をタップして日単位の表示に切り替えてください。

2 変更したい予定をタップする

3 「メニュー」➡「編集」

4 変更する箇所を入力し、「OK」をタップする

予定を削除する

1 「スタート」➡「予定表」
- 月単位、年単位で表示している場合は、削除したい予定が登録されている日付をタップして日単位の表示に切り替えてください。

2 削除したい予定をタップして詳細を表示する

3 「メニュー」➡「削除」➡「はい」

予定を送信する

予定をBluetooth®通信で送信する

1 「スタート」➡「予定表」
- 月単位、年単位で表示している場合は、送信したい予定が登録されている日付をタップして日単位の表示に切り替えてください。

2 送信したい予定をタップして詳細を表示する

3 「メニュー」➡「ビーム」
送信先の検索が始まります。以降は画面の指示に従って操作します。

- Bluetooth®通信で予定を送信するには、本機と相手先のBluetooth®機能がオンになっており、検出可能なモードに設定されている必要があります。

予定をS!メールで送信する

1 「スタート」➡「予定表」
- 月単位、年単位で表示している場合は、送信したい予定が登録されている日付をタップして日単位の表示に切り替えてください。

2 送信したい予定をタップして詳細を表示する

3 「メニュー」➡「vCalendarとして送信」

4 宛先や件名、本文などを入力し、「送信」をタップする
詳しくは、「SMS／S!メールを作成する」（5-3ページ）を参照してください。

- 予定の内容をvCalendarファイルとして保存することはできません。

仕事

仕事を登録して、期限や進捗状況を管理できます。優先度やアラームを設定したり、項目別に分類することもできます。

● 仕事に登録できるのは以下の内容です。

タブ	項目	内容
仕事	件名	仕事の名称を登録します。
	優先度	優先度を設定します。
	進捗状況	作業中か、終了した仕事かを設定します。
	開始日	開始日を設定します。
	期限	期限を設定します。
	パターン	1回だけの仕事か、定期的(毎週、毎月、毎年)な仕事かを設定します。
	アラーム	アラームを通知する日時を設定します。
	分類項目	関連する仕事をグループ化します。フィルターの条件として指定できます。
	秘密度	秘密にする度合いを設定します。
メモ	ー	メモを入力できます。

仕事を登録する

1 「スタート」➡「仕事」

仕事の一覧が表示されます。

2 「メニュー」➡「新しい仕事」

3 件名を入力し、優先度、開始日、期限などを入力する

● 「分類項目」を設定すると、関連のある仕事をグループ化して管理できます。表示される分類項目から選択するか、「新規」をタップして新しい項目を作成します。

4 「OK」をタップする

● 件名のみの仕事を登録する場合は、「ここをタップして新しい仕事を追加」をタップして件名を入力することもできます。
● 「ここをタップして新しい仕事を追加」が表示されないときは、「メニュー」➡「オプション」➡「仕事入力バーを表示する」にチェックを付けます。
● 「パターン」で「1回」以外を選択した場合は、「進捗状況」、「開始日」、「期限」を設定することはできません。

仕事の内容を変更する

1 「スタート」➡「仕事」

2 変更したい仕事をタップし、「編集」をタップする

3 変更する箇所を入力し、「OK」をタップする

仕事を削除する

1 「スタート」➡「仕事」

2 削除したい仕事をタップして詳細を表示する

3 「メニュー」➡「削除」➡「はい」

仕事のオプション設定

仕事のアラームや表示方法に関する設定を行います。

1 「スタート」➡「仕事」➡「メニュー」➡「オプション」

2 必要な項目にチェックを付け、「OK」をタップする

新しいアイテムにアラームを設定する	新しい仕事を登録する際、開始日または期限を設定したときに、自動的にアラームを設定します。
開始日と期限を表示する	仕事を一覧表示する際、開始日と期限を表示します。
仕事入力バーを表示する	「ここをタップして新しい仕事を追加」のバーを表示します。

仕事の内容を確認する

仕事の表示方法を変更する

仕事を並べ替えたり、フィルター機能を利用することができます。

1 「スタート」➡「仕事」➡「メニュー」➡「並べ替え」または「フィルター」

2 該当項目をタップする

- フィルター機能で絞り込んだ内容を元に戻す場合は、「メニュー」➡「フィルター」➡「すべての仕事」をタップします。ただし、「作業中の仕事」または「終了した仕事」で絞り込んでいる場合は、チェックが付いている項目を再度選択してください。

仕事の状態を設定する

登録した仕事の状態（作業中、作業の終了）を設定できます。

1 「スタート」➡「仕事」

2 設定する仕事のチェックを外す(作業中)またはチェックを付ける(作業の終了)

仕事を送信する

仕事の内容をBluetooth®通信で送信することができます。

1 「スタート」➡「仕事」

2 送信したい仕事をタップして詳細を表示する

3 「メニュー」➡「ビーム」

送信先の検索が始まります。以降は画面の指示に従って操作します。

- Bluetooth®通信で仕事を送信するには、本機と相手先のBluetooth®機能がオンになっており、検出可能なモードに設定されている必要があります。

メモを作成する

手書きやキーボード入力でメモを作成できます。

入力モードを設定する

1 「スタート」➡「メモ」➡「メニュー」➡「オプション」

2 「既定のモード」で入力モードを選択し、「OK」をタップする

手書き	絵を描いたり、手書きで文字を書いてメモを作成します。
入力	文字入力パッドで文字をタップしてメモを作成します。

- 手書きモードを選択しても、文字入力パッドを表示すると既定のモードが入力モードに切り替わります。再度手書きモードに変更するには、「メニュー」➡「描画」をタップしてください。

メモに絵を描く（手書き）

1 「スタート」➡「メモ」➡「新規」

2 絵を描く

絵のまわりに選択ボックスが表示されます。

3 描画が終わったら「OK」をタップする

- 描画範囲を選択する場合は、画面上で1秒以上タップしてください。十字が表示されたら、そのままドラッグして選択できます。画面から指を離すと選択範囲が確定されます。

メモを作成する（文字入力パッド入力）

- 文字の入力方法については、「文字入力について」（3-2ページ）を参照してください。

1 「スタート」➡「メモ」➡「新規」

2 文字入力パッドで入力し、「OK」をタップする

ボイスメモを録音／再生する

ボイスメモを録音する

録音した音声は、音声ファイルとして登録したり、メモに音声を添付したりできます。

1 「スタート」➡「メモ」

メモ画面が表示されます。

2 「メニュー」➡「録音ツールバーの表示」

- 音声ファイルとして登録する場合は**4**に進みます。
- メモに音声を添付する場合は**3**に進みます。

3 「新規」をタップ

メモ入力画面が表示されます。録音ツールバーが消えた場合は**2**を繰り返します。

4 ●（録音）をタップして録音を開始する

5 ■（停止）をタップして録音を終了する

- メモに音声を添付した場合は、録音終了後に「OK」をタップしてメモ一覧に戻ります。
- メモに音声を添付すると、メモ入力画面にが表示されます。
- 音声ファイルとして登録した場合もメモ一覧に表示されます。

ボイスメモを再生する

1 「スタート」➡「メモ」

メモ画面が表示されます。

2 再生したいメモをタップする

メモ入力画面が表示されます。音声ファイルをタップした場合は録音内容が再生されます。

3 対象のをタップする

録音内容が再生されます。

録音形式を変更する

1 「スタート」➡「設定」➡「個人」➡「入力」

2 「オプション」タブ➡「録音形式」のリストから形式を選択する

3 「OK」をタップする

- メモ一覧で「メニュー」➡「オプション」➡「入力オプション」をタップし、「オプション」タブで変更することもできます。

メモを削除する

1 「スタート」➡「メモ」

2 削除したいメモをタップして詳細を表示する

3 「メニュー」➡「ツール」➡「削除」➡「はい」

メモを送信する

メモの内容をBluetooth®通信で送信することができます。

1 「スタート」➡「メモ」

2 送信したいメモをタップして詳細を表示する

3 「メニュー」➡「ツール」➡「ビーム」

送信先の検索が始まります。以降は画面の指示に従って操作します。

- Bluetooth®通信でメモを送信するには、本機と相手先のBluetooth®機能がオンになっており、検出可能なモードに設定されている必要があります。

5 メール

メールについて

本機では、SMS、S!メール、電子メール（POP3／IMAP4）の3種類を利用できます。

SMS

ソフトバンク携帯電話どうしで、電話番号を宛先にして、短いメッセージを送受信できます。

- メッセージは全角または半角で70文字（すべて半角英数字で入力した場合は160文字）まで入力できます。ファイルを添付することはできません。

S!メール

ソフトバンク携帯電話やパソコン、電子メールに対応している携帯電話などとの間で、画像や音楽を添付したメッセージを送受信できます。

- メールアドレスのアカウント名（@の前の部分）を変更することができます（5-13ページ）。
- 件名、本文、メールアドレス、添付ファイルを合わせて最大300Kバイトまで送受信できます。

電子メール（POP3／IMAP4）

パソコンで使用されている電子メール（POP3／IMAP4）に対応しており、会社や自宅のパソコンと同じメールを送受信することができます。また、パソコンと同じように添付ファイルにも対応しています。

- 電子メールを使用するには、事前にメールアカウントを設定する必要があります（5-13ページ）。
- 本機の電子メールで送受信を行うと、本機とメールサーバーとで同期が行われ、「受信トレイ」や「削除済みアイテム」とメールサーバーを同じ状態に保つように動作します。

- 電子メールは、SMSやS!メールとは異なり、自動的にメールは受信されません。メールサーバーとの同期を行う（ActiveSyncやWindows Mobile®デバイスセンターの同期とは異なります）ことによって、メールの受信が行われます。
- 一定の間隔でメールサーバーに接続するように設定することで、擬似的にメールを自動受信できますが、サーバーに接続するたびに通信料が発生する場合があります。
- Exchange Serverでメール機能を使用する場合には、自動的にメールを受信できます（右記）。
- 電子メールは、送信するときもメールサーバーとの同期が必要です。

Exchange Serverによるメール

会社のExchange Serverのメールを使用する場合、ActiveSyncやWindows Mobile®デバイスセンターで設定を行います。設定方法については社内システム管理者にご確認ください。

パソコンとの同期によるOutlookメール

お手持ちのパソコンとActiveSyncやWindows Mobile®デバイスセンターで同期すると、本機に「Outlookメール」というアカウントが自動的に作成されます。「Outlookメール」はActiveSyncやWindows Mobile®デバイスセンターを使ってパソコンと同期するためのアカウントですので、このアカウントでメールを受信することはできません。また、このアカウントから送信したメールは、パソコンと同期したときにパソコン側のOutlookの送信トレイに移動されます。

- お買い上げ時のパソコンとの同期対象は受信トレイのみです。本機から以下の操作を行うと、パソコン側のOutlookで作成したフォルダなどを、同期対象に設定することができます。
  「スタート」➡「電子メール」➡「Outlookメール」➡「メニュー」➡「ツール」➡「フォルダの管理」➡対象のフォルダを選択

SMS／S!メールを作成する

SMS／S!メールを新規に作成して送信します。

1 「スタート」➡「SoftBankメール」

2 「新規作成」➡メールの種類（S!メール／SMS）を選択する

メール作成画面が表示されます。



S!メール作成画面



SMS作成画面

3 「宛先」をタップする

宛先画面が表示されます。

4 宛先の入力方法を選択する

連絡先	連絡先から宛先を選択します。
送信履歴	送信履歴から宛先を選択します。
宛先直接入力	宛先を直接入力します。
通話履歴	通話履歴から宛先を選択します。

- S!メールで宛先をCcやBccに設定したい場合は、以下の操作を行います。
  宛先画面で宛先を選択➡「メニュー」➡「Ccに変更」／「Bccに変更」を選択

5 「件名」をタップし、件名を入力する

SMSの場合は、件名を入力できません。

6 「OK」をタップする

7 「本文を入力」をタップし、本文を入力する

- 本文を装飾したり、本文に情報を貼り付けたりする操作については、5-4ページを参照してください。

8 「OK」➡「送信」

メールが送信されます。

9 「消去」をタップする

■SMSとS!メールを切り替える場合

メール作成画面で「メニュー」➡「S!メールで送信」／「SMSで送信」をタップします。
SMSを作成している場合は、S!メール作成画面が、S!メールを作成している場合は、SMS作成画面が表示されます。

■メールの作成を中止する場合

メール作成画面で「メニュー」➡「編集をキャンセル」をタップします。
作成途中の場合は、下書きフォルダに保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。

- 宛先のCc、Bccには、参考に送信したい相手を設定します。なお、Bccに設定したアドレスは、Bccで送信した相手以外の送信者には表示されません。

本文を装飾したり、情報を貼り付ける

本文の内容を装飾したり、本文や件名に、定型文（よく使うテキストをあらかじめ登録しておく機能）やお気に入りのURL、連絡先の情報などを貼り付けたりできます。

1 メール作成画面で「件名」／「本文を入力」をタップする

2 「メニュー」をタップする

3 以下から利用したい項目を選択する

定型文	定型文に登録されている内容を貼り付けます。定型文の内容を編集したり、新規に作成したりすることもできます。
定型文として保存	本文の内容を定型文に保存します。
お気に入りを挿入	お気に入りに登録されているWebページのアドレス（URL）を貼り付けます。
連絡先を挿入	連絡先の情報を貼り付けます。
予定を挿入	予定や仕事の情報を貼り付けます。
文字サイズ※	文字サイズを変更します。
文字色※	文字色を変更します。
文字背景※	文字の背景色を変更します。
コピー／切り取り	本文の内容をコピーしたり、移動したりします。
貼り付け	（同上）
キャンセル	入力した内容を破棄し、S!メール作成画面に戻ります。

※SMS作成時または件名入力時には表示されません。

ツールバーを使って情報を挿入する

ツールバーの各アイコンに割り当てられている機能は以下のとおりです。

アイコン	説明
☆	お気に入りを挿入します。
（吹き出しアイコン）	定型文を挿入します。
（連絡先アイコン）	連絡先の情報を挿入します。
（カレンダーアイコン）	予定、仕事の情報を挿入します。

ファイルを添付する

S!メールに動画や静止画などを添付して送信することができます。

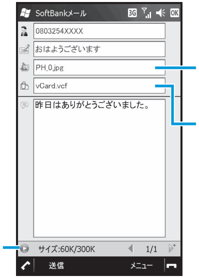
1 S!メール作成画面で「メニュー」➡「追加」

2 以下から添付したい項目のファイルを選択する

ビデオ	動画を添付します。
フォト	静止画を添付します。
オーディオ	音楽を添付します。
ビデオをキャプチャ	カメラを起動し、その場で撮影した動画／静止画を添付します。
静止画をキャプチャ	（同上）
録音する	その場で録音した音声を添付します。
vCard	連絡先を添付します。
vCalendar	予定表を添付します。
ファイルを選択	その他のファイルを添付します。

3 S!メール作成画面に添付されたファイルが表示される

動画／静止画／音楽ファイルを添付した場合は、メディア添付欄に表示されます。
「vCard」／「vCalendar」／「ファイルを選択」からファイルを添付した場合は、ファイル添付欄に表示されます（ファイル添付欄は、「vCard」／「vCalendar」／「ファイルを選択」を選択した場合に表示されます）。



- ファイルによっては、メールに添付できない場合があります。
- 動画／静止画／音楽ファイルは、S!メール作成画面で「ファイルの追加」（メディア添付欄）をタップしても添付できます。

添付ファイルを削除する

1 S!メール作成画面で、メディア添付欄／ファイル添付欄をタップする

2 削除したいファイルを選択する

3 「メニュー」➡「削除」➡「OK」

テンプレートを利用する

S!メールではテンプレートを利用して、簡単にメールを作成することができます。

1 S!メール作成画面で「メニュー」➡「テンプレート」➡「テンプレートから新規作成」➡「OK」

テンプレートを利用すると、現在の入力内容は破棄されます。
- 破棄したくない場合は、「キャンセル」をタップしてS!メール作成画面に戻ります。

2 テンプレートを選択する

テンプレートが適用されたS!メール作成画面が表示されます。

テンプレートを保存する

作成中のS!メールや受信したS!メールの内容を、テンプレートとして保存することができます。

例：作成中のS!メールをテンプレートとして保存する

1 S!メール作成画面で「メニュー」➡「テンプレート」➡「テンプレートとして保存」

現在入力されている内容がテンプレートとして保存されます。件名入力欄に入力されている内容が、テンプレートのタイトルとなります。

2 「ok」をタップする

- 宛先入力欄の内容は、テンプレートとして保存されません。

スライドを利用する

スライドとは、メールの本文と画像／動画などの添付ファイルを1つにまとめたものです。S!メールでは複数のスライドを作成して送信することができます。

スライドを作成する

1 S!メール作成画面で「メニュー」➡「オプション」➡「スライド」➡「追加」

新規のスライドが作成されます。
◀／▶をタップすると、前後のスライドに切り替わります。
▶⁺をタップすると、新規のスライドが追加されます。

2 本文や添付ファイルを追加する

スライドについて設定する

1 S!メール作成画面で「メニュー」➡「オプション」➡「スライド」➡「スライド編集」

スライド編集画面が表示されます。

2 スライドを選択し、「メニュー」をタップする

3 以下から利用したい項目を選択する

先へ 戻る	スライドを前後に並べ替えます。
持続時間の自動調整	スライドの持続時間（次のスライドに移行するまでの時間）を自動調整します。
削除	スライドを削除します。

■スライドを挿入する場合

「挿入」をタップします。

■持続時間を手動で設定する場合

対象のスライドの持続時間入力欄をタップし、持続時間を入力します。

作成したS!メールを確認する

S!メールでは、作成したメールの内容を確認（プレビュー）できます。

1 S!メール作成画面で「メニュー」➡「メールのプレビュー」

メール確認画面が表示され、本文の内容や添付ファイルの内容を確認できます。

■スライドを作成している場合

ツールバーの各アイコンをタップして、以下の操作ができます。
◀：前のスライドに切り替え
▶：次のスライドに切り替え
⧉：全画面表示
▶：スライド再生
■：スライド再生停止

■添付ファイルや本文情報を確認する場合

メール確認画面で「メニュー」➡「添付表示」をタップし、ファイルを選択します。
添付ファイルや本文の情報を確認したり、ファイルとして保存したりできます。

■文字サイズを変更する場合

メール確認画面で「メニュー」➡「文字サイズ」をタップし、文字サイズを選択します。

■S!メールの詳細を確認する場合

メール確認画面で「メニュー」➡「表示」➡「メッセージの詳細」をタップします。

その他の設定

メール送信時の設定を行うことができます。

1 **メール作成画面で「メニュー」➡「オプション」➡「送信オプション」**

SMSの場合は、「メニュー」➡「送信オプション」を選択します。

2 **必要な項目を設定する**

送信時間※	「送信」をタップしてからメールを送信するまでの時間を設定します。
有効期限	サーバーの保存期間を設定します。
優先度※	メールの優先度（「低」／「標準」／「高」）を設定します。
配信確認	チェックを付けると、相手にメールが届いたことを通知するメッセージを受信します。

※S!メールのときのみ表示されます。

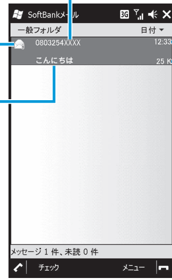
3 **「OK」をタップする**

SMS／S!メールを受信する

SMS／S!メール画面の見かた

SMS／S!メール一覧画面

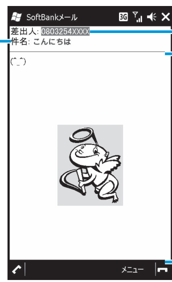
①メールの状態
②件名
③送信元／宛先
④受信日時／送信日時
⑤サイズ



受信ボックスの場合

SMS／S!メール詳細画面

②件名
⑥送信元
⑦本文



受信メールの場合

①**メールの状態**

／／：未読メール

／／：既読メール

／／：返信済みメール

／／：転送済みメール

／／／：サーバーに一時保存のS!メール（未読／既読／返信済み／転送済み）（5-10ページ）

：送信エラーS!メール

：配信確認済みSMS

：USIMカードに保存されているSMS

※SMSの場合は、アイコンに「SMS」が表示されます。

※添付ファイルが存在する場合は、アイコンにクリップが表示されます。

②**件名**

SMSの場合は本文

③**送信元／宛先**

受信メールの場合は送信元、送信メールの場合は送信先

④**受信日時／送信日時**

受信メールの場合は受信日時、送信メールの場合は送信日時

⑤**サイズ**

⑥**送信元**

送信メールの場合は非表示

⑦**本文**

SMS／S!メールを読む

新着メールを確認する

1 **メールを受信すると、通知音などとともに受信を知らせるメッセージが表示される**

受信を知らせるメッセージは、何も操作をしないまましばらくすると自動的に消え、「通知」をタップすると再度表示されます。



2 **「メニュー」➡「表示」**

SMS／S!メール詳細画面が表示されます。

- 未読メールが2件以上となる場合は、**1**のメッセージに未読メールの件数が表示されます。この場合、「消去」をタップして、受信ボックスからSMS／S!メール詳細画面を表示します。

メールの内容を確認する

1 **「スタート」➡「SoftBankメール」➡「受信ボックス」**

2 **フォルダを選択する**

SMS／S!メール一覧画面が表示されます。

3 **確認したいメールをタップする**

SMS／S!メール詳細画面が表示されます。

メール一覧画面のメニュー

SMS／S!メール一覧画面では、「メニュー」をタップすることにより、以下の機能を利用できます。

SMS／S!メール一覧画面（受信ボックス）

項目	説明
全文受信	サーバーに一時保存されているメールを受信します（5-10ページ）。
返信	メールを返信／転送します（5-9ページ）。
全員に返信	
転送	
削除	メールを削除します（5-12ページ）。

項目		説明
保護		メールを削除できないように保護します。
その他	フォルダへ移動	メールをほかのフォルダに移動します（5-11ページ）。
	開封済みにする／未開封にする	メールの未開封／開封済みを変更します。
	送信者に電話する	送信元に電話をかけます。
	アドレスの保存	送信元のアドレスを利用して、連絡先として保存したり、電子メールを作成したりできます。
	SIMにコピー	SMSをUSIMカードにコピーします（5-12ページ）。
	すべて削除	フォルダ内のメールをすべて削除します（5-12ページ）。
フォルダ表示		受信ボックス内のフォルダを表示します。
詳細表示		S!メールのメッセージ詳細画面を表示します。

SMS／S!メール一覧画面（送信済みボックス）

項目	説明
編集再送信	メールを再編集します。
アドレスの保存	宛先のアドレスを利用して、連絡先として保存したり、電子メールを作成したりできます。
保護	メールを削除できないように保護します。
詳細表示	S!メールのメッセージ詳細画面を表示します。
削除	メールを削除します（5-12ページ）。
すべて削除	

添付ファイルを確認／保存する

1 S!メール詳細画面で「メニュー」➡「添付表示」

2 添付ファイルを選択する

添付ファイルが表示または再生されます。

■添付ファイルを保存する場合

添付ファイルを選択し、「メニュー」➡「保存」または「定型文として保存」をタップします。

■静止画や音楽ファイルを連絡先に割り当てる場合

添付ファイルを選択し、「メニュー」➡「連絡先に割り当て」をタップします。

SMS／S!メールを返信・転送する

1 SMS／S!メール一覧画面でメールを選択する

2 「メニュー」➡「返信」

3 返信の種類を選択する

S!メール	S!メールとして返信します。
引用付きS!メール	S!メールとして、元のメールの内容を引用して返信します（元のメールがS!メールのときのみ選択可能です）。
SMS	SMSとして返信します。
引用付きSMS	SMSとして、元のメールの内容を引用して返信します（元のメールがSMSのときのみ選択可能です）。

4 件名や本文などを入力し、「送信」をタップする

■メールの送信元およびCcに入っている人全員に返信する場合

SMS／S!メール一覧画面で「メニュー」➡「全員に返信」➡「S!メール」／「引用付きS!メール」／「SMS」をタップします。

■転送する場合

SMS／S!メール一覧画面で「メニュー」➡「転送」をタップします。

●受信メールのメール詳細画面からもメールを返信することができます。

S!メールの続きを受信する

以下のいずれかに当てはまる場合、送られてきたS!メールはサーバーに一時保存され、メッセージの一部がお客様のソフトバンク携帯電話に送信されます。
- 受信モード（5-12ページ）を「手動」に設定しているとき
- 受信モードを「電話番号のみ自動（ホームのみ）」に設定している場合に、宛先がメールアドレスのメールが送られてきたとき
- 世界対応ケータイを利用しているとき

1 SMS／S!メール一覧画面でメールを選択する

2 「メニュー」➡「全文受信」

メールの受信が始まります。受信が終わると、メールを受信したことを示す画面が表示されます。

メールリストを取得する

サーバーに一時保存されているメールの一覧（メールリスト）を取得することができます。

1 「スタート」➡「SoftBankメール」

2 「サーバーメール一覧」➡「はい」

メールリストの取得が始まります。

3 「消去」をタップする

メールリスト画面が表示され、サーバーに一時保存されているメールを一覧で確認できます。

メールリストを利用する

取得したメールリストを利用して、サーバー内のメールの受信、転送、削除などを行うことができます。

1 メールリスト画面で「メニュー」をタップする

2 以下から利用したい項目を選択する

メールリストの読み込み	メールリストを更新します。
全文受信	反転表示したメールを受信します。
すべてをダウンロード	すべてのメールを受信します。
削除	反転表示またはチェックを付けたメールを削除します。
すべて削除	すべてのメールを削除します。
転送	反転表示したメールをほかの宛先に転送します。
詳細表示	反転表示したメールのメッセージ詳細画面を表示します。
メールボックス容量	サーバーの使用状況を確認します。

■複数のメールを受信／削除する場合

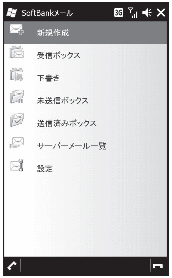
メールリスト画面でメールを選択し、「チェック」をタップします。
・受信／削除したいメールの数だけ操作を繰り返します。
そのあと、「メニュー」➡「全文受信」／「削除」をタップします。

フォルダの表示

受信ボックスでは、相手や内容などによってフォルダに分類したり、アドレスや件名をもとに自動的にメールを振り分けたりすることができます。

1 「スタート」➡「SoftBankメール」

フォルダ一覧画面が表示されます。



フォルダ一覧画面

2 「受信ボックス」をタップする

受信ボックスフォルダ一覧画面が表示されます。

フォルダを追加する

1 受信ボックスフォルダ一覧画面で「フォルダ作成」をタップする

フォルダが作成されます。

フォルダの名前を変更する

1 受信ボックスフォルダ一覧画面でフォルダを選択する

2 「メニュー」➡「名前の変更」

3 名前を入力し、「OK」をタップする

- 「一般フォルダ」、「迷惑メール」フォルダの名前は変更できません。

自動振り分けを設定する

受信時にあらかじめ設定した条件で、指定したフォルダにメールを自動的に振り分けることができます。

1 受信ボックスフォルダ一覧画面でフォルダを選択する

2 「メニュー」➡「メール振り分け設定」

3 自動振り分けのルールを設定する

連絡先からの新規アドレス	自動振り分けをするアドレスを連絡先から選択します。
新しいアドレス	自動振り分けをするアドレスを手動で入力します。
新しい件名	自動振り分けをするメールの件名を手動で入力します。

4 「OK」をタップする

- 「一般フォルダ」、「迷惑メール」フォルダには、自動振り分けのルールは設定できません。

メールをほかのフォルダに移動する

1 フォルダ一覧画面で「受信ボックス」をタップする

2 フォルダを選択し、移動したいメールを選択する

3 「メニュー」➡「その他」➡「フォルダへ移動」

4 移動先のフォルダを選択し、「OK」をタップする

SMS／S!メールを削除する

1 フォルダー一覧画面(5-11ページ)でフォルダを選択する

2 削除したいメールを選択する

3 「メニュー」➡「削除」➡「はい」

■複数のメールを削除する場合

フォルダー一覧画面でフォルダを選択したあと、削除したいメールを選択し、「チェック」をタップします。

・削除したいメールの数だけ操作を繰り返します。

そのあと、「メニュー」➡「削除」➡「はい」をタップします。

■フォルダ内のメールをすべて削除する場合

フォルダー一覧画面でフォルダを選択し、「メニュー」➡「すべて削除」をタップします。

・受信ボックスの場合は、「メニュー」➡「その他」➡「すべて削除」となります。

そのあと、「よろしければチェックボックスをチェックし、「はい」をタップしてください」にチェックを付け、「はい」をタップします。

SMSをUSIMカードにコピーする

受信したSMSをUSIMカードにコピーすることができます。

1 フォルダー一覧画面(5-11ページ)で「受信ボックス」をタップする

2 フォルダを選択し、コピーしたいSMSを選択する

3 「メニュー」➡「その他」➡「SIMにコピー」➡「ok」

■USIMカードから本体にコピーする場合

コピーしたいSMSを選択し、「メニュー」➡「その他」➡「携帯にコピー」➡「ok」をタップします。

SMS／S!メールのオプション設定

1 フォルダー一覧画面(5-11ページ)で「設定」をタップする

2 必要な項目を設定する

メール・アドレス設定	メールアドレスの変更を行います。
一般設定	迷惑メールフォルダの使用や署名など、SMS、S!メールに共通な設定を行います。
S!メールの設定	受信モード、送受信の試行回数など、S!メールに関する設定を行います。
SMSの設定	配信レポート、有効期限など、SMSに関する設定を行います。
バージョン情報	SoftBankメールのバージョン情報を表示します。

メールアドレスの変更

メールアドレスのアカウント名（@の前の部分）をお好きな文字列に変更できます。
□□□□□□□□□□□□□@softbank.ne.jp

- 詳しくは、サービスガイド（3G）をご覧ください。
- ご契約時には、ランダムな英数字が設定されています。迷惑メール防止に効果的なメールアドレスにするためにも、半角英数字と記号を使用して少しでも長いメールアドレスへの変更をおすすめします。

1 **フォルダ一覧画面（5-11ページ）で「設定」➡「メール・アドレス設定」**

インターネットに接続します。以降は画面の指示に従って操作します。

メールアカウントの設定

電子メールのアカウントや社内メールのアカウントを設定します。

- 会社のExchange Serverのメールについては、ActiveSyncで設定を行います。設定方法については、社内システム管理者にご確認ください。

メールアカウントの設定の準備

設定するメールアカウントについて、以下の情報を事前に確認しておいてください。

・メールアドレス
・ユーザー名（ユーザーID）
・パスワード
・受信メールサーバーの種類（POP3／IMAP4）
・受信メールサーバー名（POP／IMAP）
・送信サーバー名（SMTP）
・日付／時刻

新しいアカウントを追加する

1 **「スタート」➡「電子メール」➡「電子メールの設定」**

2 **以下の情報を入力し、「次へ」をタップする**

電子メールアドレス	アカウントのメールアドレスを入力します。
パスワード	プロバイダーや社内システム管理者から提供されたパスワードを入力します。
パスワードの保存	メールサーバーにアクセスするたびにパスワードを入力したくない場合に、チェックを付けます。

3 **「インターネットから電子メール設定を自動的に取得する」にチェックを付け、「次へ」をタップする**

2の情報で電子メールの情報を自動的に取得します。取得できた場合は、以降の設定は自動的に設定されます。取得できなかった場合は、「次へ」をタップして以降の設定を行ってください。

4 **電子メールプロバイダー（「インターネット電子メール」／「カスタムドメイン」）を選択し、「次へ」をタップする**

5 以下の情報を入力し、「次へ」をタップする

名前	メールアカウントの利用者の名前（任意の名前）を入力します。
アカウントの表示名	メールアカウント名（任意の名前）を入力します。

6 以下の情報を入力し、「次へ」をタップする

受信メールサーバー	受信メールサーバー名（POP／IMAP）を入力します。
アカウントの種類	受信メールサーバーを「POP3」／「IMAP4」から選択します。

7 以下の情報を入力し、「次へ」をタップする

受信サーバーとは異なるプロバイダーの送信サーバーを設定することができます。

ユーザー名	プロバイダーや社内システム管理者から提供されたユーザー名(またはユーザーID）を入力します。
パスワード	プロバイダーや社内システム管理者から提供されたパスワードを入力します。
パスワードの保存	メールサーバーにアクセスするたびにパスワードを入力したくない場合に、チェックを付けます。

8 以下の情報を入力し、「次へ」をタップする

送信（SMTP）メールサーバー	送信メールサーバー名(SMTP)を入力します。
送信サーバーで認証を要求する	プロバイダーや社内システム管理者から指定がある場合のみチェックを付けます。
送信電子メールに同じ名前とパスワードを使用する	「送信サーバーで認証を要求する」にチェックを付けた場合のみ設定できます。
サーバーの詳細設定	サーバーに関する詳細設定を行います。

9 以下の情報を設定する

自動送受信	設定した時間間隔で受信メールサーバーに新しいメールが到着しているかどうかを確認します。
全ダウンロード設定の確認	過去何日分のメールをダウンロードするか（「メッセージのダウンロード」）を設定します。 「詳細設定」をタップすると、メール送信時に「送信」をタップしたとき、すぐにメールの送受信を実行するか（「[送信]をクリックしたとき送受信を実行する」）など、メールの送受信に関する詳細設定を行うことができます。 「次へ」をタップすると、メッセージの形式やダウンロード制限の設定を行うことができます。

10 「完了」をタップする

- 電池の減りを防ぐため、9の「自動送受信」の時間間隔をあまり短く設定しないことをおすすめします。
- 9で「自動送受信」を「手動実行」以外に設定した場合、メッセージを確認するたびにインターネットに接続するため、通信料が高額になることがありますのでご注意ください。

電子メールを作成する

電子メールを新規に作成して送信します。

1 「スタート」➡「電子メール」

2 電子メールのアカウントを選択し、「メニュー」➡「新規」

メール作成画面が表示されます。



メール作成画面

3 宛先入力欄をタップし、宛先を入力する

- 「メニュー」➡「受信者の追加」をタップすると、連絡先から選択することができます。
- Cc、Bccを利用する場合は、上方向にスクロールするとCc、Bcc入力欄が表示されます。

4 件名入力欄をタップし、件名を入力する

5 本文入力欄をタップし、本文を入力する

6 「送信」をタップする

アカウントの設定で「[送信]をクリックしたときに送受信を実行する」にチェックを付けている場合は、送信と同時に送受信が行われます。チェックを外している場合は、メールは送信トレイに保存され、次に送受信を行うまでは送信されません。

■ファイルを添付する場合

メール作成画面で「メニュー」➡「挿入」➡「画像」／「ボイスメモ」／「ファイル」をタップします。

■マイテキスト（よく使うテキストをあらかじめ登録しておく機能）を利用する場合

メール作成画面で件名入力欄または本文入力欄を選択したあと、「メニュー」➡「マイテキスト」をタップし、入力するテキストを選択します。

・あらかじめ登録されているテキストを編集することもできます。

■メールの作成を中止する場合

メール作成画面で「メニュー」➡「メッセージの取り消し」をタップします。作成途中の場合は、下書きフォルダに保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。

■メールの作成途中で保存する場合

メール作成画面で「メニュー」➡「下書きに保存」をタップすると、下書きフォルダに保存されます。

- 宛先のCc、Bcc入力欄には、参考に送信したい相手のアドレスを入力します。なお、Bcc入力欄に入力したアドレスは、Bccで送信した相手以外の送信者には表示されません。

メールのオプション

1 メール作成画面で「メニュー」➡「メッセージのオプション」

2 必要な項目を設定する

優先度	メールの優先度（「低」／「標準」／「高」）を設定します。
セキュリティ	デジタル署名を登録しているとき、暗号化や署名を設定します。
アクセス許可	アクセス制限（「アクセス制限なし」／「転送禁止」／「ユーザーの選択」）を設定します。
言語	言語（文字コード）を設定します。

3 「OK」をタップする

電子メールを送受信する

電子メールは、自動的に受信されないため、手動で送受信を行う必要があります。

1 「スタート」➡「電子メール」

2 電子メールのアカウントを選択し、「メニュー」➡「送受信」

メールの送信および受信を行います。

- 送信トレイにメールが保存されている場合は、保存されているメールが送信されます。

- パケット通信でメールを受信したあとは、ほかのアプリケーションなどに切り替えても、パケット通信回線を切断するかタイムアウトになるまでインターネットに接続されたままになっています。パケット通信回線の切断方法については6-8ページを参照してください。

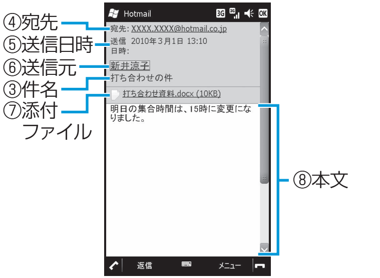
電子メール画面の見かた

電子メール一覧画面



受信トレイの場合

電子メール詳細画面



受信メールの場合

①メールの状態

- ：未読メール
- ：未読メール（受信していないメッセージや添付ファイルあり）
- ：未読メール（添付ファイルあり）
- ：既読メール
- ：既読メール（受信していないメッセージや添付ファイルあり）
- ：既読メール（添付ファイルあり）

②送信元／宛先

受信メールの場合は送信元、送信メールの場合は送信先

送信メールで宛先にCcがある場合は、Ccでの送信先も表示

③件名

④宛先

受信メールの場合は送信元、送信メールの場合は送信先

宛先にCcがある場合は、Ccでの送信先も表示

⑤送信日時

受信メールの場合は送信元の送信日時、送信メールの場合は送信日時

⑥送信元

⑦添付ファイル

添付ファイルがある場合は、ファイル名と容量を表示

⑧本文

電子メールを読む

1「スタート」➡「電子メール」

2 電子メールのアカウントを選択する

電子メール一覧画面が表示されます。

- フォルダを変更する場合は、フォルダ名をタップし、フォルダを選択します。

3 読みたいメールを選択する

電子メール詳細画面が表示されます。

■未読／開封済みを変更する場合

電子メール一覧画面でメールを選択し、「メニュー」➡「開封済みにする」／「未読にする」をタップします。

メールのすべての内容／添付ファイルを受信する

電子メール詳細画面に「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」と表示されている場合は、受信していないメッセージや添付ファイルが存在します。すべてを受信するためには、手動で設定する必要があります。

1 電子メール一覧画面でメールを選択する

2「メニュー」➡「メッセージのダウンロード」

電子メール詳細画面の「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」という表示が、「次回接続して電子メールを受信するときに、メッセージとすべての添付ファイルをダウンロードします。」に変わります。

3「メニュー」➡「送受信」

1、2を実行したメールのすべてのメッセージ／添付ファイルを受信します。

文字の大きさを変更する

受信したメールの文字の大きさを変更できます。

1 電子メール一覧画面でメールを選択する

2「メニュー」➡「表示」➡「文字サイズ」

3 文字サイズを選択する

メールの言語（文字コード）を変更する

文字化けなどが発生している場合、言語（文字コード）を変更できます。

1 電子メール一覧画面でメールを選択する

2「メニュー」➡「表示」➡「言語」

3 言語を選択する

添付ファイルを確認／保存する

1 メールを表示し、添付ファイルをタップしたままにする

2「名前を付けて保存」をタップする

■添付ファイルを確認する場合

添付ファイルを選択する

3 名前や保存先フォルダ、保存場所を設定し、「保存」をタップする

ファイルが保存されます。

電子メールを返信／転送する

1 メールを表示し、「メニュー」➡「返信／転送」

2 返信の種類を選択する

返信	メールの送信元に返信します。
全員へ返信	メールの送信元およびCcに入っている人全員にメールを返信します。
転送	受信したメールをほかの人に転送します。

3 件名や本文を入力し、「送信」をタップする

- 返信メールの作成画面で「送信者のメッセージの編集」をタップすると、元のメッセージを引用しながら返事を書くことができます。

本機とパソコンで同じメールを受信したとき

本機とパソコンなどで同じメールを受信したときは、本機の「受信トレイ」からメールが削除されます。

1 本機で電子メールを受信する

2 パソコンなどで同じメールを受信する

メールサーバーからメールが削除されます（パソコンなどで、メール受信時にメールサーバーからメールを削除するよう設定している場合）。

3 本機の電子メールで送受信を行う

メールサーバーと本機とで同期が行われ、メールサーバーから削除されたメールが、本機の「受信トレイ」からも削除されます。

- 本機で受信する前にパソコンなどでメールを受信したときなど、すでにメールサーバーからメールが削除されている場合は、本機ではそのメールを受信できません。

電子メールを管理する

フォルダの表示切り替え

1 電子メール一覧画面で「メニュー」➡「切り替え」➡「フォルダー」

フォルダ一覧画面が表示されます。

2 フォルダを選択する

電子メールをほかのフォルダに移動する

1 電子メール一覧画面で移動したいメールを選択する

2 「メニュー」➡「移動」

3 移動先のフォルダを選択し、「選択」をタップする

電子メールを削除する

1 電子メール一覧画面で削除したいメールを選択する

2 「削除」➡「はい」

削除したメールは「削除済みアイテム」に移動されます。ただし､「下書き」フォルダのメールを削除した場合は、完全に削除されます。

メールサーバーからもメールを削除する

電子メールは、本機でメールを受信してもメールサーバーにはメールが残っています。パソコンで同じメールを受信したときはメールサーバーからも削除されます（5-18ページ）が、本機からメールサーバーのメールを削除するには､「削除済みアイテム」からメールを削除する必要があります。

1 本機で電子メールを受信する

2 受信したメールを削除し､「削除済みアイテム」に移動する

3 電子メール一覧画面で「メニュー」➡「ツール」➡「[削除済みアイテム]を空にする」➡「はい」

メールが「削除済みアイテム」から削除されます。

4 本機の電子メールで送受信を行う

メールサーバーと本機とで同期が行われ、「削除済みアイテム」から削除されたメールが、メールサーバーからも削除されます。

電子メールのオプション設定

1 電子メール一覧画面で「メニュー」➡「ツール」➡「オプション」

2 必要な項目を設定する

「アカウント」タブ	それぞれのアカウントの設定を変更できます。新しいアカウントを設定するには「新しいアカウント」をタップします。メールを開くたびにメールアカウントを選択する場合は、「メールを開く際にアカウントを選択する」にチェックを付けます。また、自動的に挿入する署名を作成することもできます。
「メッセージ」タブ	メールの返信、送信、削除、移動の設定ができます。
「アドレス」タブ	送信先の設定に使用する連絡先を選択できます。
「保存場所」タブ	本機とメモリカードの空き容量、添付ファイルのサイズを確認できます。また､メモリカードに添付ファイルを保存するように設定したり､「[削除済みアイテム]を空にする」で削除済みアイテムの削除タイミングを設定したりすることもできます。

3 「OK」をタップする

6 インターネット

Internet Explorer® Mobileを起動する

1「スタート」➡「Internet Explorer」

初期画面（ホーム）が表示されます。

- 起動したInternet Explorer® Mobileは、ほかのアプリケーションに切り替えたり、「×」をタップしたりして画面を閉じても、しばらくは実行中のままになっています（その後、自動で終了します）。この間に再度Internet Explorer® Mobileを立ち上げると、閲覧していたWebページが再表示されます。
- パケット通信回線を切断しても、Internet Explorer® Mobileが実行中の場合は、自動的にインターネットに再接続されることがあります。電池の減りを防ぐためにも、インターネットのご利用が終わったら、タスクマネージャーでInternet Explorer® Mobileを終了させてください（14-9ページ）。

URLを入力してWebページを表示する

1 Webページ表示中に、

アドレスバーが表示されます。



2 アドレスバーをタップする

3 URLを入力し、をタップする

- アドレスバー右端の▼をタップして、以前表示したWebページのURLリストから選択することもできます。

履歴からWebページを表示する

1 Webページ表示中に、➡➡「履歴」

履歴画面が表示されます。

2 表示したいWebページの履歴をタップする

■SSL／TLSについて

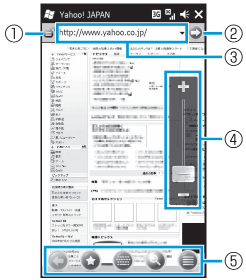
SSL(Secure Sockets Layer)とTLS(Transport Layer Security)とは、データを暗号化して送受信するためのプロトコル（通信規約）です。SSL／TLS接続時の画面では、データを暗号化し、プライバシーにかかわる情報やクレジットカード番号、企業秘密などを安全に送受信することができ、盗聴、改ざん、なりすましなどのネット上の危険から保護します。
本機では、あらかじめ認証機関から発行されたサーバー証明書が登録されていて、確認することもできます（13-4ページ）。

■SSL／TLS利用に関するご注意

セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合は、お客様は自己の判断と責任においてSSL／TLSを利用するものとします。
お客様自身によるSSL／TLSの利用に際し、ソフトバンクおよび認証会社である日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、エントラストジャパン株式会社、グローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストネット株式会社は、お客様に対しSSL／TLSの安全性に関して何ら保証を行うものではありません。

Internet Explorer® Mobileのボタンとコントロール

Webページは通常、全画面で表示されています。画面右下の をタップすると、Webページを操作するためのボタンとコントロールが表示されます。



①	／	セキュリティで保護されたサイト／一般サイトのページを表示中です。
②		アドレスバーに入力されているURLにアクセスし、表示を最新の情報に更新します。
③	**アドレスバー**	URLを入力します。
④	**ズームバー**	ページを拡大／縮小します。
⑤		ボタンとコントロールを表示します。
		メニューを表示します。
		ズームバーを表示します。
		文字入力パッドを表示します。
		お気に入りを表示します。
		1つ前のページに戻ります。

Webページ表示中の画面操作

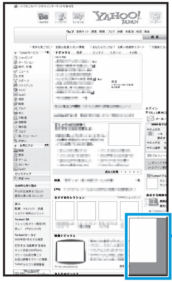
ページを縦表示／横表示にする

本機を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。モーションセンサー設定で縦横表示切り替えを有効にしてから操作してください（1-24ページ）。

- 本機を垂直に立てた状態で操作してください。本機を水平に寝かせるとモーションセンサーが正常に働かず、画面表示が切り替わらない場合があります。
- モーションセンサー設定の縦横表示切り替えが無効のときは、 を1秒以上押してページの縦／横表示を切り替えることができます。

ページをスクロールする

画面を上下／左右方向になぞって、隠れている部分を表示します。スクロール中に表示されるナビウィンドウで、ページ全体のどの部分が表示されているかを確認できます。



ナビウィンドウ

ページをパンする

画面そのものを全方向にドラッグして見たい部分を表示します。パン中に表示されるナビウィンドウ（上記）で、ページ全体のどの部分が表示されているかを確認できます。

ページを拡大／縮小する

以下の3通りの方法でWebページの表示を拡大／縮小できます。

ズームバー

➡をタップしてズームバーを表示します。または、画面を1秒以上タップしてポップアップメニューを表示し、「ズーム」をタップしてズームバーを表示します。
ズームバーの「＋」／「－」をタップするか、スライダーを上下になぞって拡大／縮小します。

UIキー

UIキーを右になぞって拡大し、左になぞって縮小します。

画面のダブルタップ

画面をダブルタップ（2回続けてタップ）して拡大します。拡大前の表示に戻すには、再度ダブルタップします。

Webページの表示方法を変更する

ブラウザ形式を切り替える

1 Webページ表示中に、➡➡「表示」

2 「モバイル」または「デスクトップ」をタップする

- 以下の操作でもブラウザ形式を切り替えることができます。
  Webページ表示中に、➡➡「ツール」➡「オプション」➡「その他」➡「モバイルデバイス」／「デスクトップPC」➡「完了」

文字の大きさを変更する

1 Webページ表示中に、➡➡「表示」➡「文字サイズ」

2 「最大」／「大」／「中」／「小」／「最小」をタップする

お気に入りに登録してすばやく表示する

お気に入りにWebページのリンクを登録する

1 登録したいWebページを表示して、→→

お気に入りの追加画面が表示されます。

2 名前（タイトル）を確認／変更し、「追加」をタップする

- Webページを1秒以上タップしてポップアップメニューを表示し、「お気に入りに追加」をタップして登録することもできます。
- お気に入りにフォルダーを追加しておくと（右記）、**2**でフォルダーを選択して登録できます。

お気に入りからWebページを表示する

1 Webページ表示中に、→

お気に入り画面が表示されます。

2 表示したいWebページのタイトルをタップする

お気に入りにフォルダーを追加する

1 Webページ表示中に、→→

フォルダーの追加画面が表示されます。

2 フォルダー名を入力し、「追加」をタップする

お気に入りの名前を変更する

1 Webページ表示中に、→

お気に入り画面が表示されます。

2 名前を変更したいタイトル／フォルダーを1秒以上タップして選択する

3 をタップする

お気に入りの編集画面／フォルダーの編集画面が表示されます。

4 名前を変更し、「OK」をタップする

お気に入りを削除する

1 Webページ表示中に、→

お気に入り画面が表示されます。

2 削除したいタイトル／フォルダーを1秒以上タップして選択する

3 →「はい」

ホーム画面にお気に入りを登録する

1 ホーム画面で「お気に入り」をタップする

「Internet Explorer」が選択されます。

2 「変更」をタップする

お気に入りの変更画面が表示されます。

- 選択パネルの「追加／削除」をタップすることもできます。

3 登録したいタイトルをタップする

登録済みタイトルにはホームマーク付きアイコンが表示されます。

- 登録済みタイトルをタップすると、登録が解除されます。
- メニューバーの「選択」／「選択解除」をタップすることもできます。

4 「完了」をタップする

ホーム画面のお気に入りからWebページを表示する

1 ホーム画面で「お気に入り」をタップする

「Internet Explorer」が選択されます。

2 選択パネルを左右になぞって表示したいWebページのタイトルを表示する

3 選択パネルをタップする

WebページのURLを送信する

1 **Webページ表示中に、→→「ツール」→「リンクを送る」**

表示中のWebページのURLが、電子メールの本文に挿入されます。

2 **宛先などを入力し、「送信」をタップする**

Webページの画像を保存する

1 **Webページ表示中に、保存したい画像を1秒以上タップしてポップアップメニューを表示する**

2 **「イメージを保存」をタップする**

画像の保存画面が表示されます。

3 **名前を確認／変更し、保存場所やファイル形式を選択する**

- 「メインメモリ」を選択すると、本機のMy Documentsの下に保存されます。

4 **「保存」をタップする**

Webページのテキストをコピーする

コピーしたテキストは、ほかのアプリケーションなどで貼り付けて利用できます。

1 **Webページ表示中に、→→「コピー／貼り付け」→「選択」**

2 **コピーしたいテキストを指またはスタイラスペンでなぞる**

選択したテキストが反転表示されます。

3 **「コピー」をタップする**

- 以下の操作でテキストをコピーすることもできます。
  Webページを1秒以上タップしてポップアップメニューを表示→「選択」→テキストを選択→「コピー」

Webページからデータをダウンロードする

1 **Webページ表示中に、ダウンロードしたいデータのリンク（ファイル名や「ダウンロード」など）をタップする**

2 **「ダウンロード後にファイルを開く」にチェックを付ける、またはチェックを外し、「メニュー」→「名前を付けて保存」**

名前を付けて保存画面が表示されます。

3 **名前を確認／変更し、保存場所やファイル形式を選択する**

- 「メインメモリ」を選択すると、本機のMy Documentsの下に保存されます。

4 **「保存」をタップする**

表示中のWebページをホームに設定する

表示中のWebページをInternet Explorer® Mobile起動時の初期画面（ホーム）に設定できます。

1 Webページ表示中に、⇒⇒「ツール」⇒「オプション」⇒「ホームページ」⇒「現在のページ」⇒「完了」

- 「既定のホームページ」を選択すると、Internet Explorer® Mobileの初期画面がホームに設定されます。

ホームを表示する

1 Webページ表示中に、⇒⇒「ホームページ」

履歴やキャッシュを削除する

Webページの表示動作が遅くなったときは、インターネットの一時ファイル（キャッシュ）を削除して、データ記憶用メモリを空けてください。

1 Webページ表示中に、⇒⇒「ツール」⇒「オプション」⇒「閲覧の履歴」

2 「一時ファイル」／「Cookie」／「履歴」⇒「クリア」⇒「はい」⇒「完了」

セキュリティを設定する

1 Webページ表示中に、⇒⇒「ツール」⇒「オプション」⇒「プライバシーとセキュリティ」

2 必要な項目にチェックを付ける、またはチェックを外す

3 「完了」をタップする

- 以下の操作でActiveXコントロールの実行を許可するかどうかを設定できます。Webページ表示中に、⇒⇒「表示」⇒「ActiveXの有効化」にチェックを付ける、またはチェックを外す

ブラウザの高速化を設定する

Internet Explorer® Mobileの動作を速くする設定をします。

1 「スタート」⇒「設定」⇒「システム」⇒「ブラウザ設定」

2 「ブラウザ高速動作」にチェックを付け、「OK」をタップする

パケット通信回線を切断する

Internet Explorer® Mobileやメールなど、インターネット接続が必要なアプリケーションは、インターネットをご利用後にアプリケーションを終了しても、パケット通信回線を切断するかタイムアウトになるまでインターネットに接続されたままになっています。
パケット通信回線を手動で切断するには、以下の操作をしてください。

1 タイトルバーのHまたは3Gをタップする

2 「切断」をタップする

- パケット通信回線を切断しても、Internet Explorer® Mobileが実行中の場合は、自動的にインターネットに再接続されることがあります。電池の減りを防ぐためにも、インターネットのご利用が終わったら、タスクマネージャーでInternet Explorer® Mobileを終了させてください（14-9ページ）。
- 本機がスリープモードに入っても、インターネット接続はバックグラウンドで継続します。電池の減りを防ぐためにも、インターネットのご利用が終わったら、パケット通信回線を切断してください。

Windows Live™

Windows Live™は、マイクロソフト社が提供するオンラインサービスです。電子メールやブログを利用したり、Messengerでチャットをしたりすることができます。
Windows Live™には以下の機能があります。

機能	説明
Live Searchバー	Web上の情報を検索します。
Live Messenger	MSN Messenger Mobileの次世代プログラムです。
Live Mail	Hotmailの次世代バージョンです。
Live Contacts	Live Mail、Live Messenger、Hotmailの連絡先を保存するアドレス帳です。Live Contactsを共有しているユーザーが連絡先を変更したときに、相手のアドレス帳を自動的に書き替えたり、メンバーリストに登録されたユーザーのみにブログを公開する設定などができます。Live Mailのアドレス帳、Live Messenger、MSNスペースなどからLive Contactsのメンバーリストに登録できます。

Windows Live™のアカウントについて

Windows Live™をご利用になる前に、パソコンからWindows Live™のホームページにアクセスして、アカウント（ID）を取得してください。
アカウント（ID）の取得方法については、以下のホームページをご覧ください。
http://www.microsoft.com/japan/mscorp/passport/passport02.mspx

Windows Live™にサインインする

はじめてWindows Live™をご利用になる際は、Windows Live™ ID（お手持ちのWindows Live™ MailまたはHotmailのメールアドレス）を使ってサインインします。

1 「スタート」➡「Windows Live」

2 「ここをクリックしてサインインします。」をタップする

3 Windows Live™の使用条件とマイクロソフトのプライバシーに関する声明を読んだあと、「承諾」をタップする

4 ご利用のWindows Live™ MailまたはHotmailアドレスとパスワードを入力し、「パスワードを保存する」にチェックを付け、「次へ」をタップする

- メールアドレスをお持ちでない場合は、「Windows Live IDの作成」をタップしてアカウント（ID）を取得できます。

5 ホーム画面にWindows Live™を表示させる場合はチェックを付け、「次へ」をタップする

6 本機と同期させる情報を選択する

■「Windows Liveの知り合いの連絡先情報を携帯電話のアドレス帳に保存する」を選択した場合

Windows Live™の連絡先が、本機の連絡先とLive Messengerの両方に追加されます。

■「電子メールを同期する」を選択した場合

Windows Live™ MailまたはHotmailの受信トレイにあるメッセージが、本機にダウンロードされます。

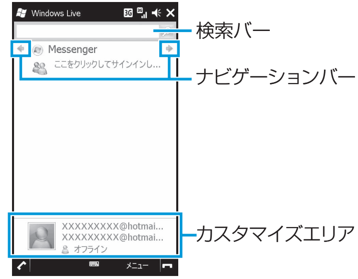
7 「次へ」をタップする

8 同期が完了したら「完了」をタップする

Windows Live™のインターフェース

Windows Live™のメイン画面には検索バー、ナビゲーションバー、カスタマイズエリアが表示されます。

ナビゲーションバーを利用して、Windows Live™ Messenger、同期ステータス、Live Mailを切り替えます。カスタマイズエリアには、自分の画像を表示することができます。



Messengerを利用する

Windows Live™ Messengerを使用すると、オンラインでインスタントメッセージを送受信できます。
パソコンのWindows Live™ Messengerと同様、以下の機能を利用できます。

- 文字や音声のインスタントメッセージ
- 複数のユーザーどうしの会話
- 絵文字
- オンライン状態が表示されるメンバーリスト
- 画像などのファイルの送受信
- オンライン状態や表示名の変更
- オンライン状態、グループなどでメンバーを分類表示
- メンバーがオフラインのときでも電子メールを送信

Windows Live™ Messengerを開く

1 「スタート」➡「Messenger」

Messenger画面が表示されます。

■サインインする場合

Windows Live™ Messenger画面で「サインイン」をタップします。

※セットアップ完了後、はじめてサインインするときに、Messengerの知り合いのアドレス帳に追加されたことを知らせるメッセージが表示されることがあります。画面の指示に従って操作してください。

■サインアウトする場合

「メニュー」➡「サインアウト」をタップします。

会話を始める

1 サインイン後のMessenger画面でオンラインのメンバーを選択し、「メッセージの…」をタップする

メッセージ画面が表示されます。

2 文字入力欄に文字メッセージを入力する

- 絵文字を追加する場合は、「メニュー」➡「絵文字の追加」をタップし、絵文字一覧から選択します。

3 「送信」をタップする

4 会話を終了するには、「メニュー」➡「会話を終了」をタップする

- ファイルを送信するには「メニュー」➡「送信」をタップし、ファイルの種類を選択します。
- 進行中の会話にほかのメンバーを招待するには、「メニュー」➡「オプション」➡「参加者の追加」をタップします。

Windows Live™のメンバーを追加する

Windows Live™ Messengerまたは本機の連絡先から、Windows Live™のメンバーを追加できます。

Windows Live™ Messengerのメンバーを追加する場合

1 サインイン後のMessenger画面で「メニュー」➡「新しい知り合いの追加」

2 メンバーの電子メールアドレスを入力し、「OK」をタップする

連絡先からメンバーを追加する場合

1 「スタート」➡「連絡先」➡「新規作成」➡「Windows Live」

2 相手のWindows Live™ IDであるメンバーの電子メールアドレス、またはその他のメールアドレスを入力し、「OK」をタップする

3 「はい」または「いいえ」をタップし、画面の指示に従ってメンバーを追加する

- 必要に応じてメンバーのその他の情報も入力できます。

Windows Live™メールを利用する

Windows Live™にサインインすると、Windows Live™メール（Hotmail）をメールアカウントの1つとして使用することができます。

1 「スタート」➡「電子メール」

アカウントの選択画面が表示されます。

2 「Hotmail」

3 メールの操作を行う

- Hotmailサービスの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
  http://messenger.live.jp/

Windows Live™メールのオプション設定

1 「スタート」➡「Windows Live」➡「メニュー」➡「オプション」

2 設定する項目をタップする

3 登録する内容を設定し、「完了」をタップする

1.[Today]画面のオプション	ホーム画面にWindows Live™を表示するかどうかを設定します。
2.同期オプション	・Windows Live™の連絡先を本機の連絡先に保存するかどうかを設定します。 ・電子メールを同期するかどうかを設定します。
3.同期スケジュール	同期の方法と頻度を設定します。
4.同期の状態	同期の結果を表示します。
5.ローミング	ローミング時にWindows Live™を有効にするかどうかを設定します。
6.Messenger	音声メモを自動再生するかどうか、またメモの通知方法や使用するフォントを設定します。
7.電子メール	メッセージプレビューのサイズ、すぐにメッセージを送信するかどうか、返信／転送時に元のメッセージを含めるかどうかを設定します。
8.バージョン情報	Windows Live™のバージョン情報を表示します。

7 情報／データの同期

ActiveSync／Windows Mobile®デバイスセンターでできること

ActiveSyncおよびWindows Mobile®デバイスセンターは、本機の電子メール、連絡先、予定表、仕事、メモ、音楽、ビデオ、ドキュメントファイルなどを、お使いのパソコンと連携して操作するためのソフトウェアです。
ActiveSyncおよびWindows Mobile®デバイスセンターは、マイクロソフト社のダウンロードサイトから入手できます。
本機をActiveSyncまたはWindows Mobile®デバイスセンターをインストールしたパソコンに接続して、以下のことができます。

パソコンとの同期

- パソコンで利用しているMicrosoft Outlookのデータ（電子メール、連絡先、予定表、仕事、メモ）を、本機のデータと同期させることができます。
- 本機のお気に入りを、パソコンで利用しているInternet Explorer®の「モバイルのお気に入り」と同期させることができます。
- 本機に保存されているWord MobileやExcel Mobileのファイルを、パソコンのWordやExcelのファイルと同期させることができます。
- お使いのパソコンにWindows Media® Player 10（Windows Vista®ではWindows Media® Player 11）以降がインストールされている場合、音楽、写真、ビデオなどのメディアファイルを同期させることができます（12-4ページ）。

ファイルのコピー／移動

お使いのパソコンと本機の間で、ファイルのコピーや移動ができます。

その他

Windows Mobile®に対応するプログラムの多くは、ActiveSyncまたはWindows Mobile®デバイスセンターのアプリケーションの追加と削除の機能を使って、パソコンから本機にインストールできます。例えば、インターネットからダウンロードしたセットアップファイル（.exe、.msiなど）をパソコンのデスクトップ上でダブルクリックして、本機にインストールすることができます。
※インストール方法はプログラムによって異なります。

- Microsoft Outlook Expressのデータは同期できません。
- Outlookメール以外の電子メールやSMS、S!メールは同期できません。
- パソコンのWordやExcelのファイルをWord MobileやExcel Mobileのファイルに変換する場合、Word MobileやExcel Mobileがサポートしていない書式や機能は反映されません。
- Windows® 2000は、Windows Media® Player 10以降のバージョンをサポートしていません。Windows® 2000をお使いの場合は、Windows Media® Player 9シリーズのデバイス転送機能を使って、メディアファイルを転送してください。
- ActiveSyncおよびWindows Mobile®デバイスセンターについて詳しくは、マイクロソフト社のホームページをご覧ください。
http://www.microsoft.com/windowsmobile/ja-jp/help/synchronize/default.mspx

ActiveSyncをインストールする

パソコンのオペレーティングシステムがWindows® 2000またはWindows® XPの場合は、ActiveSync 4.5をインストールします。

- ActiveSync 4.5は、Windows Vista®には対応していません。Windows Vista®をお使いの場合は、Windows Mobile®デバイスセンターをインストールしてください(7-5ページ)。
- ActiveSyncをインストールするパソコンの動作環境について詳しくは、16-15ページを参照してください。

インストールの準備

- 以下の操作でパソコンのMicrosoft Outlookを使用状態に設定してください。
  パソコンのMicrosoft Outlook画面で「ツール」メニュー➡「オプション」➡「その他」タブ➡「全般」の「Outlookを既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする」にチェックを付ける➡「OK」
- 本機をパソコンと接続しない状態でインストールしてください。本機をパソコンに接続した状態でActiveSyncをインストールすると、インストールが最後まで完了しないことがあります。

ActiveSyncをインストールする

1 **マイクロソフト社のホームページ(http://www.microsoft.com/windowsmobile/ja-jp/downloads/microsoft/default.mspx)にアクセスする**

2 **Windows Mobile 6「Microsoft ActiveSync 4.5(日本語版)」(ダウンロードリンク)をクリックする**

3 **画面の指示に従ってセットアップファイルをパソコンにダウンロードする**

- 「ファイルのダウンロード」ダイアログボックスで「保存」をクリックし、セットアップファイルをパソコンのデスクトップに保存します。

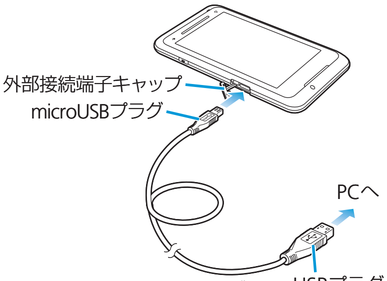
4 **デスクトップにあるセットアップファイルを起動し、画面の指示に従ってActiveSync 4.5をインストールする**

続けて「同期を設定する」(7-4ページ)に進んでください。

同期を設定する

付属のPC接続用USBケーブルを使って本機をパソコンに接続し、同期させるデータの種類や同期の条件を設定します。
- あらかじめ本機のUSB接続の設定をActive Syncモードにしてください（14-5ページ）。

1 本機の外部接続端子キャップを開け、付属のPC接続用USBケーブルを使用して、本機をパソコンに接続する



- PC接続用USBケーブルのmicroUSBプラグは、刻印がある面を上にして本機の外部接続端子に水平に差し込みます。
- PC接続用USBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに直接接続してください。USBハブやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。

2 パソコンの画面に同期セットアップウィザードが表示されたら、「次へ」をクリックする

- Exchange ServerベースのOutlookアカウントを使用している場合、本機をサーバーと直接同期させるかどうか確認する画面が表示されます。直接同期させたい場合は、「Microsoft Exchangeを実行中のサーバーと直接同期する。…」にチェックを付け、「次へ」をクリックして画面の指示に従って設定してください。サーバーアドレスやドメイン名、Exchangeユーザー名、パスワードなど必要な情報や詳しい設定方法は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- Pocket PC名の入力画面が表示された場合は、名前を確認／変更し、「次へ」をクリックしてください。

3 同期させたい項目にチェックを付け、「次へ」をクリックする

- 項目を選択して「設定」をクリックすると、同期の条件を変更できます。

4 画面の指示に従って設定する

5 「Pocket PC同期セットアップウィザードの完了」が表示されたら、「完了」をクリックする

3でチェックを付けた項目の同期が始まります。

同期の設定を変更する

1 パソコンのActiveSync画面で「ツール」メニュー➡「オプション」

2 同期させたい項目にチェックを付け、「OK」をクリックする

- ActiveSyncの詳しい使いかたは、パソコンのActiveSyncのヘルプをご覧ください。

USB接続で同期する

同期の設定を行ったあと、付属のPC接続用USBケーブルで本機とパソコンを接続すると、本機とパソコンのどちらかでデータが更新された場合、設定した同期の条件に従って自動で同期が行われます。

- あらかじめ本機のUSB接続の設定をActive Syncモードにしてください（14-5ページ）。
- 手動で同期を始めるには、パソコンのActiveSync画面で「同期」をクリックするか、本機で以下の操作を行います。
「スタート」➡「ActiveSync」➡「同期」

Windows Mobile® デバイスセンターをインストールする

パソコンのオペレーティングシステムがWindows Vista®の場合は、Windows Mobile®デバイスセンターをインストールします。

- Windows Mobile®デバイスセンターは、Windows® 2000とWindows® XPには対応していません。Windows® 2000またはWindows® XPをお使いの場合は、ActiveSyncをインストールしてください（7-3ページ）。
- Windows Mobile®デバイスセンターをインストールするパソコンの動作環境について詳しくは、16-15ページを参照してください。

インストールの準備

- 以下の操作でパソコンのMicrosoft Outlookを使用状態に設定してください。
パソコンのMicrosoft Outlook画面で「ツール」メニュー➡「オプション」➡「その他」タブ➡「全般」の「Outlookを既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする」にチェックを付ける➡「OK」
- Windows Mobile®デバイスセンターをインストールする前に本機をパソコンと接続すると、自動的にWindows Mobile®デバイスセンターのダウンロードが始まる場合があります。

Windows Mobile®デバイスセンターをインストールする

1. **マイクロソフト社のホームページ（http://www.microsoft.com/windowsmobile/ja-jp/downloads/microsoft/default.mspx）にアクセスする**
2. **Windows Mobile 6「Windows Vista用 Windows Mobileデバイスセンター6.1」（ダウンロードリンク）をクリックする**
3. **画面の指示に従ってインストーラーをパソコンにダウンロードする**
   - 「ファイルのダウンロード」ダイアログボックスで「保存」をクリックし、セットアップファイルをパソコンのデスクトップに保存します。
4. **デスクトップにあるインストーラーを起動し、画面の指示に従ってWindows Mobile®デバイスセンターをインストールする**
   続けて「同期を設定する」（7-6ページ）に進んでください。

同期を設定する

付属のPC接続用USBケーブルを使って本機をパソコンに接続し、同期させるデータの種類や同期の条件を設定します。

- あらかじめ本機のUSB設定をActive Syncモードにしてください（14-5ページ）。

1 ActiveSyncの「同期を設定する」（7-4ページ）の**1**を参照して、本機をパソコンに接続する

2 画面の指示に従って操作する

3 Windows Mobile®デバイスセンターのホーム画面が表示されたら、「デバイスのセットアップ」をクリックする

4 同期させたい項目にチェックを付け、「次へ」をクリックする

- Exchange ServerベースのOutlookアカウントを使用している場合、電子メールサーバー情報の入力画面が表示されます。本機をExchange Serverと直接同期させたい場合は、各欄に入力して「次へ」をクリックしてください。サーバーアドレスやドメイン名、Exchangeユーザー名、パスワードなど必要な情報や詳しい設定方法は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- Exchange Serverと同期させない場合や、あとで設定する場合は、「スキップ」をクリックしてください。

5 デバイス名を入力し、「セットアップ」をクリックする

セットアップが完了し、**4**でチェックを付けた項目の同期が始まります。

- 以下の操作で、セットアップ後に本機とExchange Serverとの同期を設定できます。
  Windows Mobile®デバイスセンターを起動し、「モバイルデバイスの設定」➡「詳細」➡「Exchange Serverとのワイヤレス同期」

同期の設定を変更する

1 パソコンのWindows Mobile®デバイスセンターを起動し、「モバイルデバイスの設定」➡「コンテンツの同期の設定の変更」

2 同期させたい項目にチェックを付け、「同期の設定」➡「保存」

- Windows Mobile®デバイスセンターの詳しい使いかたは、Windows Mobile®デバイスセンターのヘルプをご覧ください。

USB接続で同期する

同期の設定を行ったあと、付属のPC接続用USBケーブルで本機とパソコンを接続すると、本機とパソコンのどちらかでデータが更新された場合、設定した同期の条件に従って自動で同期が行われます。

- あらかじめ本機のUSB接続の設定をActive Syncモードにしてください（14-5ページ）。
- 本機とパソコンを接続すると、自動的に同期が行われますが、Windows Mobile®デバイスセンターは自動的に起動しません。同期の状況を確認したり、設定を変更したりするには、Windows Mobile®デバイスセンターを起動してください。

Bluetooth®通信で同期する

- あらかじめ本機とパソコンとの間でパートナーシップを確立してください（9-9ページ）。
- モードの設定で「このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする」にチェックを付けてください（9-9ページ）。また、ビームの設定で「すべての着信ビームを受信する」にチェックを付けてください（9-10ページ）。

1 パソコン側の設定をする

- パソコンのActiveSyncまたはWindows Mobile®デバイスセンターのヘルプを参照して、Bluetooth®通信で同期するための設定をします。パソコン本体とBluetooth®機器の取扱説明書もご覧ください。
- 以降の操作は本機で行います。

2 「スタート」➡「設定」➡「Bluetooth」➡「デバイス」タブ

3 接続しているパソコンをタップする

4 サービスの一覧から「ActiveSync」にチェックを付け、「保存」➡「OK」➡「×」

5 「スタート」➡「ActiveSync」➡「メニュー」➡「Bluetoothから接続」

本機とパソコンとの間で同期が始まります。

- 本機をパソコンにはじめて同期させるときは、USB接続を行う必要があります。
- Bluetooth®通信では、Windows Media® Playerを利用したメディアファイルの同期はできません。Windows Media® Playerのメディアファイルを同期させるには、USB接続で同期を行ってください。
- パソコンとの同期が完了したら、電池の減りを防ぐため、Bluetooth®機能をオフにしてください。

8 オフィスアプリケーション

オフィスアプリケーションについて

パソコンで作成したオフィスファイルを閲覧したり、編集したりできます。また、PDFファイルを閲覧することもできます。
本機で閲覧できるオフィスファイルは以下のとおりです。

オフィスファイル	閲覧	新規作成	編集
Word Mobile	○	○	○
Excel Mobile	○	○	○
PowerPoint® Mobile	○	×	×
OneNote® Mobile	○	○	○
Adobe Reader LE	○	×	×

Word Mobile

Word Mobileは、新規でWord文書を作成したり、パソコンで作成したWordファイルを閲覧／編集したりできます。

- Word Mobileは、変更履歴やパスワードなど、Microsoft Wordの機能を一部サポートしていません。パソコン用のMicrosoft Wordで作成した文書ファイルを保存すると、一部のデータや書式が失われる場合があります。

ファイルを新規作成する

1 「スタート」➡「Office Mobile」➡「Word Mobile」

新規入力画面が表示されます。

- すでにファイルがある場合は、ファイル一覧が表示されますので、画面左下の「新規」をタップします。

■テンプレートを変更する場合

「メニュー」➡「ツール」➡「オプション」をタップして、「既定のテンプレート」でテンプレートを選択し、「OK」➡「OK」➡「新規」をタップします。

- ファイル一覧画面では、「メニュー」➡「オプション」をタップすると、テンプレートを選択することができます。

2 テキストを入力する

- 「メニュー」をタップすると、書式を設定したり、日付を挿入することができます。

3 入力が終了したら、「OK」をタップする

自動的にファイル名が付けられ、ファイルが保存されます。

- 「メニュー」➡「ファイル」➡「名前を付けて保存」で任意のファイル名を付けることもできます。

ファイルを開く／閉じる

ファイルを開く

1 「スタート」➡「Office Mobile」➡「Word Mobile」

ファイル一覧が表示されます。

- 目的のファイルがない場合は、画面左上の「すべてのフォルダー▼」をタップし、フォルダーを選択します。

2 開きたいファイルをタップする

ファイルが開きます。

ファイルを閉じる

1 「OK」をタップする

ファイルが閉じます。

Word Mobileのメニュー

ファイル一覧のメニュー

項目	説明
名前の変更／移動	選択しているファイル名と保存場所を変更して保存します。
削除	選択しているファイルを削除します。
コピー作成	選択しているファイルのコピーを作成します。
すべて選択	一覧で表示されているファイルをすべて選択します。
電子メールで送信	選択しているファイルをメールに添付して送信します。
ファイルをビームする	選択しているファイルをBluetooth®通信で送信します。
オプション	テンプレート、保存先、ファイル一覧で表示するファイル形式を設定します。

編集画面のメニュー

項目		説明
元に戻す		1つ前の状態に戻します。
やり直し		「元に戻す」で取り消した操作を再度実行します。
切り取り		選択した文字列を切り取ります。
コピー		選択した文字列をコピーします。
貼り付け		切り取った文字列やコピーした文字列を貼り付けます。
編集	検索／置換	文字列を検索／置換します。
	クリア	選択した文字列を削除します。
	すべて選択	文書全体を選択します。

項目		説明
書式設定	フォント	文字書式を設定します。
	段落	段落書式を設定します。
ツール	スペルチェック	スペルチェックを行います。
	日付の挿入	カーソル位置に今日の日付を挿入します。
	オプション	テンプレート、保存先、ファイル一覧で表示するファイル形式を設定します。
ファイル	新規作成	新規作成画面を開きます。
	名前を付けて保存	開いている文書を別名で保存します。
	名前の変更／移動	作成済み文書の文書名と保存場所を変更して保存します。
	前回保存したときの状態に戻す	ファイルを開いてから行った変更をすべて取り消して、開く前の状態に戻します。
	削除	開いているファイルを削除します。
	電子メールで送信	開いているファイルをメールに添付して送信します。
	ビーム	開いているファイルをBluetooth®通信で送信します。
バージョン情報		バージョン情報を表示します。

編集画面の表示メニュー

項目	説明
ツールバー	ツールバーの表示／非表示を選択します。
ウィンドウに合わせる	スクロールバーの表示／非表示を切り替えます。
ズーム	表示の大きさを選択します（50%～200%）。

Excel Mobile

Excel Mobileは、新規でExcelファイルを作成したり、パソコンで作成したExcelファイルを閲覧／編集したりできます。

- Excel Mobileは、数式やセルコマンドなど、Microsoft Excelの機能を一部サポートしていません。パソコン用のMicrosoft Excelで作成したファイルを保存すると、一部のデータや書式が失われる場合があります。

ファイルを新規作成する

1 「スタート」➡「Office Mobile」➡「Excel Mobile」

新規入力画面が表示されます。

- すでにファイルがある場合は、ファイル一覧が表示されますので、画面左下の「新規」をタップします。

2 セルをタップし、データを入力する

- 「メニュー」をタップすると、セル・グラフ・記号・関数の挿入や、書式の設定などを行うことができます。

3 入力が終了したら、「OK」をタップする

自動的にファイル名が付けられ、ファイルが保存されます。

- 「メニュー」➡「ファイル」➡「名前を付けて保存」で任意のファイル名を付けることもできます。

ファイルを開く／閉じる

ファイルを開く

1 「スタート」➡「Office Mobile」➡「Excel Mobile」
ファイル一覧が表示されます。
- 目的のファイルがない場合は、画面上の「すべてのフォルダー▼」をタップし、フォルダーを選択します。

2 開きたいファイルをタップする
ファイルが開きます。

ファイルを閉じる

1 「OK」をタップする
ファイルが閉じます。

Excel Mobileのメニュー

ファイル一覧のメニュー

項目	説明
名前の変更／移動	選択しているファイル名と保存場所を変更して保存します。
削除	選択しているファイルを削除します。
コピー作成	選択しているファイルのコピーを作成します。
すべて選択	一覧で表示されているファイルをすべて選択します。
電子メールで送信	選択しているファイルをメールに添付して送信します。
ファイルをビームする	選択しているファイルをBluetooth®通信で送信します。
オプション	テンプレート、保存先、ファイル一覧で表示するファイル形式を設定します。

シートのメニュー

項目			説明
元に戻す			1つ前の状態に戻します。
やり直し			「元に戻す」で取り消した操作を再度実行します。
切り取り			選択した文字列を切り取ります。
コピー			選択した文字列をコピーします。
貼り付け			切り取った文字列やコピーした文字列を貼り付けます。
編集	形式を選択して貼り付け		切り取ったデータやコピーしたデータ形式を指定して貼り付けます。
	フィル		セルにデータを一括してコピーしたり、連続したデータを入力します。
	クリア	すべて	選択したセルのデータを削除します。
		書式	選択したセルの書式を削除します。
		数式と値	選択したセルの数式と値を削除します。
	セルの削除		選択したセルを削除します。
	検索／置換		文字列を検索／置換します。
	ジャンプ		指定したセルまたはアクティブセル領域を表示します。
	すべて選択		シート全体を選択します。
挿入	セル		セルを挿入します。
	グラフ		グラフを作成、挿入します。
	記号		記号を挿入します。
	関数		指定した関数を挿入します。
	名前の定義		セルやセル範囲、数式や定数に名前を付けます。

項目		説明
書式設定	セル	セルの書式を設定します。
	グラフ	選択したグラフのタイトルや表示形式を設定します。
	行	自動調整、表示しない、再表示を指定します。
	列	自動調整、表示しない、再表示を指定します。
	シートの変更	シートの表示切り替え、シート名の変更、シートの挿入／削除、位置の移動を行います。
ツール	並べ替え	並べ替えで優先させるセルを指定し、昇順／降順でセルを並べ替えます。
	オートフィルター	フィルターを使用して、必要なデータだけを抽出し、表示します。
ファイル	新規作成	新規作成画面を開きます。
	名前を付けて保存	開いているファイルを別名で保存します。
	名前の変更／移動	作成済みファイルのファイル名と保存場所を変更して保存します。
	前回保存したときの状態に戻す	ファイルを開いてから行った変更をすべて取り消して、開く前の状態に戻します。
	削除	開いているファイルを削除します。
	電子メールで送信	開いているファイルをメールに添付して送信します。
	ビーム	開いているファイルをBluetooth®通信で送信します。
バージョン情報		バージョン情報を表示します。

シートの表示メニュー

項目		説明
全画面表示		行列番号やスクロールバーを非表示にして、表示領域を大きくします。
ズーム		表示の大きさを選択します（50％ ～ 150％、および任意）。
シート		シートの表示を切り替えます。
分割（分割の解除）		ウィンドウを分割して表示します。
ウィンドウ枠の固定（ウィンドウ枠固定の解除）		列や行を固定し、表の見出しや項目名がスクロールしても常時見えるようにします（または、設定を解除する）。
ツールバー		ツールバーの表示／非表示を選択します。
ステータスバー		ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。
表示	行列番号	行番号と列番号の表示／非表示を切り替えます。
	水平スクロールバー	水平スクロールバーの表示／非表示を切り替えます。
	垂直スクロールバー	垂直スクロールバーの表示／非表示を切り替えます。

PowerPoint® Mobile

PowerPoint® Mobileは、パソコン用のMicrosoft PowerPoint®で作成したファイルを閲覧することができます。

スライドショーを見る

1 「スタート」➡「Office Mobile」➡「PowerPoint Mobile」

フォルダーやファイルの一覧が表示されます。

- 目的のファイルがない場合は、画面左上の「すべてのフォルダー▼」をタップし、フォルダーを選択します。

2 PowerPoint®のファイルをタップする

スライドショーが表示されます。

3 表示されたスライドをタップする

次のスライドが表示されます。

4 画面左下の▲をタップし、「スライドショーの終了」をタップする

ファイルが閉じます。

PowerPoint® Mobileのメニュー

ファイル一覧のメニュー

項目	説明
スライドショーの設定	スライドの表示方向や、再生方法を設定します。
名前の変更／移動	選択しているファイル名と保存場所を変更して保存します。
削除	選択しているファイルを削除します。
コピー作成	選択しているファイルのコピーを作成します。
すべて選択	一覧で表示されているファイルをすべて選択します。
電子メールで送信	選択しているファイルをメールに添付して送信します。
ファイルをビームする	選択しているファイルをBluetooth®通信で送信します。

スライドショーのメニュー

スライドショーのメニューは、画面左下の▲をタップすると表示されます。

項目	説明
次へ	次のスライドを表示します。
前へ	前のスライドを表示します。
スライドへジャンプ	選択したスライドを表示します。
目的別スライドショー	パソコンで作成した目的別スライドショーの一覧を表示します。
拡大	表示しているスライドを拡大して表示します。
縮小	拡大表示しているスライドを縮小して表示します。
スライドショーの設定	スライドの表示方向や、再生方法を設定します。
リンクの表示	リンクの表示部分にジャンプします。
名前を付けて保存	名前を付けてファイルを保存します。
スライドショーの終了	スライドショーを終了します。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

OneNote® Mobile

OneNote® Mobileは、簡単なメモを作成することができます。画像や音声を含んだメモを作成することもできます。

ファイルを新規作成する

1 「スタート」➡「Office Mobile」➡「OneNote Mobile」➡「新規作成」

作成画面が表示されます。

- すでにファイルがある場合は、ファイル一覧が表示されますので、画面左下の「新規作成」をタップします。

2 データを入力する

- 「メニュー」をタップすると、書式の設定、画像の撮影、画像やサウンドの挿入などができます。
- 挿入した画像やサウンドは文字入力パッドの←または←BSで削除できます。

3 入力が終了したら、「OK」をタップする

自動的にファイル名が付けられ、ファイルが保存されます。

- 画面左下の「完了」をタップしてもファイルを保存できます。

OneNote® Mobileのメニュー

ファイル一覧のメニュー

項目	説明
削除	選択しているファイルを削除します。
名前の変更	選択しているファイル名を変更します。
オプション	名前順または更新日順に並べ替えます。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

編集画面のメニュー

項目		説明
元に戻す		1つ前の状態に戻します。
やり直し		「元に戻す」で取り消した操作を再度実行します。
切り取り		選択した文字列を切り取ります。
コピー		選択した文字列をコピーします。
貼り付け		切り取った文字列やコピーした文字列を貼り付けます。
書式	太字	太字にします。
	斜体	斜体にします。
	下線	アンダーラインを付けます。
	取り消し線	取り消し線を付けます。
	すべてクリア	書式をクリアします。
リスト	段落番号	段落番号を自動的に付けます。
	箇条書き	箇条書きになります。
	クリア	リストの形式をクリアします。
画像撮影		カメラが起動し、画像を撮影します。
画像の挿入		画像を挿入します。
サウンドの挿入		音声を録音し挿入します。

Adobe Reader LEは、パソコン上で作成したPDFファイル（pdfファイル形式のみ）を閲覧することができます。

PDFファイルを閲覧する

1 「スタート」➡「Adobe Reader LE」

マイデバイス内のフォルダーとファイルが一覧表示されます。

2 閲覧するPDFファイルをタップする

ファイルが開きます。

■最近開いたファイルの一覧に目的のファイルがない場合

右下にある「参照」をタップします。マイデバイス内のフォルダーとファイルが一覧表示されるので、目的のファイルをタップします。

3 「メニュー」➡「終了」

ファイルを閉じて、Adobe Reader LEを終了します。

Adobe Reader LEのメニュー

閲覧画面のメニュー

項目	説明
開く	別のPDFファイルを開きます。
Adobe Readerについて	Adobe Reader LEの著作権情報とバージョン情報を表示します。
終了	ファイルを閉じて、Adobe Reader LEを終了します。

閲覧画面のツールメニュー

項目	説明
ズーム	表示の拡大／縮小方法を設定します。
移動	指定したページを表示します。

9 外部接続／通信

ワイヤレスマネージャー

電話機能や通信機能のオン／オフを切り替えることができます。

1 「スタート」➡「設定」➡「接続」➡「ワイヤレスマネージャー」

ワイヤレスマネージャーが起動します。

2 設定する項目名をタップする

「On」と「Off」は項目名をタップするたびに切り替わります。

全て	電話機能、Bluetooth®機能、ワイヤレスLAN機能のオン／オフを一括で切り替えます。
電話	電話機能のオン／オフを切り替えます。
Bluetooth	Bluetooth®機能のオン／オフを切り替えます。
Wi-Fi	ワイヤレスLAN機能のオン／オフを切り替えます。

3 「完了」をタップする

- ワイヤレスLAN機能が利用できない場合は、「利用不可」と表示されます。
- 以下の操作でワイヤレスマネージャーを起動することもできます。
  タイトルバーのローミングアイコン／データアイコン／電波アイコン（1-17ページ）をタップ➡「ワイヤレスマネージャー」

パケット通信を利用する

本機には3Gパケット通信を利用したインターネットへの接続設定があらかじめ登録されています。

- データ容量の大きいファイルやデータを送受信した場合、通信料が高額になることがありますのでご注意ください。

新しいネットワーク接続を作成する

パケット通信を利用したネットワーク接続を新規に設定する方法を説明します。

- アクセスポイント名（APN）やユーザー名、パスワードなど、接続に必要な情報は、ご利用のインターネット事業者またはネットワーク管理者にご確認ください。

1 「スタート」➡「設定」➡「ネットワーク設定」

ネットワーク設定画面が表示されます。



ネットワーク設定画面

2 「ネットワーク設定」をタップする

3 「パケット通信」➡「次へ」

4 アクセスポイント名（接続先）を入力し、「次へ」をタップする

- 半角英数字で入力してください。

5 ユーザー名を入力し、「次へ」をタップする

- 半角英数字で入力してください。

6 パスワードを入力し、「次へ」をタップする

- 半角英数字で入力してください。

7 「ドメイン」、「IPアドレス」、「サーバーアドレス」、「認証方式」の順にタップして必要な情報を入力し、「OK」をタップする

- インターネット事業者またはネットワーク管理者が指定した情報を画面の指示に従って入力してください。

8 接続名を入力し、「OK」をタップする

- 最大20文字で入力してください。

- 認証方式は、あとから以下の操作で変更できます。
  「スタート」➡「設定」➡「接続」➡「GPRS設定」➡接続先を選択➡「編集」➡「設定なし」／「CHAP」／「PAP」➡「OK」
- ダイヤルアップ接続を設定するには、3で「回線交換」を選択してください。

接続先の設定を編集する

1 ネットワーク設定画面で「ネットワーク設定変更」をタップする

2 設定内容を変更したい接続先を選択し、「編集」をタップする

3 画面の指示に従って入力されている情報を修正する

- より高度な設定が必要な場合は、ネットワーク設定画面で「詳細設定」をタップして編集するか、以下の操作で編集してください。
  「スタート」➡「設定」➡「接続」➡「接続」

設定した接続先を削除する

1 ネットワーク設定画面で「ネットワーク設定変更」をタップする

2 削除したい接続先を選択し、「削除」➡「はい」

通常使う接続先を設定する

新しいネットワーク接続を作成した場合は、インターネットや電子メールを使用するとき自動的に接続するネットワーク（アクセスポイント）を、通常使う接続先に指定しておきます。

1 ネットワーク設定画面で「ネットワーク設定変更」をタップする

2 通常使用する接続先を選択し、「デフォルト」をタップする

本機のワイヤレスLAN機能を利用して、自宅や社内ネットワークの無線アクセスポイントに接続できます。また、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Bluetooth®対応機器との電波干渉について

本機のワイヤレスLAN機能とBluetooth®対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、Bluetooth®対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. 本機とBluetooth®対応機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、Bluetooth®対応機器の電源を切ってください。

利用できるチャンネルについて

本機のワイヤレスLAN機能は1～11チャンネルの周波数帯を利用できます。

ワイヤレスLAN機能をオンにする

1 「スタート」➡「設定」➡「接続」➡「ワイヤレスマネージャー」

2 「Wi-Fi」をタップする

ワイヤレスLAN機能がオンになると、タイトルバーにが表示され、自動で近くの利用可能な無線アクセスポイントを検出します。

■接続したいアクセスポイントが検出されなかった場合

「アクセスポイントを設定する」（9-6ページ）を参照してください。

接続したいアクセスポイントが検出された場合

タイトルバーにが表示され、アクセスポイント（ネットワーク）を自動で検出したことを通知する画面が表示されます。
以下の操作でアクセスポイントに接続できます。

- 通知画面が表示されていない場合は、をタップするか、ホーム画面で「通知」をタップすると表示されます。

1 「インターネット設定（またはVPN経由）」または「社内ネットワーク設定」を選択し、「接続」をタップする

- 「複数のネットワークが検出されました」画面が表示されたら、ネットワーク（アクセスポイント）を選択して「OK」をタップしてから、この操作を行います。

2 ネットワークキーを入力し、「接続」をタップする

ワイヤレスLAN機能をオフにする

ワイヤレスLANに接続しないときは、電池の減りを防ぐため、ワイヤレスLAN機能をオフにしてください。

1 「スタート」➡「設定」➡「接続」➡「ワイヤレスマネージャー」

2 「Wi-Fi」をタップして、「Off」を表示させる

3 「完了」をタップする

- 本機の電源を切ると、ワイヤレスLAN機能がオフになります。
- 電池残量が少なくなると、ワイヤレスLAN機能の終了を通知する画面が表示され、ワイヤレスLAN機能がオフになります。「ok」をタップして通知画面を閉じて、電池パックを充電してからワイヤレスLAN機能をオンにしてください。

自動的にワイヤレスLAN機能をオフにする

アクセスポイントに未接続のまま一定時間が過ぎると、ワイヤレスLAN機能がオフになるように設定できます。

1 「スタート」➡「設定」➡「接続」➡「Wi-Fi」

2 「メニュー」➡「詳細設定」

3 「次の時間未接続の場合、Wi-Fiをオフにする」の一覧からワイヤレスLANがオフになるまでの時間を選択する

4 「保存」をタップする

ワイヤレスLAN機能の省電力設定

ワイヤレスLAN接続中に本機が自動でスリープモードにならないように設定できます。また、ワイヤレスLAN接続中にスリープモードになっても、アクセスポイントから通知を受信すると、自動的にスリープモードから復帰するように設定できます。

1 「スタート」➡「設定」➡「パワーマネージメント」➡「Wi-Fi」タブ

2 必要な項目を設定する

Wi-Fi接続時のサスペンド設定	「サスペンドしない」にチェックを付けると、ワイヤレスLAN接続中に本機がスリープモードになるのを禁止します。
WOW有効	チェックを付けると、アクセスポイントから本機宛ての通知を受信したとき自動的にスリープモードから復帰します。
Wi-Fi省電力設定	「省電力優先」／「自動優先」／「送信レート優先」から選択します。

3 「OK」をタップする

- 「スタート」➡「設定」➡「省電力設定」をタップして設定することもできます。

アクセスポイントを設定する

Wi-Fi設定画面からウィザード形式でワイヤレスLAN接続を設定できます。

- 接続に必要な情報は、お使いのワイヤレスLANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。社内ネットワークの無線アクセスポイントに接続する場合は、必要な情報をネットワーク管理者にご確認ください。
- お使いのワイヤレスLANアクセスポイントが、MACアドレスを登録している機器のみと接続するように設定されているときは、本機のMACアドレスをワイヤレスLANアクセスポイントに登録してください。MACアドレスの確認方法は、14-7ページを参照してください。

1 「スタート」➡「設定」➡「Wi-Fi設定」

Wi-Fi設定画面が表示されます。



Wi-Fi設定画面

■**アクセスポイントを編集する場合**

Wi-Fi設定画面の一覧から設定を変更したいアクセスポイントを選択し、「変更」をタップして編集を行い、「次へ」をタップします。接続名の入力画面で「OK」をタップすると、変更内容が保存され、自動的にアクセスポイントへの接続を開始します。

■**アクセスポイントを削除する場合**

Wi-Fi設定画面の一覧から削除したいアクセスポイントを選択し、「削除」➡「はい」をタップします。

2 「新規作成」➡「一覧更新」

ワイヤレスLAN機能がオンになります。利用可能な無線アクセスポイントが自動で検出されて、一覧に表示されます。

3 一覧から接続先(ネットワーク)を選択するか、SSID(ネットワーク名)を入力し、「次へ」をタップする

- SSIDは最大32文字の半角英数字で入力してください。

4 セキュリティの種類と暗号化の種類を選択し、「次へ」をタップする

- 選択したセキュリティの種類と暗号化の種類の組み合わせにより、**5**を省略して、**6**に進みます。

5 ネットワークキーを入力してキーインデックスを選択し、「次へ」をタップする

6 接続名を入力し、「OK」をタップする

- 接続名は最大35文字（¥ / : * ? " < > | は使用不可）で入力してください。

設定を保存すると、自動的に登録したアクセスポイントへの接続を開始します。

- 「スタート」➡「設定」➡「接続」➡「Wi-Fi」➡「ワイヤレス」タブ➡「メニュー」➡「新しい設定の追加」をタップして設定することもできます。

アクセスポイントの優先順位を変更する

1 **Wi-Fi設定画面の一覧から優先順位を変更したいアクセスポイントを選択し、[↑]／[↓]をタップする**

ホームアクセスポイントを設定する

WOW（Wake On Wireless）の対象アクセスポイントを設定します。ワイヤレスLAN機能の省電力設定で「WOW有効」にチェックを付けておくと（9-5ページ）、スリープモード中にネットワークから通知を受信したとき自動的にスリープモードから復帰します。

1 **Wi-Fi設定画面の一覧からホームに設定したいアクセスポイントを選択し、「Home AP」をタップする**

ホームアクセスポイントに[ホーム]が表示されます。

アクセスポイントを指定して接続する

1 **Wi-Fi設定画面（9-6ページ）で接続したいアクセスポイントを選択し、「接続」をタップする**

接続中のアクセスポイントに[接続中]が表示されます。

接続を切断する

1 **Wi-Fi設定画面（9-6ページ）で「切断」をタップする**

ネットワークアダプタの情報を設定する

ワイヤレスLAN接続に使用するネットワークアダプタの情報（IPアドレスやDNSサーバーアドレスなど）を設定します。

1 **「スタート」➡「設定」➡「接続」➡「Wi-Fi」➡「ネットワークアダプター」タブ**

2 **ネットワークカードの接続先として「インターネット設定」または「社内ネットワーク設定」を選択する**

3 **「AR6000 WLAN Adapter SD」をタップする**

4 **「サーバー割り当てのIPアドレスを使用する」または「指定したIPアドレスを使用する」を選択する**

- 「指定したIPアドレスを使用する」を選択した場合、ネットワーク管理者が指定したIPアドレスなどを入力します。
- 必要に応じて「ネームサーバー」タブをタップして、DNSサーバーのアドレスなどを入力します。

5 **「OK」をタップする**

本機のBluetooth®機能を利用して、近くにあるBluetooth®対応機器と無線でデータをやりとりできます。Bluetooth®対応イヤホンマイクやワイヤレスヘッドセットと接続すると、ハンズフリーで通話したりワイヤレスで音楽を聴いたりできます。

- ActiveSyncを利用したパソコンとの同期も行えます。「Bluetooth®通信で同期する」（7-7ページ）を参照してください。
- Bluetooth®対応バージョンやプロファイルについては、16-16ページを参照してください。
- 設定や操作方法については、接続するBluetooth®対応機器の取扱説明書もご覧ください。
- 本機と市販されているすべてのBluetooth®対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

Bluetooth®機能使用時のご注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. 本機とほかのBluetooth®対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. ほかの機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

ワイヤレスLAN対応機器との電波干渉について

本機のBluetooth®機能とワイヤレスLAN対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、ワイヤレスLAN対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. 本機とワイヤレスLAN対応機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、ワイヤレスLAN対応機器の電源を切ってください。

Bluetooth®機能のモードについて

Bluetooth®機能には以下の3種類のモードがあります。

オン	登録されているBluetooth®対応機器に接続できます。また、本機から通信範囲内にあるBluetooth®対応機器を検出できます。
オフ	Bluetooth®機能をオフにします。
検出可能	Bluetooth®機能がオンのときに実行できるモードで、通信範囲内にあるBluetooth®対応機器から本機を検出可能な状態にします。

Bluetoothパスコードについて

Bluetoothパスコードは、接続するBluetooth®対応機器どうしがはじめて通信するとき、相手機器を確認して、お互いに接続を許可するための認証用コードです。送信側／受信側とも同一のパスコードを入力する必要があります。

Bluetooth®機能をオンにする

1 「スタート」➡「設定」➡「Bluetooth」➡「モード」タブ

2 「Bluetoothをオンにする」にチェックを付ける

- チェックを外すとオフに設定できます。

■本機を検出可能モードにする場合

「このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする」にチェックを付けます。

3 「OK」をタップする

- Bluetooth®通信で接続しないときは、電池の減りを防ぐため、Bluetooth®機能をオフにしてください。
- Bluetooth®機能のオン／オフ設定は、電源を切っても変更されません。
- Bluetooth®機能は本機の電源を切った状態では使用できません。
- ワイヤレスマネージャーでオン／オフまたは検出可能／オフを切り替えることもできます（9-2ページ）。

パートナーシップを確立する

本機と相手機器との間で安全にデータのやりとりが行えるように、パートナーシップを確立します。

- あらかじめ本機のBluetooth®機能をオンにしてください（左記）。

1 「スタート」➡「設定」➡「Bluetooth」➡「デバイス」タブ

2 「新しいデバイスの追加」をタップする

検索に応答した機器が表示されます。

3 一覧から接続する相手機器を選択し、「次へ」をタップする

4 パスコードを入力し、「次へ」をタップする

- パスコードは半角英数字で入力してください。

5 相手機器側でパートナーシップを受け入れる操作を行う

- 本機で入力したのと同じパスコードを入力してください。

6 「デバイスが追加されました」画面が表示されたら、「完了」をタップする

7 Bluetooth®画面で相手機器をタップする

「パートナーシップの設定」画面が表示されます。

8 使用したいサービスにチェックを付け、「保存」をタップする

相手機器からのパートナーシップ要求を受け入れる

- あらかじめ本機のBluetooth®機能を検出可能モードにしてください（左記）。

1 接続要求されていることを通知する画面が表示されたら、「はい」をタップする

2 パスコードを入力し、「次へ」をタップする

3 「デバイスが追加されました」画面が表示されたら、「完了」をタップする

パートナーシップを削除する

1 「スタート」➡「設定」➡「Bluetooth」➡「デバイス」タブ

2 削除したい相手機器を1秒以上タップする

ポップアップメニューが表示されます。

3 「削除」➡「はい」

ビームでデータを送受信する

ビーム受信を設定する

Bluetooth®通信で送られてきたデータを本機で受信するように設定します。

1 「スタート」➡「設定」➡「接続」➡「ビーム」

2 「すべての着信ビームを受信する」にチェックを付け、「OK」をタップする

ビームでデータを受信する

- あらかじめ本機のBluetooth®機能を検出可能モードにしてください（9-9ページ）。

1 データの受信を通知する画面で「はい」をタップする

- 通知画面が表示されていない場合は、•⊙をタップするか、ホーム画面で「通知」をタップすると表示されます。

ビームでデータを送信する

連絡先、予定表、仕事などのデータや、静止画、動画などのファイルを、ほかのBluetooth®対応のパソコンなどに送信できます。

例：連絡先をビームで送信する

1 送信したい連絡先を選択し、「メニュー」をタップする

2 「連絡先の送信」➡「ビーム」

3 デバイスの一覧から受信側の相手機器をタップする

VPNを利用する

VPN（Virtual Private Network）は、インターネット経由で自宅のパソコンや社内ネットワーク（イントラネット）へ安全にアクセスするための接続方法です。公衆網であるインターネット上に仮想的な専用回線を用意し、暗号化したデータを送受信することで、第三者によるデータの盗聴や改ざんなどを防ぎます。

- ホスト名またはIPアドレス、VPNの種類、ユーザー名、パスワードなど、接続に必要な情報は、ネットワーク管理者にご確認ください。

1 「スタート」➡「設定」➡「接続」➡「接続」

2 「既定の社内ネットワーク設定」の「新しいVPNサーバー接続の追加」をタップする

3 必要な情報を入力する

- 名前（一覧に表示する接続名）とホスト名／IPを入力し、VPNの種類を選択したら「次へ」をタップして、以降の画面で必要な情報を入力してください。
- IPアドレスやDNSサーバーアドレスを手動で入力する場合は、「詳細設定」をタップして入力し、「OK」をタップしてください。

4 「完了」をタップする

ドメインへの登録

本機を会社のドメインに登録して、社内ネットワーク管理者が本機を管理できるように設定できます。

- 登録に必要な情報は、ネットワーク管理者にご確認ください。

1 「スタート」➡「設定」➡「接続」➡「ドメインへの登録」

2 「登録」をタップする

3 画面の指示に従って情報を入力する

10 データ管理

エクスプローラー

エクスプローラーを使って、本体やメモリカードに保存されたファイルの確認や整理ができます。

エクスプローラーを起動する

1 「スタート」➡「エクスプローラー」

エクスプローラーが起動し、フォルダーとファイルの一覧が表示されます。



エクスプローラー画面

①表示中の階層より上位の階層を表示します。
②フォルダーやファイルをタップして開きます。
③1つ上の階層に移動します。
④並べ替えの条件を指定して、フォルダーとファイルを並べ替えます。
⑤エクスプローラーのメニューを表示します。

- エクスプローラーを使うとWindowsのシステムファイルなども表示できますが、誤ってそれらのファイルを削除したり移動すると、正常に動作しなくなる可能性がありますのでご注意ください。
- ファイルをタップしても開かない場合は、対応するプログラムを起動し、プログラムからファイルを開いてください。

フォルダーやファイルを操作する

新規フォルダーを作成する

1 エクスプローラー画面で「メニュー」➡「新しいフォルダー」

「新しいフォルダー」が作成されます。

2 フォルダー名を入力する

フォルダー名やファイル名を変更する

1 エクスプローラー画面で名前を変更したいフォルダーまたはファイルを1秒以上タップする

ポップアップメニューが表示されます。

2 「名前の変更」をタップする

3 新しい名前を入力する

10 データ管理

フォルダーやファイルを削除する

- 削除したファイルは元に戻せません（削除の取り消しはできません）。

1 エクスプローラー画面で削除したいフォルダーまたはファイルを1秒以上タップする

ポップアップメニューが表示されます。

2 「削除」をタップする

確認画面が表示されます。

3 「はい」をタップする

フォルダーやファイルをコピー／移動する

1 エクスプローラー画面でコピー／移動したいフォルダーまたはファイルを1秒以上タップする

ポップアップメニューが表示されます。

2 「コピー」または「切り取り」をタップする

3 コピー先または移動先のフォルダーを開く

4 画面下部の空きスペース（ファイルやフォルダーが表示されていない部分）を1秒以上タップする

ポップアップメニューが表示されます。

5 「貼り付け」をタップする

エクスプローラーのメニュー

エクスプローラー画面で「メニュー」をタップすると、以下の機能を利用できます。

項目		説明
移動	My Documents	My Documentsに含まれるフォルダーとファイルの一覧を表示します。
	マイデバイス	マイデバイスに含まれるフォルダーとファイルの一覧を表示します。
	フォルダー	フォルダーの階層を選択します。
	パスを開く	パスを入力してネットワーク上の共有フォルダーを開くことができます。一度入力したパスは、履歴から選択して開くことができます。
最新の情報に更新		最新の状態に更新します。
すべてのファイルを表示		チェックを付けると、隠しファイルを含め、すべてのファイルを表示します。
並べ替え		指定した条件（名前、日付、サイズ、種類）でフォルダーとファイルを並べ替えます。
送信		選択したファイルを電子メールに添付して送信します。
ファイルをビームする		選択したファイルをBluetooth®通信で送信します。
新しいフォルダー		新規フォルダーを作成します。
名前の変更		フォルダー名やファイル名を変更します。
削除		フォルダーやファイルを削除します。
編集	元に戻す	直前に行った操作を取り消します。
	切り取り	フォルダーやファイルを切り取ります。
	コピー	フォルダーやファイルをコピーします。
	貼り付け	コピーまたは切り取ったフォルダーやファイルを貼り付けます。
	ショートカットの貼り付け	コピーしたフォルダーやファイルのショートカットを貼り付けます。
	すべて選択	フォルダーやファイルをすべて選択します。

メモリカード

本機にメモリカードを取り付けて使用することができます。

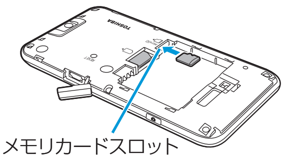
- 本書では、microSDメモリカード／microSDHCメモリカードを「メモリカード」と記載しています。
- 電池残量が少ないとファイルの読み込みや書き込みができない場合があります。
- 本機では、記憶容量が2Gバイトまでの microSDメモリカードと16Gバイトまでの microSDHCメモリカードに対応しています（2009年11月現在）が、市販されているすべてのメモリカードの動作を保証するものではありません。
- メモリカードのデータにアクセスしているときに、本機の電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データ消失もしくはメモリカードが故障する原因になります。
- メモリカード内のデータは誤った使いかたをしたり、事故や故障によって変化・消失する場合があります。大切なデータはバックアップを取っておかれることをおすすめします。
- メモリカードに新たにラベルやシールを貼らないでください。

メモリカードを取り付ける／取り外す

メモリカードの取り付け／取り外しは、本機の電源を切り、外部接続端子キャップを開けて電池カバーと電池パックを取り外してから行います（1-10ページ）。

メモリカードを取り付ける

1 メモリカードの金属端子面を下にして、図の向きでメモリカードスロットにロックするまで差し込む

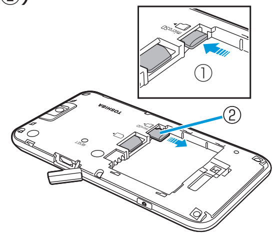


メモリカードを取り外す

1 メモリカードを軽く押しこんでから（①）離す

メモリカードが少し飛び出します。

2 メモリカードをまっすぐ引き出す（②）



USBホスト機能について

メモリカード内のデータにアクセスする

1 「スタート」➡「エクスプローラー」

エクスプローラーが起動します。

2 画面左上の▼をタップする

プルダウンメニューが表示されます。

3 プルダウンメニューの「Storage Card」をタップする

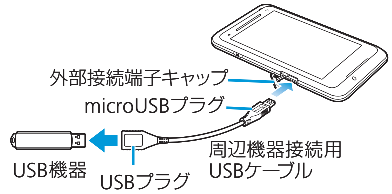
メモリカード内のファイルやフォルダーが表示されます。

- USB接続の設定をマスストレージモード（14-5ページ）にして、本機とパソコンをPC接続用USBケーブルで接続しているときは、本機からメモリカードにアクセスできません。

本機にはUSBホスト機能が搭載されています。付属の周辺機器接続用USBケーブルを外部接続端子に接続することで、市販のUSB機器を利用することができます。

- USBホスト機能を使用する前に電池パックを充電してください。電池残量が少ないとUSBホスト機能を起動できません。
- USBホスト機能使用中に電池残量が少なくなると、USBホスト機能の停止を予告するメッセージが表示されます。さらに電池残量が少なくなると、USBホスト機能の停止を通知するメッセージが表示され、USBホスト機能が停止します。周辺機器接続用USBケーブルを抜いて充電してください。
- 100mAを超える電流を必要とするUSB機器には接続しないでください。USBホスト機能が正常に機能しないことがあります。

USB機器を接続する



1 本機の外部接続端子キャップを開け、周辺機器接続用USBケーブルのmicroUSBプラグを差し込む

- microUSBプラグは、刻印がある面を上にして水平に差し込みます。

2 周辺機器接続用USBケーブルのUSBプラグにUSB機器を差し込む

10

データ管理

USB機器内のデータにアクセスする

1 「スタート」➡「エクスプローラー」

エクスプローラーが起動します。

2 「マイデバイス」の一覧画面を表示する

- 「マイデバイス」以外の階層が表示されている場合は、画面左上の▼をタップして、「マイデバイス」を選択します。

3 「ハードディスク」をタップする

接続したUSB機器内のファイルやフォルダーが表示されます。

検索

My Documentsやメモリカード内に保存されたファイルの名前や、予定表、連絡先、仕事、メモなどのデータやヘルプに含まれる文字列を検索できます。

1 「スタート」➡「検索」

検索画面が表示されます。

2 検索したい文字列を入力する

ファイル名や、電子メール、予定表などのデータに含まれる文字列を入力します。

3 「種類」の右にある▼をタップして、検索したいデータの種類を選択する

4 メニューバーの「検索」をタップする

検索結果が表示されます。

5 参照したいファイルやデータをタップする

ファイルやデータが開きます。

- データによっては、その中に含まれる文字列が検索されないものがあります。
- 「検索」の右にある▼をタップすると、以前入力した文字列の履歴が表示されます。再検索する場合や、文字列を一部変更して再検索する場合に利用できます。

Microsoft® My Phone

Microsoft® My Phoneは、マイクロソフト社が無償で提供する携帯電話向けオンラインデータ保存サービスです。連絡先、予定、画像、文書、音楽、動画といったデータを簡単にオンラインサービス上に保存できるサービスです。

サービスの利用を開始する

1 「スタート」➡「Microsoft My Phone」

サービスの利用を確認するメッセージが表示されます。

2 「次へ」をタップする

プライバシーに関する声明とサービス利用規約へのリンクが表示されます。

3 「承諾」をタップする

4 Windows Live™ IDとパスワードを入力し、「パスワードを保存する」にチェックを付け、「サインイン」をタップする

- Windows Live™ IDを取得していない場合は、「Windows Live IDの新規作成」をタップし、画面の指示に従ってWindows Live™ IDを取得してください。

5 「次へ」➡「自動」➡「次へ」

My Phoneサービスが正常に構成されたことを知らせるメッセージが表示されます。

6 「完了」をタップする

データの同期（初回はMicrosoft® My Phoneサービスサイトへのデータのバックアップ）が始まります。

- 更新プログラムのインストールを求めるメッセージが表示されたら「はい」をタップし、画面の指示に従ってインストールしてください。

- 5で「手動」を選択した場合、バックアップ（同期）したいデータの種類にチェックを付け、「次へ」➡「完了」➡「同期」をタップしてバックアップを行います。
- ActiveSyncを利用して、Microsoft Exchange Serverと同期する設定をしている場合、Microsoft® My Phoneでは連絡先、予定、仕事が同期されません。
- Windows Live™の連絡先は、Windows Live™との間で同期されます。その他の連絡先はMicrosoft® My Phoneとの間で同期されます。
- USIMカードに保存した連絡先は同期されません。
- 本機のMy Documents以外に保存されたドキュメントファイルは同期されません。

バックアップするデータを設定する

1 「スタート」➡「Microsoft My Phone」

2 「メニュー」➡「同期のオプション」

3 バックアップ（同期）したいデータの種類にチェックを付け、「完了」をタップする

11 カメラ

本機に内蔵されているカメラを使って、静止画や動画を撮影できます。撮影した静止画／動画は、マイピクチャフォルダー／マイビデオフォルダーに保存され、「画像とビデオ」（11-5ページ）などで閲覧できます。また、保存先をメモリカードに設定することもできます（11-3ページ）。

カメラの利用にあたって

撮影するときのご注意

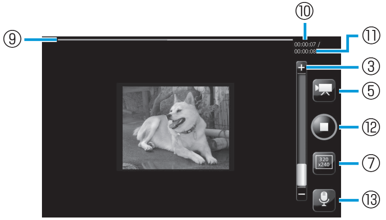
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見えたり、暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が不足している場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が出ることがありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影するときは、本機が動かないようにしっかり手に持って撮影してください。撮影時に本機が動くと、撮影画像がぶれる原因になります。
- 撮影するときは、レンズに指や髪などがかからないようにしてください。
- カメラ利用時は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行った場合、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のシャッター音や動画撮影の開始音、終了音は鳴りますのでご注意ください。

カメラ機能について

撮影画面の見かた



撮影画面



録画中画面

撮影画面のアイコンをタップすると、設定を変更できます。

①**メニュー**

撮影モード	撮影モードを設定します（右記）。
画像とビデオ	保存した静止画／動画を閲覧したり、削除したりします。
設定	撮影モードごとにオプション設定を行います（右記）。
ヘルプ	カメラのヘルプを表示します。
バージョン情報	カメラの情報を表示します。
終了	カメラを終了します。

②**カメラ終了**

③**ズームバー**：スライダーを上下になぞって倍率を変更します。
撮影モードや解像度によって選択できる倍率が異なります。

サイズ320×240	最大ズーム倍率約6.4倍（23段階）（ビデオモードは最大ズーム倍率約2.1倍（10段階））
サイズ640×480	最大ズーム倍率約3.2倍（12段階）（ビデオモードはズーム不可）
サイズ1280×960	最大ズーム倍率約1.6倍（7段階）
サイズ1600×1200	最大ズーム倍率約1.2倍（4段階）
サイズ2048×1536	ズーム不可

④**縦横切り替え**：モーションセンサー設定の縦横切替えが有効のときは表示されません（1-24ページ）。
ビデオモードは縦画面で撮影できません。

⑤**撮影モード**

通常	通常の静止画を撮影します。
ビデオ	動画を撮影します。
連写	1回のシャッターで9枚連続の静止画を撮影します。
タイマ	タイマー作動後にシャッターが切れます。

⑥**シャッター**

⑦**解像度**：撮影するサイズを表示します（右記）。

⑧**オートフォーカス（通常／連写／タイマモード）**：
白（調整中）／緑（成功）／赤（失敗）

⑨**プログレスバー**：録画経過が赤で表示されます。

⑩**録画時間**

⑪**録画可能時間**

⑫**録画停止**

⑬**オーディオ**：音声録音の有効／無効を表示します。

カメラのオプションを設定する

静止画や動画を撮影する前に、撮影モードごとにカメラのオプションを設定します。

1 **「スタート」→「カメラ」→ →「設定」**

2 **必要な項目を設定し、「OK」をタップする**

「基本設定」タブ	**保存先**	撮影した静止画／動画の保存先を「本体」／「SDカード」から選択します。
	撮影後にプレビューする	撮影後、静止画／動画のプレビュー表示の有効／無効を設定します。
「フォト」タブ	**フォーマット**	jpg固定となります。
	画質	静止画の画質を「エコノミー」／「ノーマル」／「ファイン」から選択します。
	解像度（通常、タイマ）	撮影するサイズを「320×240」／「640×480」／「1280×960」／「1600×1200」／「2048×1536」から選択します。

「フォト」タブ	解像度（連写）	撮影するサイズを「640×480」／「2048×1536」から選択します。
	セルフタイマ	自動でシャッターが切れるまでの時間を「5秒」／「10秒」／「15秒」から選択します。
「ビデオ」タブ	フォーマット	録画データのフォーマット形式を「3gp」／「mp4」から選択します。
	画質	動画の画質を「エコノミー」／「ノーマル」／「ファイン」から選択します。
	解像度	撮影するサイズを「320×240」／「640×480」から選択します。
	撮影制限時間	録画の制限時間を「15秒」／「30秒」／「10分」から選択します。
	撮影時の音声録音	音声録音の有効／無効を設定します。

静止画を撮影する

1 **を1秒以上押す**

- 「スタート」➡「カメラ」をタップしてもカメラを起動できます。

2 **撮影モードアイコンをタップして、（通常）に切り替える**

3 **被写体にカメラを向ける➡**

ピントが合うとオートフォーカスアイコンが緑色に変わります。

4 **／**

シャッター音が鳴り、撮影した静止画がプレビュー表示されます。

- 静止画を削除する場合は、➡OKまたは➡「削除」➡OKをタップします。
- 「撮影後にプレビューする」（11-3ページ）を無効にしている場合は、プレビュー表示されずに自動保存されます。
- ➡「S!メール送信」／「電子メール送信」をタップすると、撮影した静止画をメールに添付できます。

5 **OK／**

撮影した静止画が保存されます。

- 撮影した静止画はJPEG形式で保存されます。
- カメラを起動した状態で約1分間何も操作をしないと、カメラは終了します。

動画を撮影する

1 **を1秒以上押す**

- 「スタート」➡「カメラ」をタップしてもカメラを起動できます。

2 **撮影モードアイコンをタップして、（ビデオ）に切り替える**

3 **被写体にカメラを向ける➡／**

開始音が鳴り、動画撮影が始まります。

4 **撮影を停止するときは、／**

終了音が鳴り、撮影した動画がプレビュー表示されます。

- 動画を削除する場合は、➡OKまたは➡「削除」➡OKをタップします。
- 「撮影後にプレビューする」（11-3ページ）を無効にしている場合は、プレビュー表示されずに自動保存されます。
- ➡「再生」をタップすると、撮影した動画を確認できます。
- ➡「S!メール送信」／「電子メール送信」をタップすると、撮影した動画をメールに添付できます。

5 **OK／**

撮影した動画が保存されます。

- 動画を撮影する前に、メモリに十分な空きがあることを確認してください。
- カメラを起動した状態で約1分間何も操作をしないと、カメラは終了します。

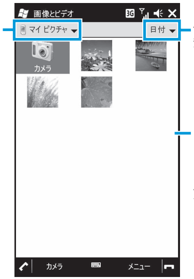
静止画や動画を整理する

「画像とビデオ」を利用して、本機やメモリカードに保存されている静止画や動画を閲覧したり、整理したりできます。
本機が対応しているファイルの種類と拡張子は以下のとおりです。

種類	拡張子
画像	bmp、gif、jpg、png、tiff
ビデオ	3gp、mp4、wmv

1 **「スタート」➡「画像とビデオ」**

「マイピクチャ」フォルダーのファイル一覧が表示されます。



画像とビデオのメニュー

静止画／動画の一覧でファイルを選択しているとき

項目		説明
送信		選択中の静止画／動画が添付された新規メールを作成します。
ビーム		選択中の静止画／動画を、Bluetooth®通信で送信します。
連絡先に保存※		選択中の静止画を連絡先に登録します。
削除		選択中の静止画／動画を削除します。
編集	切り取り	選択中の静止画／動画を切り取ります。
	コピー	選択中の静止画／動画をコピーします。
	貼り付け	コピーまたは切り取った静止画／動画を貼り付けます。
	新しいフォルダー	新規フォルダーを作成します。
スライドショーの再生※		フォルダー内の静止画をスライドショーで表示します。 ・再生中に画面をタップすると、以下の操作アイコンが表示されます。 ↶：表示の回転 ▷／⏸：再開／一時停止 ⏮／⏭：前の静止画を表示／次の静止画を表示 ⊗：終了
［Today］の背景に設定する※		選択中の静止画をスタートメニューとホーム画面の背景イメージに設定します。
移動	マイピクチャ	マイピクチャフォルダーが表示されます。
	マイデバイス	マイデバイスフォルダーが表示されます。
	フォルダー	閲覧するフォルダーを選択します。

項目		説明
ツール	プロパティ	静止画のプロパティを表示します。
	並べ替え	名前／日付／サイズ順に並べ替えます。
	オプションの表示	静止画をメールに添付するときの画像サイズや回転するときの方向の設定、スライドショー再生時の設定をします。
S!メールの送信		静止画をメールに添付して送信します。

※静止画を選択しているときのみ利用できます。

静止画を表示しているとき

項目		説明
ズーム		選択中の静止画をズーム表示します。
スライドショーの再生		フォルダー内の静止画をスライドショーで表示します。
[Today] の背景に設定する		選択中の静止画をスタートメニューとホーム画面の背景イメージに設定します。
画像のビーム		選択中の静止画をBluetooth®通信で送信します。
保存	連絡先に保存	選択中の静止画を連絡先に登録します。
	名前を付けて保存	選択中の静止画を別の名前を付けて保存します。
編集		静止画を編集します。
プロパティ		静止画のプロパティを表示します。
オプション		静止画をメールに添付するときの画像サイズや回転するときの方向の設定、スライドショー再生時の設定をします。
S!メールの送信		静止画をメールに添付して送信します。

動画の画質を設定する

動画再生時に、高画質化エンジンを使用するかどうかを設定します。

1 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「動画質設定」

動画質設定画面が表示されます。

2 「鮮やか」／「自然」／「Off」➡「OK」

12 エンタテイメント

音楽／動画再生について

本機では以下のマルチメディア機能が利用できます。

機能	説明
Windows Media® Player Mobile	音楽／動画を再生できます。パソコンのWindows Media® Playerのライブラリと音楽／動画を同期することもできます。
Kinoma Play	本機に保存してある写真や音楽、動画を再生したり、写真や音楽、動画サイトを楽しめます。
PhotoBase	本機で撮影した静止画をトリミングしたり、フレームを貼り付けたりできます。
VideoEditor	本機で撮影した静止画／動画でフォトムービーやストーリーボードを作成できます。

- マナーモード設定中は、各プレイヤーを利用して音楽や映像を再生しても音は鳴りません。

Windows Media® Player Mobile

Windows Media® Playerを使って音楽や動画を再生することができます。

- 本機のデータ記憶用メモリの空き容量がなくなると、Windows Media® Playerを起動できません。メモリ使用量を確認し、本機のデータ記憶用メモリの空き容量を確保してください（14-10ページ）。

再生できるファイル形式

Windows Media® Playerで再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、楽曲／動画によっては再生できるファイル形式であっても再生できない場合があります。

●音楽ファイル

ファイル形式／コーデック	拡張子
Windows Media Audio	wma
MP3	mp3
AAC	aac、mp4、m4a、3gp

●動画ファイル

ファイル形式／コーデック	拡張子
Windows Media Video	wmv、asf
MPEG-4 Simple Profile	mp4
H.264	mp4、3gp、3g2、m4v

Windows Media® Playerを開く

1 「スタート」➡「Windows Media」➡「メニュー」➡「ライブラリ」

ライブラリ画面が表示されます。

2 カテゴリ（「マイミュージック」／「マイビデオ」／「マイテレビ」／「再生リスト」）をタップし、再生したいアイテムをタップする

- 保存したファイルが表示されない場合は、「メニュー」➡「ライブラリの更新」をタップします。

3 「再生」をタップする

再生画面が表示され、楽曲／動画の再生が始まります。

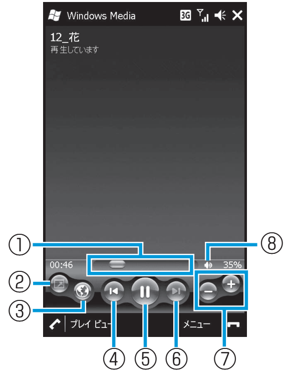
画面とメニュー

Windows Media® Playerには、以下の3種類の初期画面があります。

初期画面	説明
再生画面	再生コントロール（再生／一時停止、次へ、前へ、音量など）とビデオウィンドウが表示される最初の画面です。
プレイビュー画面	再生中のファイルおよび再生リストを一覧表示します。
ライブラリ画面	この画面で楽曲や動画を選択して、再生します。楽曲／動画は、マイミュージック、マイビデオなどのカテゴリに分類されています。

再生画面の操作

再生画面では、以下の操作が行えます。



①再生の進行状況を表示します。スライダーを動かして、任意の位置から再生できます。
②動画を全画面表示します。
③WindowsMedia.comのホームページへ接続します。
④再生中のファイルの先頭、または前のファイルを再生します。
⑤ファイルを再生／一時停止します。
⑥次のファイルを再生します。
⑦音量を調節します。
⑧音量のオン／オフを切り替えます。

ライセンス保護されたファイルについて

保護されたファイルをパソコンから本機にコピーする場合、パソコンのWindows Media® Playerを使って本機と同期させてください。同期により保護されたファイルは、ライセンスとともにコピーされます。ファイルの同期について詳しくは、パソコンのWindows Media® Playerのヘルプをご覧ください。

パソコンのライブラリと同期する

Windows Media® Playerのライブラリとパソコンの楽曲／動画を同期させることができます。

- ライセンス保護された楽曲／動画は、著作権情報とともに本機にコピーされます。
- あらかじめ、ActiveSync（7-3ページ）またはWindows Mobile®デバイスセンター（7-5ページ）で本機とパソコンの同期の設定を行っておく必要があります。
- あらかじめUSB接続の設定をActive Syncモードにしてください（14-5ページ）。

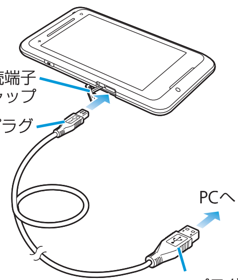
同期を行うには、パソコンのWindows Media® Playerのバージョン10以降が必要です。

同期の準備／ライブラリの同期

例：パソコン側がWindows Media® Player11の場合

1 本機の外部接続端子キャップを開け、付属のPC接続用USBケーブルを使用して、本機をパソコンに接続する

- PC接続用USBケーブルのmicroUSBプラグは、刻印がある面を上にして本機の外部接続端子に水平に差し込みます。
- PC接続用USBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに直接接続してください。USBハブやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。



2 パソコンのWindows Media® Playerを起動する

はじめて本機と同期させるときは、デバイスの設定画面が表示されます。

3 パソコンのWindows Media® Player 同期 タブをクリックする

4 同期させる楽曲をライブラリからデバイス側にドラッグアンドドロップする



5 同期の開始(S) をクリックする

ライブラリの同期が始まります。

12 エンタテイメント

本機に取り付けたメモリカードとの同期

例：パソコン側がWindows Media® Player11の場合

1 パソコンのWindows Media® Playerで、 次のデバイス をクリックする

以降の操作は、「同期の準備／ライブラリの同期」（12-4ページ）の4以降を参照してください。



- パソコンのWindows Media® Playerの使用方法については、Windows Media® Playerのヘルプを参照してください。

プレイビューを使って再生する

再生したい順番に楽曲／動画をプレイビュー（再生待ちリスト）に登録することができます。

- プレイビューは一時的なリストのため、Windows Media® Playerを終了すると、内容が消去されます。必要に応じて再生リストに登録することをおすすめします。

プレイビューに登録する

1 「スタート」➡「Windows Media」➡「メニュー」➡「ライブラリ」

ライブラリ画面が表示されます。

2 カテゴリ（「マイミュージック」／「マイビデオ」／「マイテレビ」／「再生リスト」）をタップし、登録したい楽曲／動画を選択する

3 「メニュー」➡「再生待ちに追加」

プレイビューに登録されます。
登録したい楽曲／動画の数だけ操作を繰り返します。

プレイビューから再生する

1 ライブラリ画面➡「プレイビュー」➡「再生」

楽曲／動画の再生が始まります。

再生リストを使って再生する

ここでは、プレイビューから再生リストを作成／再生する操作を説明します。

再生リストを作成する

1 プレイビューに楽曲／動画を登録する

詳しくは、「プレイビューに登録する」（左記）を参照してください。

2 「プレイビュー」➡「メニュー」➡「再生リストの保存」

3 再生リスト名を入力し、「終了」をタップする

再生リストを使って楽曲／動画を再生する

1 ライブラリ画面➡「再生リスト」

2 再生リストを選択し、「再生」をタップする

再生リストの再生が始まります。

Kinoma Play

Kinoma Playは、本機に保存してある写真や音楽、動画などを簡単に再生できたり、ポッドキャストやRSSリーダーに登録したサイトの最新情報を取得できるマルチメディアブラウザです。

1 「スタート」➡「Kinoma Play」

- 初回起動時は使用許諾契約書をお読みになったうえで、「同意する」にチェックを付け、「アクティベート」をタップします。

以降は画面の指示に従って操作します。

- 初回起動時およびポッドキャストやRSSリーダーの更新、YouTubeのご利用やアプリダウンロードを行う場合には、別途パケット通信料が発生します。

PhotoBase

本機で撮影した静止画のトリミングやコントラスト調整をしたり、フレームを貼り付けたりすることができます。

1 「スタート」➡「PhotoBase」

「マイピクチャ」フォルダーのファイル一覧が表示されます。

2 **編集したい静止画をタップしたままにしてから離す**

- 静止画を表示中に画面を左右になぞると、前後の静止画に切り替わります。

3 **静止画を編集し、✔➡✔をタップする**

／ズーム	静止画を縮小／拡大して表示します。
戻る	前の画面に戻ります。
スライドショー	フォルダー内の静止画をスライドショーで再生します。
詳細設定	：静止画をトリミングします。 ：静止画を回転／反転して表示します。 ：静止画の解像度をMMS／QVGA／VGA／カスタムから選択します。 ：静止画のコントラストを調整します。 ：静止画にフレームを貼り付けます。
メール送信	編集した静止画をメールで送信します。
プロパティ	静止画のプロパティを表示します。
決定または保存	選択／編集した内容を決定または保存します。
削除	静止画を削除します。

VideoEditor

本機で撮影した静止画を組み合わせてフォトムービーを作成したり、撮影した動画に音楽や音声、字幕などを追加したりできます。編集したファイルはYouTubeで公開することができます。

1 「スタート」➡「VideoEditor」

2 「ビデオの編集」／「フォトムービーの作成」／「ストーリーボードの作成」をタップする

3 静止画／動画を選択し、編集する

4 「保存」をタップする

ゲーム

Bubble Breaker、ソリティアの2種類のゲームがあらかじめインストールされています。

Bubble Breaker

隣り合う同じ色のバブル（シャボン玉）を数多く消していくゲームです。一度にたくさんのバブルを消すと、高得点が得られます。

1 「スタート」➡「ゲーム」➡「Bubble Breaker」

- 「メニュー」➡「オプション」をタップして、サウンドの有効／無効、ゲームのスタイルなどを設定できます。

ソリティア

裏向きに積み重ねられたトランプの山からカードをめくり、同じ種類のカードをAからKまで並べていくゲームです。

1 「スタート」➡「ゲーム」➡「ソリティア」

- 「メニュー」➡「オプション」をタップして、ゲームのルールやカードの模様を変更できます。

13

セキュリティ

本機を操作しない状態が一定時間続いたときに、画面のタップやボタン操作ができないように自動的にロックします。デバイスロック中でも電話を受けたり、メールを受信したりできます。

ロックを解除するには

[ロック]を左右になぞります。

デバイスロックにパスワードを設定する

1. 「スタート」➡「設定」➡「ロック」➡「パスワード」タブ
2. 「パスワード入力が必要になるまでの時間」にチェックを付け、時間を選択する
3. パスワードの種類を選択し、「パスワード」と「確認」にパスワードを入力する
4. 「OK」➡「はい」

ロックを解除するには

[ロック]を左右になぞってパスワードを入力し、[解除]をタップします。

- [連絡先]をタップすると連絡先が起動します。
- [メール]をタップするとメールが起動します。

- パスワードはお忘れにならないようメモを取ることをおすすめします。
- デバイスロック中の通話でも、画面を2回たたくと通常の操作ができるようになります。

パスワードを変更する

1. 「スタート」➡「設定」➡「ロック」➡パスワードを入力➡「ロックの解除」
2. 「パスワード」と「確認」に新しいパスワードを入力し、「OK」をタップする
3. 「はい」をタップする

PINコード設定

PINコードを有効にする

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

1 「スタート」➡「設定」➡「個人」➡「電話」➡「セキュリティ」タブ

2 「電話使用時に暗証番号(PIN)を要求」をタップする

暗証番号を入力する画面が表示されます。

3 暗証番号を入力し、「入力」をタップする

「電話使用時に暗証番号（PIN）を要求」にチェックが付きます。

4 「OK」をタップする

- はじめて暗証番号を入力する場合は、9999を入力してください。

PINコードを変更する

1 「スタート」➡「設定」➡「個人」➡「電話」➡「セキュリティ」タブ

2 「暗証番号の変更」をタップする

PINコードの変更ができます。

■PIN2コードを変更するには

「スタート」➡「設定」➡「個人」➡「電話」➡「セキュリティ」タブ➡「暗証番号2の変更」をタップします。

3 古い暗証番号を入力し、「入力」をタップする

4 新しい暗証番号を入力し、「入力」をタップする

5 新しい暗証番号を再入力し、「入力」をタップする

6 「OK」をタップする

暗号化

メモリカードにファイルを保存するとき、自動的に暗号化して保存することができます。暗号化したファイルは別のソフトバンク携帯電話やパソコンでは開けず、本機でのみ開くことができます。

- マスタークリア（13-4ページ）を行うと、暗号化されたファイルは一切読み出すことができなくなりますのでご注意ください。

1 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「暗号化」

2 「メモリカード内のファイルを暗号化する」にチェックを付ける

3 「OK」をタップする

証明書

本機にインストールされている証明書の情報を確認できます。

1 **「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「証明書」**

お買い上げ時の設定に戻す

- この操作を行うと、ご購入後に本機にお客様がインストールしたプログラムや登録したデータはすべて削除され、設定はお買い上げ時の状態に戻りますので、メモを取ったりデータをバックアップすることをおすすめします。
- この操作を行うと、メモリカードに保存されている暗号化（13-3ページ）されたファイルは一切読み出すことができなくなりますのでご注意ください。

マスタークリアで削除されるデータ

- メールに保存されているメッセージ
- メールアカウントの設定
- 連絡先、仕事、予定表、メモの登録内容
- お客様が本機で撮影し保存した静止画や動画
- お客様がコピー／ダウンロードして保存したファイル
- お客様がインストールしたプログラム
- パソコンとの同期設定
- その他、お買い上げ以降に登録・変更されたすべてのデータおよび設定内容

- USIMカードに登録したりコピーした連絡先やSMSは削除されません。

1 **「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「マスタークリア」**

2 **コード入力欄に「1234」を入力し、「リセット」をタップする**

マスタークリアが完了して少したつと、本機が再起動します。

電話

ネットワークやセキュリティ、オプションサービスの設定をします。

電話

着信パターンや着信音、電話画面（2-4ページ）のボタンをタップしたときの操作音を設定します。

1 「スタート」➡「設定」➡「個人」➡「電話」➡「電話」タブ

2 サウンドに関する設定をする
- 「着信パターン」、「着信音」、「キーパッド」を設定します。
- ▶をタップして選択中の着信音を確認できます。■をタップすると再生を中止します。

3 「OK」をタップする

セキュリティ

PINコードの設定や、PINコード／PIN2コードの変更をします（13-3ページ）。

サービス

オプションサービスの設定をします（2-11ページ）。

サービスセンター番号を確認する

SMSメッセージサービスセンターと留守番電話サービスセンターの番号を確認できます。

1 「スタート」➡「設定」➡「個人」➡「電話」➡「サービス」タブ

2 「留守番電話とSMSメッセージ」➡「設定の取得」

3 確認が終わったら「OK」をタップする

- ソフトバンクから番号変更のお知らせがない場合は、SMSメッセージサービスセンター番号／留守番電話サービスセンター番号を変更しないでください。サービスをご利用になれなくなります。
- 間違えて番号を変更してしまった場合は、以下の設定に戻してください。
  - ・SMSメッセージサービスセンター：+819066519300
  - ・留守番電話サービスセンター：1416

発信先固定を設定する

USIMカードに登録した相手にだけ電話をかけたりSMSを送信したりできるように設定します。

1 「スタート」➡「設定」➡「個人」➡「電話」➡「サービス」タブ

2 「発信先固定」➡「設定の取得」

3 必要な項目を設定する

ネットワーク

海外で本機を使用するときに接続する通信事業者を設定します（2-9ページ）。

モード

海外で本機を使用するときに接続するネットワークの種類を設定します（2-9ページ）。

発着信規制暗証番号

発着信規制用暗証番号を変更します（2-14ページ）。

オーナー情報

お客様ご自身の情報を入力することができます。

1 「スタート」➡「設定」➡「個人」➡「オーナー情報」

2 必要な項目に情報を入力する

「オーナー情報」タブ	電話番号を確認し、名前、勤務先、住所、電子メールアドレスを入力します。
「メモ」タブ	メモを入力します。

3 「OK」をタップする

音と通知

効果音を設定する

アラーム通知や本機を操作するときの効果音の有効／無効を設定します。

1 「スタート」➡「設定」➡「音と通知」➡「サウンド」タブ

2 アラーム通知や効果音を設定し、「OK」をタップする

通知を音で知らせる

電話の着信やメール受信などの各種イベント発生時の通知音とバイブレーターを設定します。イベントによっては、音とバイブレーターのほかにメッセージの表示やお知らせLEDの点滅を設定できます。

- 音量の調節のしかたについては、「着信音量やスピーカー音量を調節する」（2-3ページ）を参照してください。
- 対象イベントは以下のとおりです。
  電話：着信通知、電話：不在着信通知、電話：留守番電話、ActiveSync：同期開始、ActiveSync：同期終了、ビーム：自動受信、接続の確立、接続の終了、ワイヤレスネットワークの検出、S!メール／SMS新着通知、配信確認レポート通知、メール：新着電子メールメッセージ、アラーム、IM：シェイク※、IM：新しいインスタントメッセージ※
  ※Messenger初回起動後に追加されるイベントです。

1 「スタート」➡「設定」➡「音と通知」➡「通知」タブ

2 「イベント」欄で設定したいイベントを選択する

3 必要な項目を設定し、「OK」をタップする

- ▶をタップして選択中の通知音を確認できます。■をタップすると再生を中止します。

Today

画面デザインを変更する

ホーム画面やスタートメニューなどの背景イメージや、カーソルなどの配色を、テーマごとに変更できます。

1 「スタート」➡「設定」➡「Today」➡「デザイン」タブ

2 「デバイスのテーマを選択」の一覧からテーマを選択する

- 背景イメージをテーマ以外の画像にしたいときは、「この画像を背景に使用する」にチェックを付けてから「参照」をタップして、画像ファイルを指定します。

3 「OK」をタップする

ホーム画面に表示する項目を設定する

1 「スタート」➡「設定」➡「Today」➡「アイテム」タブ

2 ホーム画面に表示したい項目にチェックを付ける

- 「Windows標準」以外の項目にチェックを付けると、「Windows標準」のチェックが外れます。
- 「Windows標準」にチェックを付けると、それ以外の項目のチェックが外れます。

■項目を並べ替える場合

「日付」以外の項目を選択し、「上へ移動」／「下へ移動」をタップします。

3 「OK」をタップする

- 「Windows標準」のチェックを外すと、ホーム画面がWindows Mobile®のクラシック表示になります。

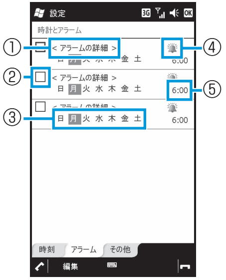
アラーム

曜日ごとに時刻を指定してアラームを鳴らすことができます。

- 「アラームを消す」をタップするとアラームが止まります。

1 「スタート」➡「設定」➡「時計とアラーム」➡「アラーム」タブ

アラーム画面が表示されます。



①アラーム名称の入力
②アラームの有効／無効の設定
③アラームを鳴らす曜日の選択
④アラーム音などの設定
⑤アラームを鳴らす時刻の設定
（アナログ時計の針をなぞっても時刻を設定できます。）

2 アラーム時刻などを設定し、「OK」をタップする

USB to PC

付属のPC接続用USBケーブルを使って本機をパソコンに接続するときのUSB接続モードを設定します。

1 「スタート」➡「設定」➡「接続」➡「USB to PC」

2 「Active Syncモード」または「マスストレージモード」をタップする

Active Syncモード	本機とパソコンとの間で同期を行うときに設定します。
マスストレージモード	パソコンから本機に取り付けたメモリカードのデータにアクセスするときに設定します。

3 「OK」➡「はい」

- マスストレージモードでパソコンとUSB接続しているときは、本機からメモリカードのデータにアクセスできません。

プログラムのインストールと削除

プログラムをインストールする

パソコンでインターネットに接続してダウンロードしたプログラムを、ActiveSyncを使って本機にインストールすることができます。また、Windows Marketplace® for Mobile（15-5ページ）などからもプログラムをインストールできます。
詳しいインストール方法については、各プログラム提供者の説明に従ってください。

- プログラムのインストールは、安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染やデータの破壊などが起きる可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったプログラムなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- お客様がインストールを行ったプログラムなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- プログラムによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。

プログラムを削除する

1 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「プログラムの削除」

削除可能なプログラムの一覧が表示されます。

2 削除したいプログラムを選択する

3 「削除」➡「はい」

パワーマネージメント

電池パックの充電残量を確認したり、電池を節約する設定をしたりできます。

1 「スタート」➡「設定」➡「パワーマネージメント」

2 必要な項目を確認／設定する

「バッテリ」タブ	電池パックの状態を確認できます。
「詳細設定」タブ	バッテリ使用時または外部電源使用時に、スリープモードになるまでの時間を選択します。
「Wi-Fi」タブ	ワイヤレスLAN機能に関する設定をします（9-5ページ）。

3 「OK」をタップする

- 「スタート」➡「設定」➡「省電力設定」をタップして設定することもできます。「フルパワー」、「ロングライフ」の設定は変更できません。
- 「パワーマネージメント」で設定した内容は、「省電力設定」の「カスタマイズ2」に反映されます。

バックライトを設定する

バックライトの明るさやバックライトを消すまでの時間などを設定します。

1 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「バックライト」➡「バッテリ」タブ

2 「バックライトを消すまでのアイドル時間」にチェックを付け、時間を選択する

3 「外部電源」タブをタップする

4 「バックライトを消すまでのアイドル時間」にチェックを付け、時間を選択する

5 「明るさ」タブをタップする

6 スライダーを左右になぞって明るさを調整する

7 「OK」をタップする

- 「バックライト」で設定した内容は、「省電力設定」の「カスタマイズ2」に反映されます。

地域

地域設定を変更すると、本機で表示する数値、通貨、時刻、日付が、選択した地域の表示に変更されます。

1 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「地域」

2 「地域」タブで、リストの中から地域を選択する

自動的にほかのタブの設定も変更されます。詳細設定を行う場合は、該当タブをタップして変更してください。

3 「OK」➡「ok」

- 地域設定を変更しても、本機のオペレーティングシステムの言語は変更されません。
- 設定を変更すると、再起動を促すメッセージが表示されますので、電源を一度切ってから、再度電源を入れてください。

バージョン情報

本機のオペレーティングシステムのバージョンやソフトウェアのバージョン、デバイス名、ワイヤレスLAN用のMACアドレスなどを確認できます。

1 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「バージョン情報」

2 必要な項目を確認／入力する

「バージョン」タブ	オペレーティングシステム（Windows Mobile® 6.5 Professional）のバージョンなどを確認できます。
「デバイスID」タブ	パソコンとの同期やBluetooth®通信で使用されるデバイス名を変更したり説明を入力することができます。
「著作権」タブ	この製品の著作権について確認できます。
「バージョン情報」タブ	ソフトウェアのバージョンや製造者、IMEI（携帯端末に与えられる個別のシリアルナンバー）、ワイヤレスLANへの接続に必要なMACアドレスなどを確認できます。

3 「OK」をタップする

エラー報告

エラー報告を有効にすると、プログラムエラーが発生したとき、マイクロソフト社のテクニカルサポートセンターに匿名でエラー情報を送信することができます。

1 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「エラー報告」

2 「エラー報告を有効にする（推奨）」または「エラー報告を無効にする」をタップする

3 「OK」をタップする

カスタマーフィードバック

ソフトウェアの改善に役立てるため、マイクロソフト社にソフトウェア使用状況に関する匿名情報を提供するかどうかを設定します。

1 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「カスタマーフィードバック」

2 「フィードバックを送信する（推奨）」または「フィードバックを送信しない」をタップする

3 「OK」をタップする

画面

1 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「画面」

2 必要な項目を設定する

「全般」タブ	・画面の向きを縦／横（右きき）／横（左きき）から選択します。 ・スタイラスペンでタップした位置が画面の位置とずれているときは、「画面の補正」をタップし、画面設定画面に戻るまで＋マークのタップを繰り返します。
「文字サイズ」タブ	スライダーを左右になぞって、文字の大きさを調整します。

3 「OK」をタップする

ボタン

本機に市販のテンキーやキーボードを接続した際、ボタン（キー）を押したときの動作を設定できます。

- 市販されているすべてのテンキーやキーボードの動作を保証するものではありません。

1 「スタート」➡「設定」➡「個人」➡「ボタン」

2 「移動開始までの待ち時間」／「移動速度」のスライダーを左右になぞって、待ち時間／速度を調整する

3 「OK」をタップする

管理プログラム

社内システム管理者によってインストールされたプログラムの履歴を確認できます。

1 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「管理プログラム」

2 確認したい項目を選択し、「詳細」をタップする

3 確認が終わったら「完了」をタップする

本機をリセット(再起動)する

データが正常に表示されなかったり、タップやキー操作が正しく働かない場合は、リセットを試してみてください。リセットを行うと編集中のデータは失われますが、保存したデータは失われません。

1 ⏻を押したままにする

電源OFF確認画面が表示されても、そのまま押し続けます。
本機の電源が切れて少したつと、本機が1回振動し、お知らせLEDが緑色に点灯します。お知らせLEDの点灯を確認したら、⏻から指を離してください。
本機が再起動します。

- 外部接続端子キャップを開けて電池カバーを取り外し(1-8ページ)、スタイラスペンでRESETボタンを押してリセットすることもできます。
- 電子メール受信後、数分以内に本機をリセットすると、受信したメールが本機に保存されないことがあります。その場合は、再度メールを受信してください(5-16ページ)。
- プログラムのインストールや設定変更の直後に本機をリセットすると、プログラムがインストールされないことや設定変更されないことがあります。その場合は、再度プログラムのインストールや設定変更を行ってください。

タスクマネージャー

タスクマネージャーを起動して、実行中のプログラムを確認したり、切り替えたり、終了させることができます。
起動したプログラムは、終了させるまで起動したままになっています。実行中のプログラムが多くなるとメモリ不足になり、本機の動作が遅くなります。使っていないプログラムは、タスクマネージャーを使って終了させてください。

プログラムを切り替える

1 「スタート」➡「タスクマネージャー」

実行中のプログラムの一覧画面が表示されます。

2 切り替えたいプログラムをタップする

3 「メニュー」➡「切り替え」

- 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「タスクマネージャー」をタップしても、タスクマネージャーを起動できます。
- タップ2回操作でタスクマネージャーを起動することもできます(1-24ページ)。

プログラムを終了する

1 「スタート」➡「タスクマネージャー」

実行中のプログラムの一覧画面が表示されます。

2 終了したいプログラムを選択し、「タスクの終了」をタップする

■実行中の全プログラムを終了する場合

実行中のプログラムの一覧画面で「メニュー」➡「すべてのタスクの終了」➡「はい」をタップします。

本機のメモリ空き容量を確認する

本機のデータ記憶用メモリとプログラム実行用メモリの使用状況を確認できます。

1 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「メモリ」➡「メイン」タブ

2 確認が終わったら「OK」をタップする

- 本機の動作が遅くなったり、プログラムの動作が不安定になったりした場合は、実行中のプログラムを終了するなどしてプログラム実行用メモリの空き容量を確保してください。
- データ記憶用メモリの空き容量が極度に低下すると、連絡先などへの登録や、ファイルやフォルダーの操作ができなくなることがあります。不要なファイルを削除してください。
- メモリ画面下部に表示されている「サイズの大きいファイルを検索できます。」の「検索」をタップして、64Kバイトより大きいファイルを検索できます。

外部メディアのメモリ空き容量を確認する

メモリカードやUSB機器など、本機に取り付けた外部メディアのメモリ使用状況を確認できます。

1 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「メモリ」➡「メモリカード」タブ

2 ▼をタップして、「Storage Card」または「ハードディスク」を選択する

- メモリカードのメモリ使用状況を確認するには、「Storage Card」を選択します。USB機器のメモリ使用状況を確認するには、「ハードディスク」を選択します。

3 確認が終わったら「OK」をタップする

メモリの空き容量を増やす

以下の方法で利用可能なメモリの空き容量を増やすことができます。

- 現在使用していないプログラムを終了する（14-9ページ）
- Internet Explorer® Mobileの一時ファイルや履歴を削除する（6-7ページ）
- 不要なファイルを削除する（10-3ページ）
- 使用していないプログラムを削除する（14-5ページ）

15 その他の機能

本機では、GPS機能を利用できます。GPS機能に対応したソフトウェアを使用すると、現在地の確認や目的地までのルート検索などを行うことができます。

- Internal GPS（15-3ページ）を利用すると、GPS測位をよりすばやく行うことができます。

GPSの利用にあたって

- GPSシステムのご利用には十分ご注意ください。システムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因(電池切れを含む)によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 衛星利用測位（GPS）は、米国防省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- ・建物の中や直下
- ・かばんや箱の中
- ・密集した樹木の中や下
- ・自動車、電車などの室内
- ・本機の周囲に障害物（人や物）がある場合
- ・地下やトンネル、地中、水中
- ・ビル街や住宅密集地
- ・高圧線の近く
- ・大雨、雪などの悪天候

いつもNAVI（無料地図）を利用する

「いつもNAVI（無料地図）」は、今いる場所を確認し、周辺情報を検索したり、目的地を指定してナビゲーションや乗換案内を利用したりできる便利な機能です。

1 **「スタート」➡「いつもNAVI(無料地図)」**

地図画面が表示されます。

- 初回起動時は、「利用規約を読む（必読）（ブラウザ起動）」をタップするか、「利用規約に同意の上利用」➡「OK」をタップします。
- 初期設定では本機単体で測位を行う設定となっています。
- 「メニュー」➡「ヘルプ／アプリ終了」をタップし、アプリ設定内の「ネットワークから測位情報を取得」にチェックを付けると、GPS測位補助情報を取得することで測位性能を向上させることができます。なお、GPS測位補助情報の取得にはパケット通信料が発生しますのでご注意ください。

- 「地図操作」をタップすると、地図の拡大／縮小や回転、現在地の連続測位などを行うことができます。
- 「いつもNAVI（無料地図）」の使いかたについては、「メニュー」➡「ヘルプ／アプリ終了」➡「ヘルプ」を参照してください。

GPS測位補助情報を取得する

GPS測位補助情報をインターネットから取得すれば、「いつもNAVI（無料地図）」以外のGPS機能に対応したソフトウェアを使用した場合でも測位時間を短縮することができます。

1 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「Internal GPS」

Internal GPS設定画面が表示されます。

2 「Download」➡「OK」➡「ok」

- GPSデータの取得を自動で更新する場合は、「自動でGPSデータをアップデートする」にチェックを付け、「アップデート間隔」で日にちを選択します。

外付けGPSモジュールを使用する

本機は、市販の外付けGPSモジュールに対応しています。外付けGPSモジュールを使用する場合は、以下の設定をしてください。

1 「スタート」➡「設定」➡「システム」➡「外付けGPS」

GPS設定画面が表示されます。

2 「プログラム」タブ➡「GPSプログラムポート」でポートを選択する

3 「ハードウェア」タブ➡「GPSハードウェアポート」でポートを選択し、「ボーレート」で数値を選択する

4 「アクセス」タブで、「GPSを自動的に管理する（推奨）」にチェックを付ける

- 「GPSを自動的に管理する（推奨）」を実行することをおすすめします（お買い上げ時は有効に設定されています）。Windows Mobile®は、GPSデバイスへのアクセスを管理し、複数のプログラムが同時にGPSデータを取得できるようにします。

5 「OK」をタップする

電子辞典

辞典には、明鏡国語辞典MX／ジーニアス英和辞典MX／ジーニアス和英辞典MXの3種類があります。

1 「スタート」➡「電子辞典」



2 辞典名の右にある▼をタップして、辞典を選択する

- 「メニュー」➡「辞典」をタップして切り替えることもできます。

3 単語入力欄に調べたい文字を入力し、「検索」をタップする

入力した文字から予想される単語が、単語候補欄に表示されます。

- 単語候補欄から単語を選択することもできます。

- 単語候補欄と検索結果欄の間にある▲をタップすると、検索結果欄が全画面表示されます。「<<」／「>>」をタップすると、前候補／次候補の検索結果が表示されます。
- 電子辞典の使いかたについては、「メニュー」➡「ヘルプ」➡「電子辞典のヘルプ」を参照してください。

電卓として使う

電卓を利用して、四則演算（＋、－、×、÷）やパーセント計算などができます。

1 「スタート」➡「電卓」

←	入力した数字を右から1桁ずつ消去します。
C	現在の計算を中止し、表示されている数字を消去します。
MC	メモリに保存された数値を消去します。
MR	メモリに保存された数値を表示します。
M＋	入力値をメモリの数値に加算します。
1／x	逆数計算をします。
%	パーセント計算をします。
√	平方根計算をします。
＋／－	入力した数字の＋／－を切り替えます。

検索ウィジェット

インターネットの情報をニュースや画像、地図などの種類ごとに検索することができます。

1 「スタート」➡「検索ウィジェット」

2 検索欄に調べたい語句やキーワードを入力し、「検索」をタップする

情報の種類ごとに自動的に検索されます。

3 閲覧したい情報の種類（「ウェブ」／「ニュース」／「画像」／「地図」など）をタップする

種類ごとの検索結果が表示されます。

- Webページ表示中の操作については、6-3～6-7ページを参照してください。
- 「メニュー」➡「ディレクトリ」をタップすると、Hotmailやメッセンジャー、スペースなどのアプリケーションに接続します。
- 検索ウィジェットの使いかたについては、Webページの下にあるBingの「ヘルプ」を参照してください。

Windows Marketplace® for Mobile

Windows Marketplace® for Mobileは、Windows Mobile® 6.5から標準機能となる、Windows Phone向けのアプリケーション配信サービスです。
Marketplaceを使えば、ゲームからビジネス、便利なツール、地図ソフト、さまざまなカテゴリのアプリケーションをどこにいても、ダウンロード・インストールすることができます。

1 「スタート」➡「Marketplace」

サービスのインストールを確認するメッセージが表示されます。

2 「はい」をタップし、Marketplaceをインストールする

規約とプライバシーに関する声明へのリンクが表示されます。

3 「承諾」をタップする

Marketplace画面が表示されます。

4 「メニュー」➡「サインイン」

5 ご利用のWindows Live™ IDとパスワードを入力し、「サインイン」をタップする

■サインアウトする場合

「メニュー」➡「サインアウト」をタップします。

6 検索欄をタップし、閲覧したいアプリケーションのキーワードを英字で入力する

7 をタップする

該当するアプリケーションが表示されます。

- 人気のアプリケーション順、アプリケーションの更新情報、カテゴリ別に閲覧することもできます。

8 内容を確認したいアプリケーションをタップする

9 「インストール」をタップする

アプリケーションが本機にインストールされます。

- 有料のアプリケーションで支払い方法を設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

- Marketplace画面で「アプリケーション」をタップすると、購入済みのアプリケーションを確認したり、削除したりできます。

MSNマネー

MSNマネーでは、株価や企業情報を検索、閲覧することができます。

1 「スタート」➡「MSNマネー」

データ通信使用に関するメッセージが表示されます。

2 「今後表示しない」にチェックを付ける、またはチェックを外し、「続行」をタップする

3 「メニュー」➡「設定」➡「銘柄を追加」／「+」

4 検索欄をタップし、チェックしたい銘柄を英字で入力する

5 「検索」をタップする

検索文字に該当する銘柄の一覧が表示されます。

6 閲覧したい銘柄の「+」をタップし、「戻る」➡「戻る」

MSNマネーのトップ画面に、選択した銘柄の株価情報が追加されます。

- 銘柄を削除する場合は、「メニュー」➡「設定」をタップし、削除したい銘柄の「−」をタップします。

7 「更新」をタップする

- MSNマネーのトップ画面に表示されている銘柄をタップすると、「詳細」を表示することができます。再度タップすると非表示になります。

MSN天気予報

日本／世界各地の天気予報を確認することができます。

1 **「スタート」➡「MSN天気予報」**

データ通信使用に関するメッセージが表示されます。

2 **「今後表示しない」にチェックを付ける、またはチェックを外し、「続行」をタップする**

3 **「メニュー」➡「設定」➡「市町村の追加」／「+」**

4 **検索欄をタップし、チェックしたい市町村を英字で入力する**

5 **「検索」をタップする**

検索文字に該当する市町村の一覧が表示されます。

6 **確認したい市町村の「+」をタップし、「完了」をタップする**

MSN天気予報のトップ画面に、選択した市町村が追加されます。

- 市町村を削除する場合は、「メニュー」➡「設定」をタップし、削除したい市町村の「–」をタップします。

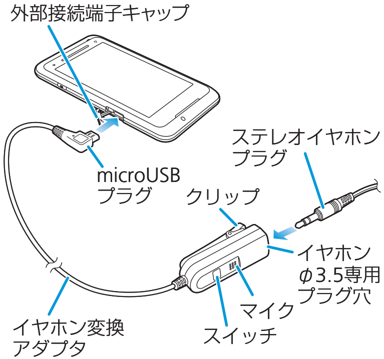
7 **「更新」をタップする**

- MSN天気予報のトップ画面に表示されている市町村をタップすると、「週間予報」などの詳細を表示できます。「戻る」をタップするとトップ画面に戻ります。

ステレオイヤホンマイクを使用する

付属のイヤホン変換アダプタに本機とステレオイヤホン（別売）を接続すると、マイク横のスイッチを押すだけでかかってきた電話を受けることができます。

ステレオイヤホンマイクを取り付ける



1 **ステレオイヤホンプラグをイヤホン変換アダプタのイヤホンφ3.5専用プラグ穴に差し込む**

2 **本機の外部接続端子キャップを開け、イヤホン変換アダプタのmicroUSBプラグを差し込む**

- microUSBプラグを外部接続端子に差し込む際は、プラグの向きを確認してから差し込んでください。

ステレオイヤホンマイクの操作について

機能	操作
電話に出る	着信中にスイッチを押します。
着信を拒否	着信中にスイッチを2秒以上押します。
電話を切る	通話が終了したら、スイッチを2秒以上押します。

- ノイズキャンセル機能付きヘッドホンは使用できません。

スタートメニュー

項目	概要	参照ページ
Today	ホーム画面を表示します。	1-16
電話	電話をかけられます。	2-4
Kinoma Play	音楽や動画を再生したり、RSSリーダーやポッドキャストを利用したりできます。	12-6
SoftBankメール	SMSとS!メールを利用できます。	5-3
連絡先	名前や電話番号、メールアドレスなどの個人データを登録できます。	4-2
Internet Explorer	Webページの閲覧や、プログラムやファイルのダウンロードができます。	6-2
電子メール	電子メールを利用できます。	5-13
画像とビデオ	静止画や動画を表示し、整理することができます。	11-5
予定表	会議などの予定を登録できます。	4-6
Windows Media	音楽や動画を再生できます。	12-2
Marketplace	好みのアプリケーションを探して本機にインストールできます。	15-5
設定	「設定メニュー」を参照してください。	16-3
エクスプローラー	ファイルの確認や整理ができます。	10-2
MSN天気予報	日本／世界各地の天気予報を確認できます。	15-6
タスクマネージャー	実行中のプログラムを切り替えたり、終了したりできます。	14-9
Windows Live	マイクロソフト社のオンラインサービス（電子メール、ブログ、チャットなど）を利用できます。	6-9
Microsoft My Phone	マイクロソフト社のオンラインデータ保存サービスを利用できます。	10-6
お使いになる前に	本機の基本的な機能や設定の概要を確認できます。	1-21
Messenger	Windows Live™ Messengerを利用できます。	6-10
ゲーム	Bubble Breakerとソリティアを楽しめます。	12-7
MSNマネー	株価や企業情報を検索、閲覧することができます。	15-5
検索ウィジェット	マイクロソフト社の検索エンジンBingを利用できます。	15-4
検索	ファイル名やデータに含まれる文字列を検索できます。	10-6
いつもNAVI（無料地図）	目的地までのナビゲーションや乗換案内を利用できます。	15-2
Office Mobile	Word Mobile、Excel Mobile、PowerPoint® Mobile、OneNote® Mobileを利用できます。	8-2
仕事	仕事を登録して、期限や進捗状況を管理できます。	4-9
電卓	四則演算やパーセント計算などができます。	15-4
メモ	手書きメモやボイスメモを作成できます。	4-11

項目	概要	参照ページ
Adobe Reader LE	PDFファイルを表示できます。	8-10
電子辞典	国語辞典、英和辞典、和英辞典を利用できます。	15-3
ActiveSync	本機とパソコンの間でデータを同期できます。	7-5
ヘルプ	本機のヘルプを利用できます。	1-21
電話帳バックアップ	本機の連絡先データをバックアップできます。	4-5
PhotoBase	静止画のトリミングやコントラスト調整などができます。	12-6
VideoEditor	フォトムービーを作成したり、動画に音楽や字幕などを追加したりできます。	12-7
USIMマネージャー	USIMカードの連絡先を管理できます。	4-4
カメラ	静止画や動画を撮影できます。	11-3

設定メニュー

「スタート」➡「設定」をタップすると、設定メニューが表示されます。設定メニューの項目および初期値は以下のとおりです。

項目			初期値	参照ページ
Bluetooth	デバイス		―	9-9
	モード		Bluetoothをオンにする：オフ	
			このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする：オフ	
	COMポート		着信ポート（COM7）	
Today	デザイン		デバイスのテーマを選択：Classic Blue	14-4
	アイテム		Windows標準	
			[Today]画面の表示:4時間後	
Wi-Fi設定	―			9-6
ネットワーク設定	ネットワーク設定		―	9-2
	ネットワーク設定変更		Softbank Internet	
	詳細設定		インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法：Softbank Internet	
パワーマネージメント	バッテリ		―	9-5、14-6
	詳細設定	バッテリ使用時	電源を切るまでのアイドル時間：1分	
		外部電源使用時	電源を切るまでのアイドル時間：オフ	

<table>
<tr><th colspan="3">項目</th><th>初期値</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="3">パワーマネージメント</td><td rowspan="3">Wi-Fi</td><td rowspan="2">Wi-Fi接続時のサスペンド設定</td><td>サスペンドしない：オフ</td><td rowspan="3">9-5、14-6</td></tr>
<tr><td>WOW有効：オフ</td></tr>
<tr><td>Wi-Fi省電力設定</td><td>省電力優先</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ロック</td><td colspan="2">パスワード</td><td>パスワード入力が必要になるまでの時間：オフ</td><td rowspan="3">13-2</td></tr>
<tr><td colspan="2">ヒント</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">画面</td><td>ロック解除画面：Windows標準</td></tr>
<tr><td rowspan="12">時計とアラーム</td><td rowspan="4">時刻</td><td rowspan="2">現在地</td><td>オン</td><td rowspan="12">1-14、14-4</td></tr>
<tr><td>GMT+9　東京、大阪</td></tr>
<tr><td rowspan="2">訪問先</td><td>オフ</td></tr>
<tr><td>GMT+9　東京、大阪</td></tr>
<tr><td rowspan="6">アラーム</td><td colspan="2">すべてオフ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">サウンドを鳴らす</td><td>Alarm5</td></tr>
<tr><td>サウンドを繰り返す：オン</td></tr>
<tr><td>ライトを点滅する</td><td>オン</td></tr>
<tr><td>バイブ</td><td>オン</td></tr>
<tr><td>設定日時</td><td>月、6:00</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">その他</td><td>すべてのプログラムのタイトルバーに時計を表示する：オフ</td></tr>
<tr><td>デバイスがサイレントまたはバイブに設定されていてもアラーム音を再生する：オフ</td></tr>
<tr><td>省電力設定</td><td colspan="3">「省電力設定」参照</td><td>右記</td></tr>
</table>

項目	初期値	参照ページ
音と通知	「音と通知」参照	16-5
システム	「システム」参照	16-7
個人	「個人」参照	16-9
接続	「接続」参照	16-11
Microsoft My Phone	－	10-6

省電力設定

<table>
<tr><th colspan="3">項目／初期値</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td colspan="3">フルパワー：オフ※</td><td rowspan="13">14-6</td></tr>
<tr><td colspan="3">ロングライフ：オフ※</td></tr>
<tr><td colspan="3">カスタマイズ1：オフ</td></tr>
<tr><td rowspan="10"></td><td rowspan="2">CPU速度</td><td>低</td></tr>
<tr><td>バッテリが少ないときにパフォーマンスを下げる：オフ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">Wi-Fi設定</td><td>省電力優先</td></tr>
<tr><td>サスペンドしない：オフ</td></tr>
<tr><td>WOW有効（通知によりサスペンド解除）：オフ</td></tr>
<tr><td rowspan="4">バックライト</td><td>バックライトを消すまでのアイドル時間：10秒</td></tr>
<tr><td>ボタンを押したとき又は画面をタップしたときにバックライトをつける：オフ</td></tr>
<tr><td>明るさ自動：オフ</td></tr>
<tr><td>明るさ指定：50</td></tr>
<tr><td>スリープモード</td><td>指定時間無操作で電源OFF：1分</td></tr>
</table>

項目／初期値			参照ページ
カスタマイズ2：オン			14-6
	CPU速度	高	
		バッテリが少ないときにパフォーマンスを下げる：オフ	
	Wi-Fi設定	省電力優先	
		サスペンドしない：オフ	
		WOW有効（通知によりサスペンド解除）：オフ	
	バックライト	バックライトを消すまでのアイドル時間：30秒	
		ボタンを押したとき又は画面をタップしたときにバックライトをつける：オン	
		明るさ自動：オン	
		明るさ指定：100	
	スリープモード	指定時間無操作で電源OFF：1分	

※「フルパワー」と「ロングライフ」の設定は固定値（ユーザーによる変更不可）です。実機でご確認ください。

音と通知

項目		初期値	参照ページ
サウンド	各種イベント（警告、システムイベントなど）	オン	14-3
	プログラム	オン	
		通知（アラーム、予定など）：オン	
	画面をタップしたとき	オフ	
	ボタンを押したとき	オフ	
通知	電話：着信通知	着信パターン：標準の着信音	14-3
		着信音：Ring01-WindowsPhone	
	ActiveSync：同期開始	音を鳴らす：オフ	
		バイブ：オフ	
	ActiveSync：同期終了	音を鳴らす：オフ	
		バイブ：オフ	
	IM：シェイク※	音を鳴らす：オフ	
		画面にメッセージを表示する：オフ	
		ライトの点滅時間：オフ	
		バイブ：オン	
	IM：新しいインスタントメッセージ※	音を鳴らす：Notify	
		画面にメッセージを表示する：オン	
		ライトの点滅時間：オフ	
		バイブ：オフ	

※Messenger初回起動後に追加される項目です。

項目		初期値	参照ページ
通知	S!メール／SMS新着通知	音を鳴らす：Alarm3	14-3
		画面にメッセージを表示する：オン	
		バイブ：オフ	
	アラーム	音を鳴らす：Notify、繰り返し：オン	
		画面にメッセージを表示する：オン	
		ライトの点滅時間：10分	
		バイブ：オフ	
	ビーム：自動受信	音を鳴らす：Loudest	
		画面にメッセージを表示する：オン	
		ライトの点滅時間：オフ	
		バイブ：オフ	
	メール：新着電子メールメッセージ	音を鳴らす：オフ	
		画面にメッセージを表示する：オフ	
		ライトの点滅時間：オフ	
		バイブ：オフ	
	ワイヤレスネットワークの検出	音を鳴らす：Default	
		画面にメッセージを表示する：オン	
		ライトの点滅時間：オフ	
		バイブ：オフ	

項目		初期値	参照ページ
通知	接続の確立	音を鳴らす：オフ	14-3
		画面にメッセージを表示する：オン	
		バイブ：オフ	
	接続の終了	音を鳴らす：オフ	
		バイブ：オフ	
	電話：不在着信通知	音を鳴らす：オフ	
		画面にメッセージを表示する：オフ	
		ライトの点滅時間：15分	
		バイブ：オフ	
	電話：留守番電話	音を鳴らす：Alarm4	
		画面にメッセージを表示する：オン	
		ライトの点滅時間：オフ	
		バイブ：オフ	
	配信確認レポート通知	音を鳴らす：Alarm3	
		画面にメッセージを表示する：オン	
		バイブ：オフ	
バイブレーション	バイブレーションを有効にする	画面をタップしたとき：オフ	

システム

項目			初期値	参照ページ
ATOK設定	日本語入力にATOKを使用する		オン	3-7
	入力・変換	後変換候補の追加	すべてオン	
		候補ウィンドウに文字種情報を表示する	オン	
	推測変換	推測変換を有効にする	オン	3-8
		横画面	未入力時は候補提示しない：オフ	
			候補提示行数：2	
		縦画面	未入力時は候補提示しない：オフ	
			候補提示行数：3	
	学習		する	3-8、3-9
	辞書	基本辞書	単漢字辞書：オフ	
		補助辞書	文例辞書：オン	
			和英辞書：オフ	
			顔文字辞書：オフ	
	バージョン情報		－	

項目			初期値	参照ページ
Internal GPS	自動でGPSデータをアップデートする		オフ	15-3
エラー報告			エラー報告を有効にする（推奨）	14-7
カスタマーフィードバック			フィードバックを送信しない	14-7
スリープモードLED設定			On	1-13
タスクマネージャー			－	14-9
バックライト	バッテリ	バックライトを消すまでのアイドル時間	30秒	14-6
		ボタンを押したときまたは画面をタップしたときにバックライトをつける	オン	
	外部電源	バックライトを消すまでのアイドル時間	10分	
		ボタンを押したときまたは画面をタップしたときにバックライトをつける	オン	

項目			初期値	参照ページ
バックライト	明るさ	バッテリ使用時	100	14-6
			自動で画面の明るさを調整する：オン	
		外部電源使用時	50	
バージョン情報	バージョン		―	14-7
	デバイスID		デバイス名：X02T	
	著作権		―	
	バージョン情報		―	
ブラウザ設定	ブラウザ高速動作		オン	6-7
プログラムの削除			―	14-5
マスタークリア			―	13-4
マナーモード			解除	2-11
メモリ	メイン		―	14-10
	メモリカード		―	
モーションセンサー設定	縦横切替えを有効にする		オフ	1-24
	タップ2回によるタスクマネージャーの起動		オフ	
	シェイクによる起動を有効にする		オフ	
			電話を起動	
モーションセンサー調整			―	1-24
動画質設定			自然	11-6

項目			初期値	参照ページ
地域	地域		日本語（日本）	14-6
	数値	小数点の記号	.	
		小数点以下の桁数	2	
		桁区切り記号	,	
		区切る桁数	3	
		区切り記号	,	
		負の符号	-	
		負の値の形式	-1.1	
		0の表示	0.7	
		単位	センチ	
	通貨	通貨記号	¥	
		通貨記号の位置	¤1.1	
		小数点の記号	.	
		小数点以下の桁数	0	
		桁区切り記号	,	
		区切る桁数	3	
		負の値の形式	-¤1.1	
	時刻	時刻の形式	H:mm:ss	
		区切り記号	:	
		午前の記号	午前	
		午後の記号	午後	
	日付	短い形式	yy/MM/dd	
		区切り記号	/	
		長い形式	yyyy'年'M'月'd'日'	
		カレンダーの種類	西暦（日本語）	

項目			初期値	参照ページ
外付けGPS	プログラム	GPSプログラムポート	GPD9	15-3
	ハードウェア	GPSハードウェアポート	（なし）	
		ボーレート	4800	
	アクセス	GPSを自動的に管理する（推奨）	オン	
暗号化	メモリカード内のファイルを暗号化する		オフ	13-3
画面	全般		向き：縦	14-8
	文字サイズ		中	
管理プログラム			－	14-8
証明書	個人		－	13-4
	中間		－	
	ルート		－	

個人

項目			初期値	参照ページ
オーナー情報	オーナー情報		－	14-3
	メモ		－	
フローティングパッド設定	フローティングパッドを使う		オン（右きき用）	1-26
ボタン	移動開始までの待ち時間		最長	14-8
	移動速度		最速	
入力	入力方法	Toshiba Keyboard	－	3-9
		ひらがな／カタカナ	学習単語も表示する：オフ	
		ローマ字／かな	学習単語も表示する：オフ	
		手書き検索	左手：オフ	
		手書き入力	左手：オフ	
			3つの入力ボックス：オン	
			タイムアウトを使用：オン（タイムアウト値：2）	
		定型文	－	
		文字一覧	－	

項目			初期値	参照ページ
入力	オプション	録音形式	8,000Hz、8ビット、モノラル（8KB/s）	4-12
		手書き入力用の既定ズーム	200%	
		入力用の既定ズーム	100%	
		英文の最初の文字を大文字にする	オン	
		インクが最後の行に達したらスクロールする	オン	
電話	電話	着信パターン	標準の着信音	2-2、14-2
		着信音	Ring01-WindowsPhone	
		キーパッド	操作音（短）	
	セキュリティ		電話使用時に暗証番号（PIN）を要求：オフ	13-3

項目			初期値	参照ページ
電話	サービス	発着信規制	着信制限：オフ	2-12、2-13、2-14、14-2
			発信制限：オフ	
		発信者番号通知	すべてのダイヤル先に通知	
		転送電話	すべての着信通話を転送する：オフ	
			転送する条件：すべてオフ	
		割り込み通話	通知しない	
		留守番電話とSMSメッセージ	SMSメッセージサービスセンター:+819066519300	
			留守番電話サービスセンター：1416	
		発信先固定	USIMカードに依存	
	ネットワーク		現在のネットワーク:SoftBank	2-9、2-10、2-14
			ネットワークの選択：自動	
	モード		3G	
	発着信規制暗証番号		－	

付録

16

接続

項目		初期値	参照ページ
GPRS設定		Softbank Internet：設定なし	9-3
USB to PC		Active Syncモード	14-5
		高度なネットワーク機能を有効にする：オン	
Wi-Fi	ワイヤレス	ワイヤレスネットワークの構成：mobilepoint	9-5
		アクセスするネットワーク：アクセスポイントのみ	
	ネットワークアダプター	－	
ドメインへの登録		－	9-11
ビーム	すべての着信ビームを受信する	オン	9-10
ワイヤレスマネージャー	電話	On	9-2
	Bluetooth	Off	
	Wi-Fi	Off	
接続	設定	Softbank Internet	9-3、9-11
	詳細設定	インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法：Softbank Internet	

故障かな？と思ったら

現象	確認すること／対処方法
電源が入らない	電池パックが正しく取り付けられていますか？（1-8ページ）
	電池切れになっていませんか？（1-12ページ）
充電ができない	電池パックが正しく取り付けられていますか？（1-8ページ）
	ACアダプタ（別売）の電源プラグが正しく差し込まれていますか？（1-11ページ）
	ACアダプタ（別売）をご使用の場合、組み合わせて使用する付属の充電microUSB変換アダプタが、本機およびACアダプタと正しく接続されていますか？（1-11ページ）
	付属のPC接続用USBケーブルをご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか？
	充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本機の温度が上昇して、安全のため一時的に充電を停止することがあります。その場合は、本機の温度が下がってから再度充電を行ってください。
操作中・充電中に熱くなる	操作中や充電中、また、通話などを長時間行った場合などには、本機や電池パック、ACアダプタ（別売）が温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

現象	確認すること／対処方法
電池の使用時間が短い	圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか？ 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
	電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
	電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、１回で使える時間がしだいに短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。
電源断・再起動が起きる	電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
電源を入れたのに操作できない	PINコードを入力する画面が表示されていませんか？ PINコードを入力してください。（13-3ページ）
を左右になぞったのに操作できない	パスワード入力の画面が表示されていませんか？ デバイスロックにパスワードが設定されていますので、パスワードを入力し、をタップしてください。（13-2ページ）
ディスプレイをタップしたときの画面の反応が遅い	本機に大量のデータが保存されているときや、本機とメモリカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
USIMカードが認識されない	USIMカードを正しい向きで挿入していますか？（1-6ページ）

現象	確認すること／対処方法
電話がつながらない	USIMカードが正しく取り付けられていますか？（1-6ページ）
	市外局番から入力していますか？
	ワイヤレスマネージャーの「電話」がオフになっていませんか？（9-2ページ）
着信音が鳴らない	着信音量を「バイブ」または「オフ」にしていませんか？（2-3ページ）
	「電話：着信通知」の着信パターンを「バイブ」または「なし」にしていませんか？（14-3ページ）
	マナーモードを設定していませんか？（2-11ページ）
	転送電話サービスの設定で「すべての着信通話を転送する」にチェックが付いていませんか？（2-12ページ）
通話ができない	電源を入れ直すか、電池パックまたはUSIMカードを取り付け直してください。（1-6、1-8ページ）
	電波の性質により、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態（）でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
	電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。
ディスプレイをタップしても動かない	電源を入れ直してください。
ディスプレイが暗い	バックライトの明るさの設定を確認してください。（14-6ページ）

付録 16

現象	確認すること／対処方法
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	受話音量を変更していませんか？（2-2ページ）
連絡先でSMSグループを選択し、「SMS」をタップしてもSMS作成画面が表示されない	SMSグループを選択して、メンバーにSMS／S!メールを送信することはできません。SMS／S!メールの送信については、5-3ページを参照してください。
圏外が表示され、国際ローミングサービスが利用できない	国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？
	日本国内から海外へ移動したあとにネットワークの種類（モード）を「自動」または対応しているネットワークに切り替えてください。日本国内で「自動」にしていた場合は、本機の電源を入れ直してください。（2-9ページ）
海外で利用中に突然、発信や着信ができなくなった	ネットワークの種類（モード）を確認してください。「自動」に設定されていると、特定のネットワークを受信し利用できない場合があります。滞在先で接続するネットワーク（「3G」または「GSM／GPRS」）に変更してください。（2-9ページ）
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／連絡先の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本機に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

現象	確認すること／対処方法
データ転送が行われない	USBハブを使用していませんか？ USBハブを使用すると、正常に動作しない場合があります。
メモリカードに保存したデータが表示されない	パソコンとマスストレージモードでUSB接続していませんか？（14-5ページ）
Bluetooth®対応機器と接続ができない／検索しても見つからない	Bluetooth®対応機器（市販）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本機側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth®対応機器（市販）と本機の双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。（9-9、9-10ページ）
本機の動作が遅くなった／プログラムの動作が不安定になった／一部のプログラムを起動できない	本機のデータ記憶用メモリおよびプログラム実行用メモリの使用状況を確認し、実行中のプログラムを終了したり不要なファイルを削除したりして、メモリの空き容量を確保してください。（14-10ページ）
データが正常に表示されない／ディスプレイをタップしても正しく動作しない	本機をリセット（再起動）してください。（14-9ページ）
	スタイラスペンでタップした位置が画面の位置とずれているときは、画面の補正を行ってください。（14-8ページ）

ソフトウェアの更新

ネットワークを利用して本機のソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには更新ができます。

- 確認／更新ファイルのダウンロードには通信料がかかります。通信料は、ご契約内容によって異なります。
- ソフトウェア更新には、約30分程度かかる場合があります。更新が完了するまで、本機は使用できません。
- ソフトウェア更新を実行する前に電池残量が十分かご確認ください。
- ソフトウェア更新は電波状態のよいところで、移動せずに行ってください。
- ソフトウェア更新中は、ほかの機能は操作できません。
- 必要なデータはソフトウェア更新前にバックアップすることをおすすめします（一部ダウンロードしたデータなどは、バックアップできない場合もあります）。ソフトウェア更新前に本機に登録されたデータはそのまま残りますが、本機の状況（故障など）により、データが失われる可能性があります。データ消失に関しては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新中は絶対に電池パックやUSIMカードを取り外したり、電源を切らないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本機が使用できなくなることがあります。その場合は**お問い合わせ先**（16-27ページ）までご連絡ください。

1 「スタート」➡「Internet Explorer」➡ ➡ ➡「Toshiba Mobile Plaza」

ダウンロードサイトに接続します。

2 必要な更新ファイルを選択してダウンロードする

3 本機で「My Documents」を開いて、ソフトウェア更新ファイルを表示する

4 ソフトウェア更新ファイルをタップして実行する

5 「今すぐインストール」をタップする

- ソフトウェア更新後に再起動しなかったときは、電池パックをいったん取り外したあと再度取り付け、電源を入れ直してください。それでも起動しないときは、ご契約の**ソフトバンクの故障受付**（16-27ページ）にご相談ください。
  ご契約の内容によっては、通信料金表示機能が利用できないことがあります。このときは、限度額設定も利用できません。

ActiveSyncの動作環境（パソコン）

ActiveSync 4.5は、以下のオペレーティングシステムおよびアプリケーションに対応しています。

OS	・Windows® XP Service Pack 1／2／3 ・Windows® XP Professional x64 Edition ・Windows® XP Media Center Edition ・Windows® XP Tablet PC Edition ・Windows® 2000 Service Pack 4 ・Windows Server® 2003 Standard x64 Edition ・Windows Server® 2003 Service Pack 1 ・Windows Server® 2003 Service Pack 1 for Itanium-based Systems
アプリケーション	電子メール、予定表、連絡先、仕事、メモの同期 ・Microsoft® Outlook® 2007（推奨） ・Microsoft® Outlook® XP ・Microsoft® Outlook® 2003
	お気に入りの同期 ・Microsoft® Internet Explorer® 6以降
	オフィスアプリケーションの同期 ・Microsoft® Office 2007 ・Microsoft® Office XP ・Microsoft® Office 2003
	メディアファイルの同期 ・Windows Media® Player 10以降※
通信環境	・USBポート（USB 1.1／USB 2.0） ・Bluetooth®通信機能

※Windows® 2000は、Windows Media® Player 10以降のバージョンをサポートしていません。Windows® 2000をお使いの場合、Windows Media® Player 9シリーズのデバイス転送機能を使って、メディアファイルを本機に転送してください。

Windows Mobile®デバイスセンターの動作環境（パソコン）

Windows Mobile®デバイスセンター6.1は、以下のオペレーティングシステムおよびアプリケーションに対応しています。

OS	・Windows Vista® Ultimate ・Windows Vista® Enterprise ・Windows Vista® Business ・Windows Vista® Home Premium ・Windows Vista® Home Basic ・Windows Server® 2008
アプリケーション	電子メール、予定表、連絡先、仕事、メモの同期 ・Microsoft® Outlook® 2007（推奨） ・Microsoft® Outlook® 2003 ・Microsoft® Outlook® 2002
	お気に入りの同期 ・Microsoft® Internet Explorer® 7以降
	オフィスアプリケーションの同期 ・Microsoft® Office 2007 ・Microsoft® Office XP ・Microsoft® Office 2003
	メディアファイルの同期 ・Windows Media® Player 11以降
通信環境	・USBポート（USB 1.1／USB 2.0） ・Bluetooth®通信機能

システム情報	プロセッサ	Qualcomm SnapDragon 1GHz
	メモリ	ROM：512Mバイト RAM：256Mバイト
	オペレーティングシステム	Microsoft® Windows Mobile® 6.5 Professional
サイズ（W×H×D）		約70×130×9.9mm
質量		約129g
周波数範囲	3G	1920～2170MHz
	GSM900	880～960MHz
	DCS1800	1710～1880MHz
	PCS1900	1850～1990MHz
最大出力	3G	Class3　0.25W
	GSM900	Class4　2W
	DCS1800	Class1　1W
	PCS1900	Class1　1W
電池パック		リチウムイオン電池、1000mAh
充電時間	ACアダプタ（別売）使用	約160分
	PC接続用USBケーブル使用	約160分
連続待受時間	3G	約280時間
	GSM	約250時間
連続通話時間	3G	約270分
	GSM	約210分
連続音楽再生時間	WMAファイル	約600分（バックグラウンド再生対応）
	MP3ファイル	約600分（バックグラウンド再生対応）
ディスプレイ	LCD	タッチパネル付4.1インチ（WVGA）TFT
	解像度	480×800ドット／65,536色

カメラ	種類	CMOS
	有効画素数	約320万画素
	デジタルズーム	最大約6.4倍／23段階
ワイヤレスLAN機能		IEEE802.11b/g準拠
Bluetooth®機能	通信方式	Bluetooth®標準規格 Ver. 2.0+EDR準拠
	出力	Bluetooth®標準規格Power Class 2
	見通し通信距離	約10m以内※1
	対応プロファイル※2	HSP（ヘッドセットプロファイル） HFP（ハンズフリープロファイル） A2DP（アドバンストオーディオディストリビューションプロファイル） AVRCP（オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル） OPP（オブジェクトプッシュプロファイル） SPP(シリアルポートプロファイル) HID（ヒューマンインターフェースデバイスプロファイル）

※1 通信機器間の障害物や電波状況などにより変化します。
※2 Bluetooth®対応機器間の通信目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
- 連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によってはご利用時間が変動することがあります。連続待受時間はネットワークの種類（モード）を「3G」に設定した場合の値です。

- 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や、圏外表示での待受は電池の消耗が多いため、ご利用時間が約半分以下になることがあります。なお、利用可能時間は充電・放電の繰り返しにより徐々に短くなります。利用可能時間が短くなったら新しい電池パックをお買い求めください。
- 電波の弱い場所での通話や圏外表示での待受、カメラ撮影や動画再生など消費電流の大きい機能の連続使用により、連続通話時間および連続待受時間が著しく短くなる場合があります。
- ディスプレイのバックライトが点灯している状態でのご利用（動画再生やインターネット閲覧など）が多い場合は、連続通話時間および連続待受時間が短くなります。

カメラの撮影ファイル

本機のカメラで撮影した静止画と動画は以下のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	jpg
動画	3GPP、MP4	3gp、mp4

■静止画の撮影枚数（目安）

解像度	本体メモリに保存できる撮影枚数（お買い上げ時）	microSDカード（64Mバイト）に保存できる撮影枚数
320×240（QVGA）	約9000枚	約1800枚
640×480（VGA）	約4500枚	約900枚
1280×960（4VGA）	約1800枚	約400枚
1600×1200（UXGA）	約1300枚	約300枚
2048×1536（QXGA）	約800枚	約200枚

※ 削除可能プリインストールデータ削除時
※ 撮影条件は、ズーム：なし、画質：ノーマル

■動画の撮影時間（目安）

解像度	本体メモリに保存できる撮影時間（お買い上げ時）	microSDカード（64Mバイト）に保存できる撮影枚数
320×240（QVGA）	約100分	約23分
640×480（VGA）	約30分	約7分

※ 削除可能プリインストールデータ削除時
※ 撮影条件は、ズーム：なし、音声録音：あり、フォーマット：3gp、画質：ノーマル
※ 撮影制限時間は、1件につき最大約10分となります。

英数字・50音別

A

B

E

G

H

I

K

M

O

P

S

T

U

V

W

あ

い

え

お

か

き

く

け

こ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

に

ね

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

め

目的別

な行

は行

ま行

ら行

保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。
  修理を依頼される場合、**お問い合わせ先**（16-27ページ）または最寄りの**ソフトバンクショップ**へご相談ください。その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。
- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

注意

本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（連絡先やフォルダの内容など）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- 故障または修理の際、MACアドレスが変更になることがありますのであらかじめご了承ください。

アフターサービスについてご不明な点は、最寄りの**ソフトバンクショップ**または**お問い合わせ先**（16-27ページ）までご連絡ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。
電話番号はお間違いのないようおかけください。

ソフトバンクモバイルお客さまセンター	ソフトバンクモバイル国際コールセンター
総合案内:ソフトバンク携帯電話から157(無料) 紛失・故障受付:ソフトバンク携帯電話から113(無料)	海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡 +81-3-5351-3491(有料)

一般電話からおかけの場合

北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

メモ

SoftBank X02T 取扱説明書

2010年2月　第3版発行

ソフトバンクモバイル株式会社

※ご不明な点はお求めになられたソフトバンク携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：SoftBank X02T
製造元：株式会社 東芝

SoftBank X02T User Guide 取扱説明書

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS 事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる
電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。
※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（アドレス帳・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。